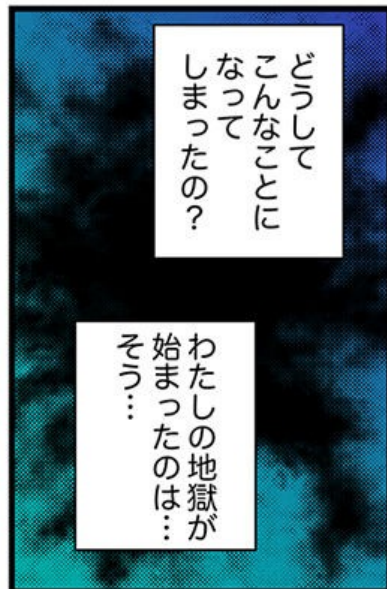


あつ  
あつ...

どうだい悠子  
アニキのより  
イイだろ？



どうして  
こんなことに  
なって  
しまったの？

わたしの地獄が  
始まったのは...  
そう...



アニキのと  
どっちが  
いいんだ？  
言ってみなよ  
ほらほら

ああつ！



アソコが  
ひくついて  
るよ



スゴク  
感じてるじゃ  
ないすか

まるで  
夢みたい

これが  
わたしたちの  
家なのね

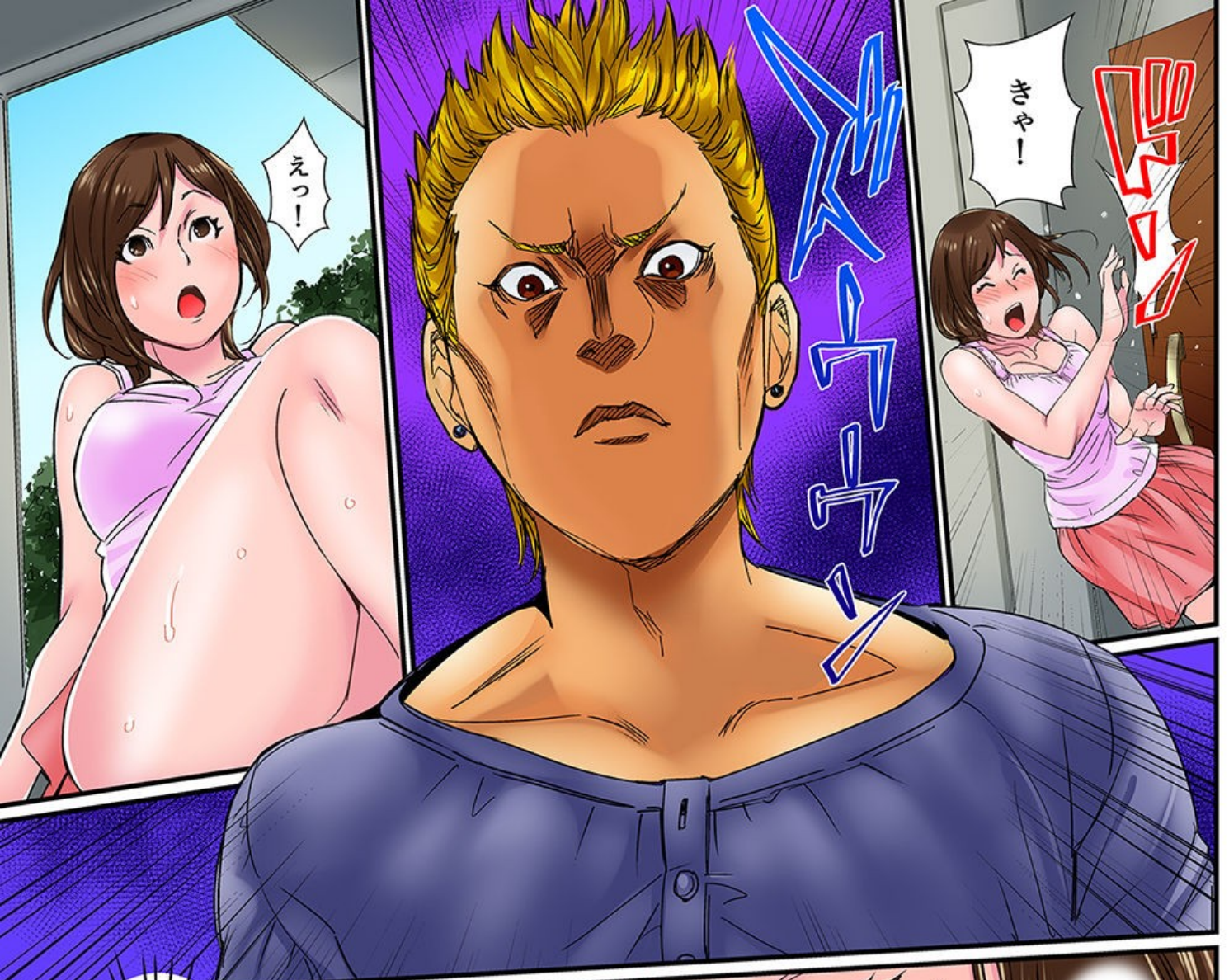
まあ  
ローンは大変  
だけどな

あなた  
わたし幸せよ

わたしたちは  
そろそろ  
子供をと  
考えている

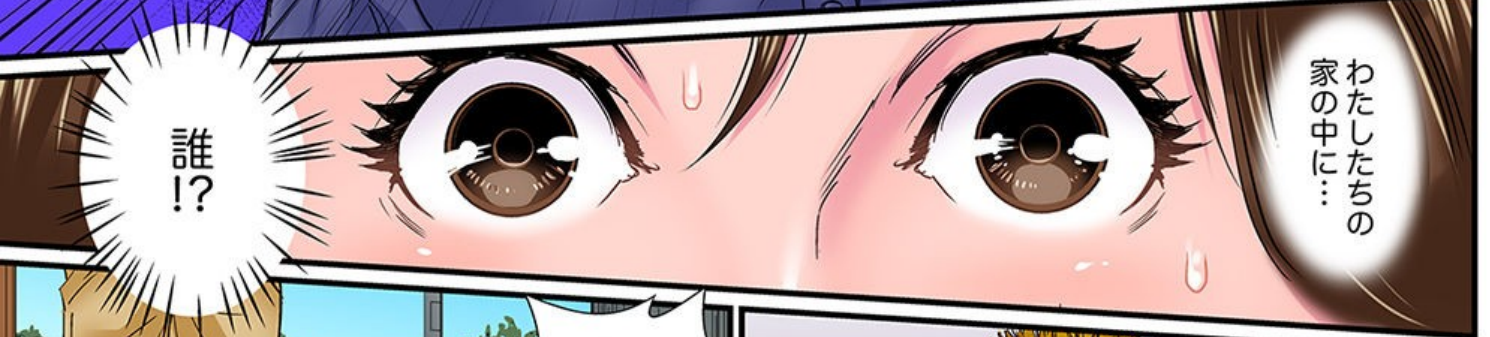
だから  
マイホームの  
購入は  
念願だった

今日は  
まさに人生  
最良の日だわ



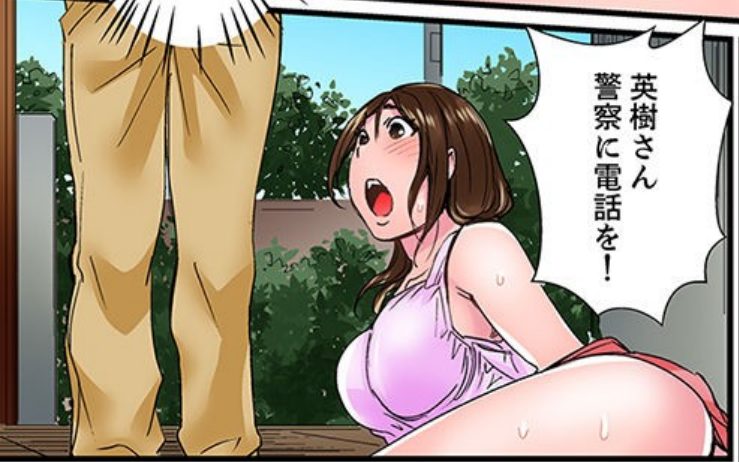
えっ!

きゃ!

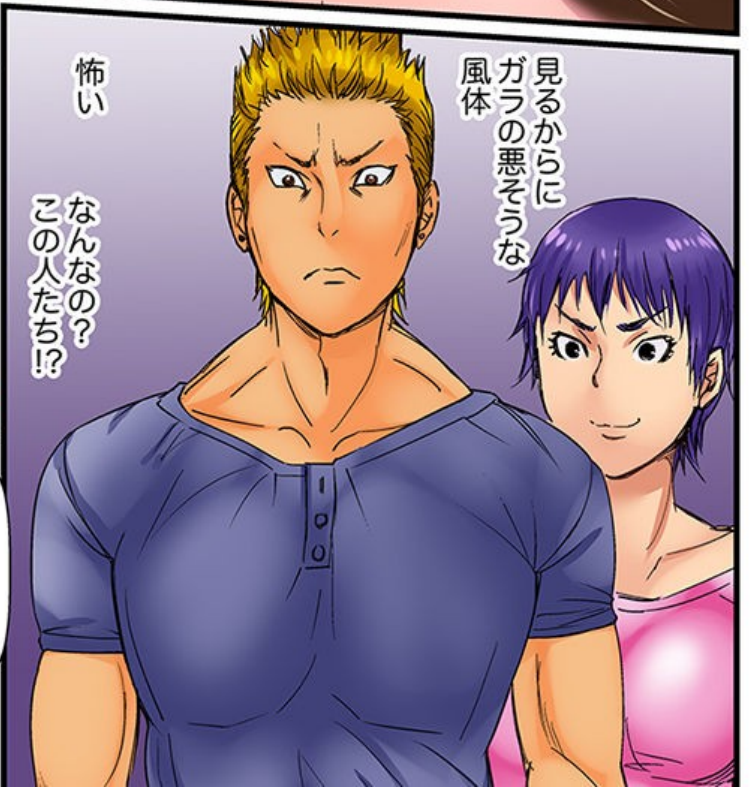


誰!?

わたしたちの  
家の中に...



英樹さん  
警察に電話を!



怖い

なんなの?  
この人たち!?

見るからに  
ガラスの悪そうな  
風体



ああ  
もう着いて  
たのか

え?



え？え？  
どういう  
こと？

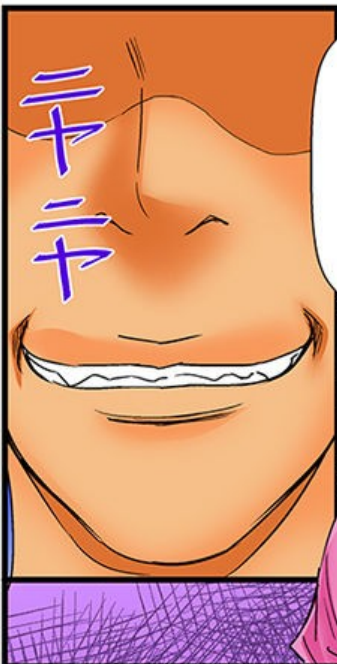
拳二は無職に  
なったばかりで  
これから  
職探し部屋探しを  
するらしいんだ



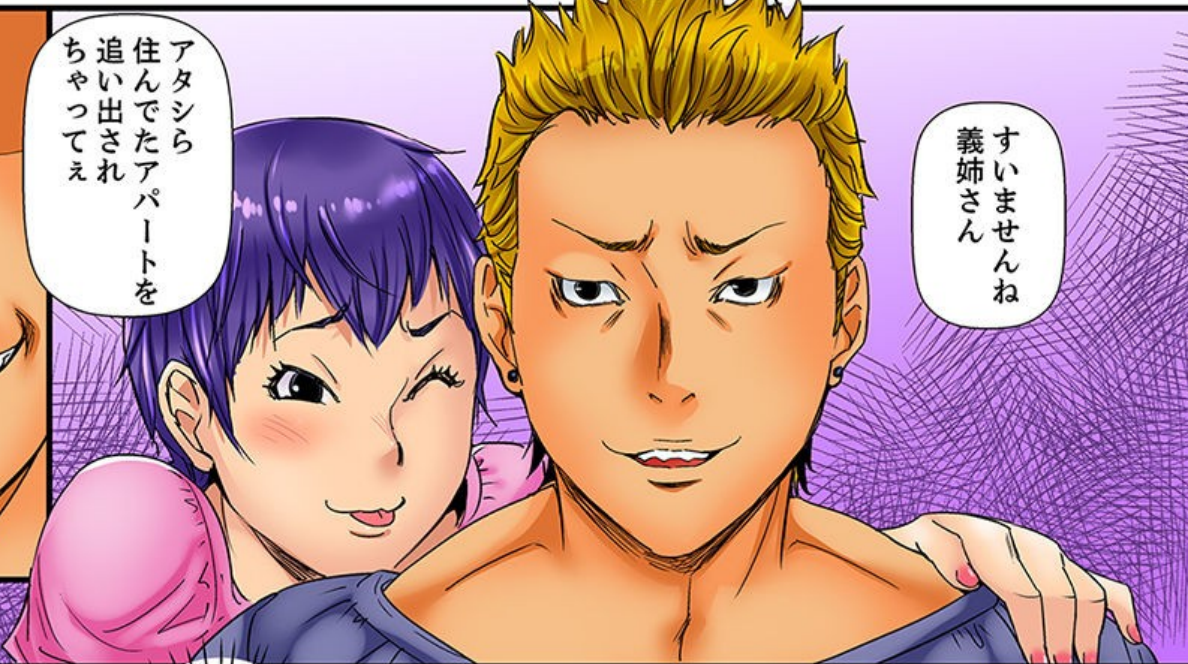
暫く一緒に  
住むことに  
なるから



弟の拳二と  
奥さんの  
美奈さんだ  
ほら  
結婚式のときに  
一度会ってる  
だろ？



アタシら  
住んでたアパートを  
追い出され  
ちゃってえ



すみませんね  
義姉さん



新築の  
マイホームに  
いきなり  
同居：  
しかも  
それから  
毎晩のように



えええ  
えー！！

すまん  
短い間だから  
我慢してくれよ





え…  
わたしが？



ハロワに  
行くでもなく  
毎日ゴロゴロ  
してばかり

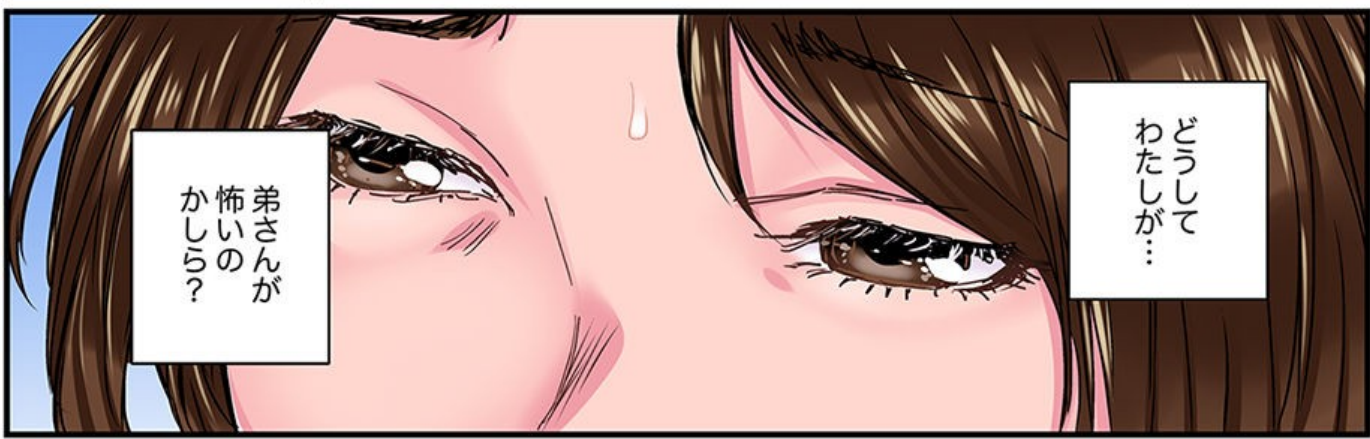
本当に  
大丈夫  
なの？

そう思うなら  
お前が注意して  
くれよ

うーん…



そういうの  
苦手なんだよ  
俺…  
頼むよ  
な！



どうして  
わたしが…

弟さんが  
怖いのか  
しら？



ノック  
してね



よし

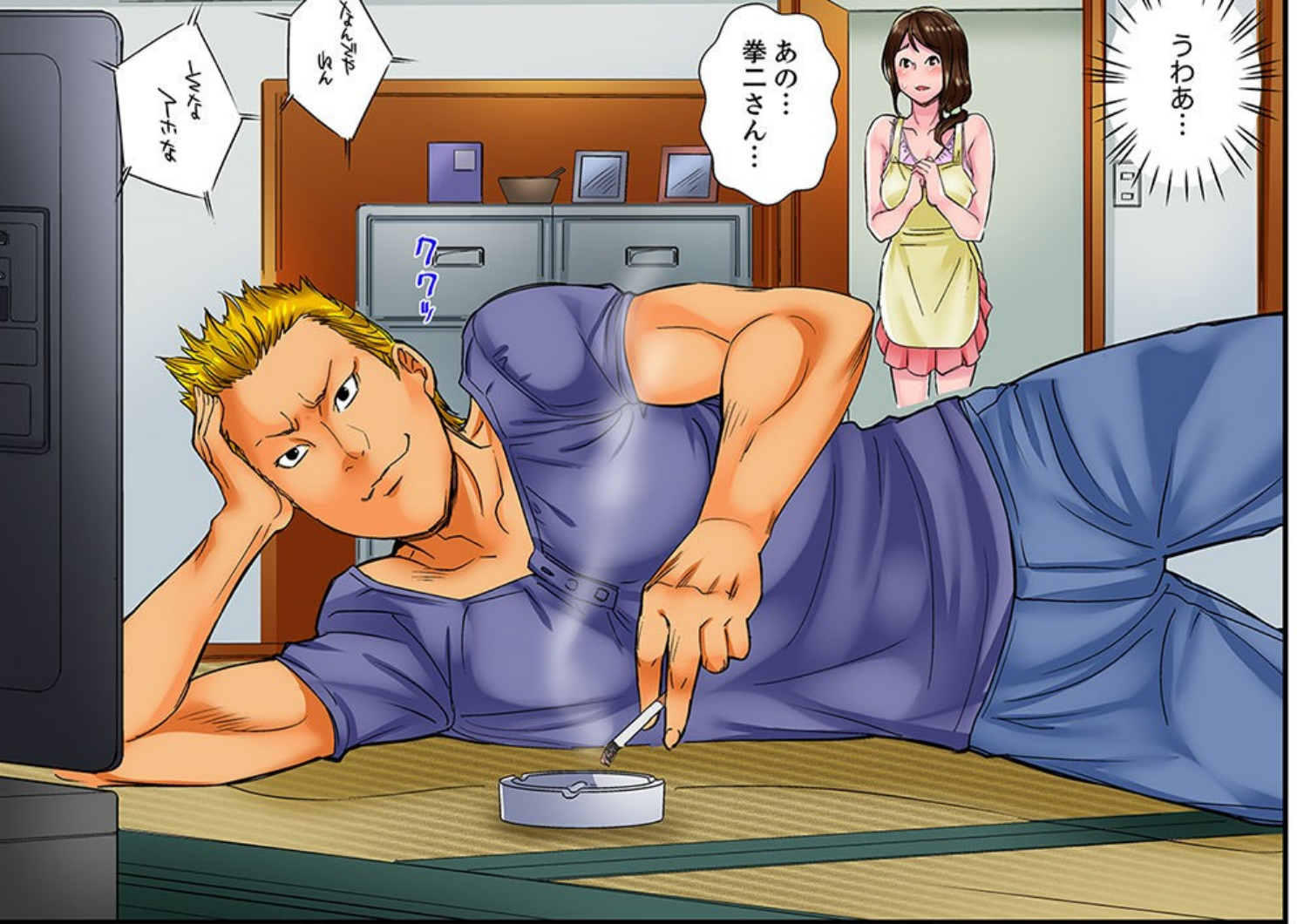


嫌な役  
だなあ

でも  
早く再就職  
してもらって

英樹さんと  
子作り  
しなくっちゃ

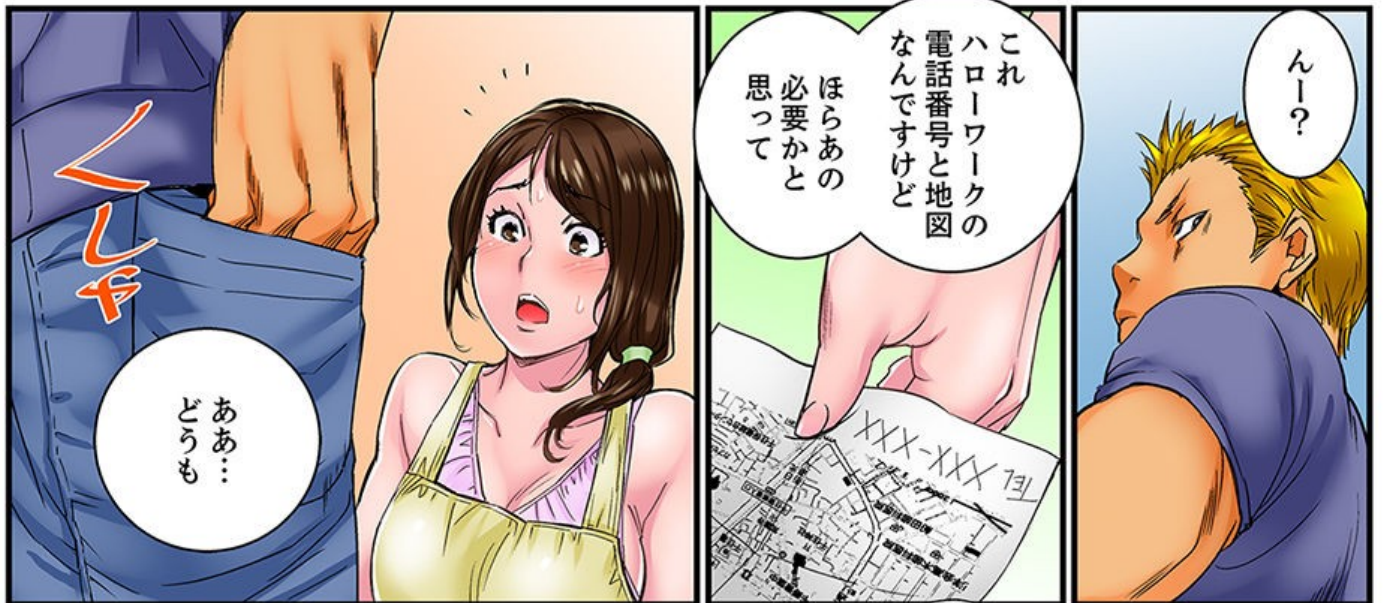
はよ  
すく



うわあ…

あの…  
拳二さん…

クワッ  
クワッ

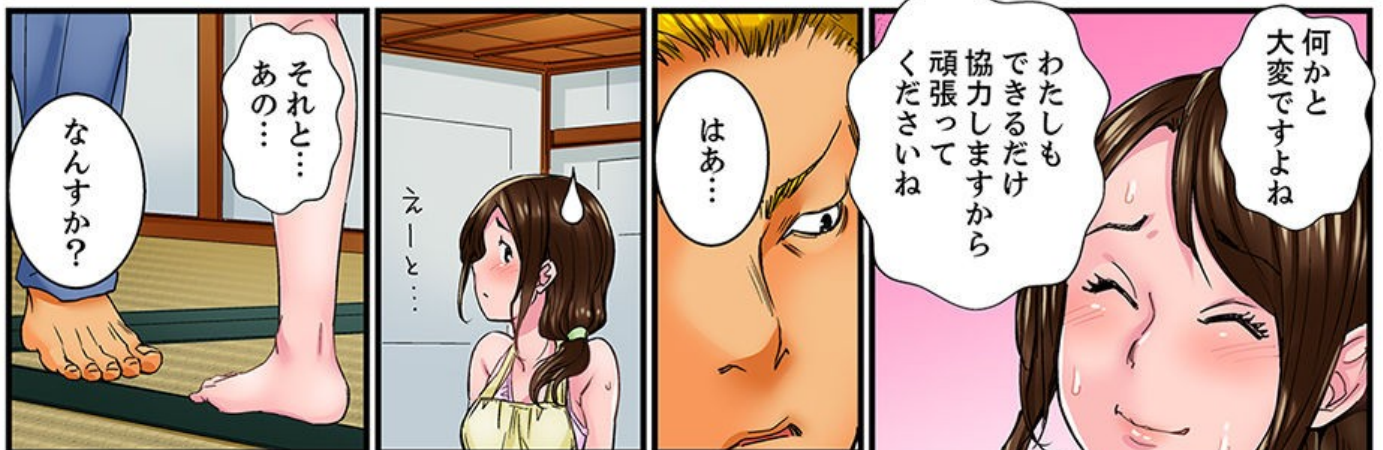


んー？

これ  
ハローワークの  
電話番号と地図  
なんですけど  
ほらあの  
必要かと  
思ってます

ああ…  
どうも

くしゅ



何かと  
大変ですよ

わたしも  
できるだけ  
協力しますから  
頑張って  
ください

はあ…

それと…  
あの…

なんすか？

えーと…

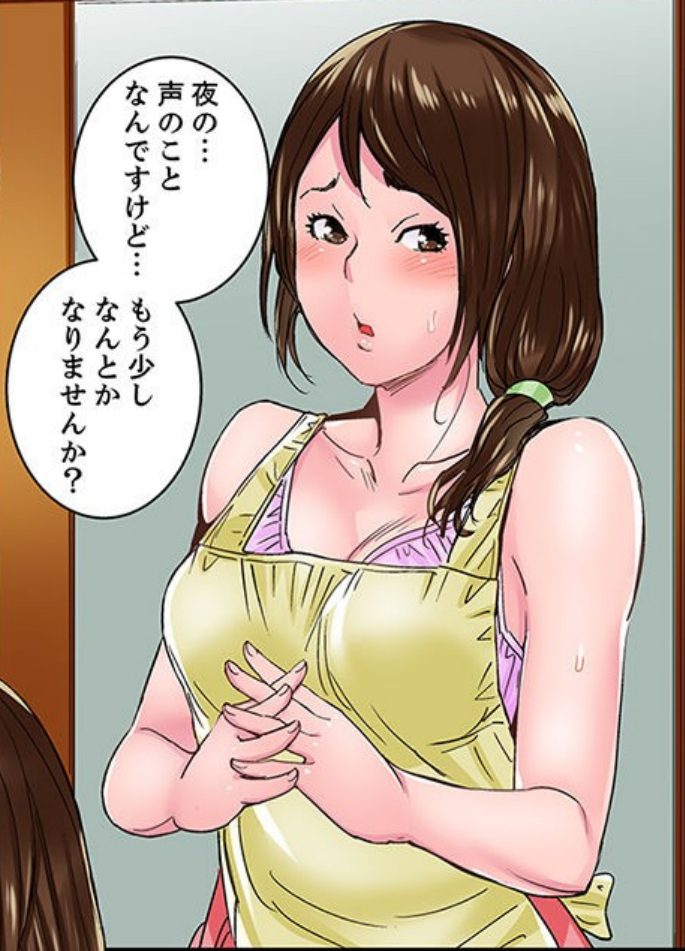


いえ…  
だからあの…  
夫婦の営みと  
いうか…

や  
め  
め



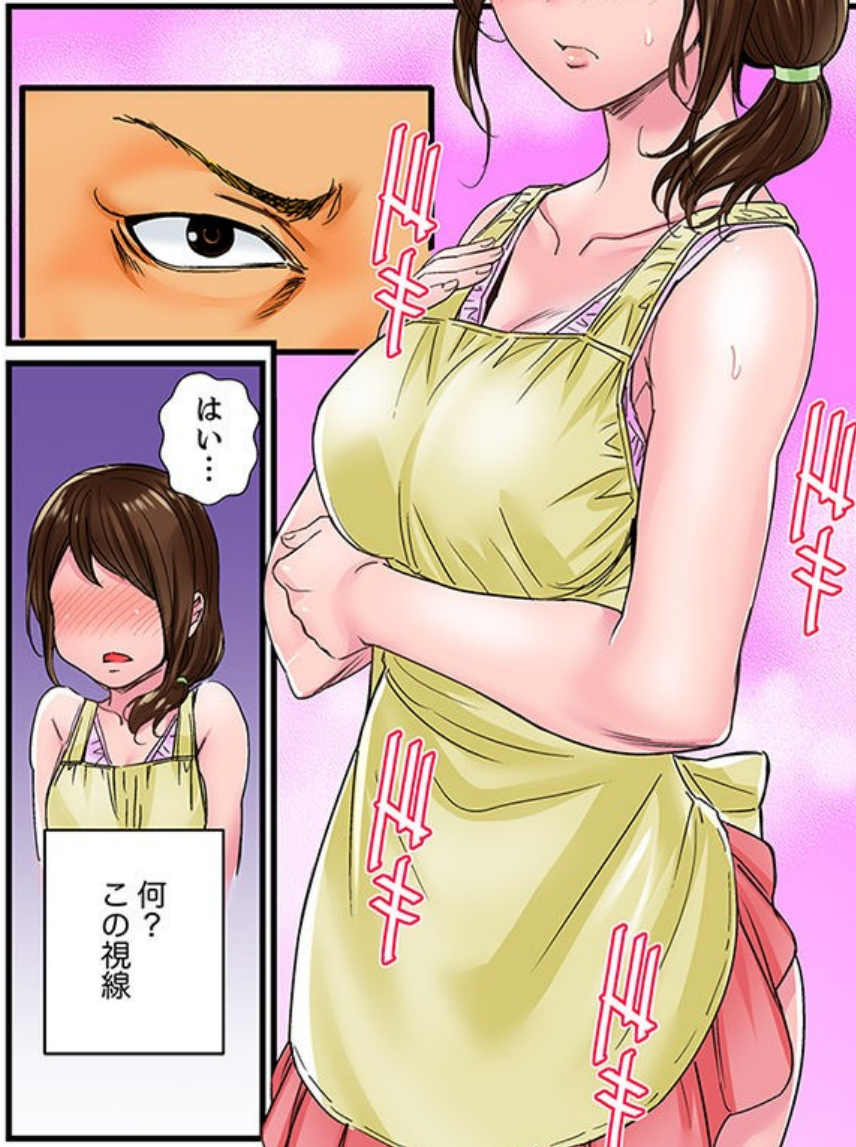
声？  
なーんの  
ことっすか？



夜の…  
声のこと  
なんですけど…  
もう少し  
なんとか  
なりませんか？



ニタリ



キキキ

キキキ



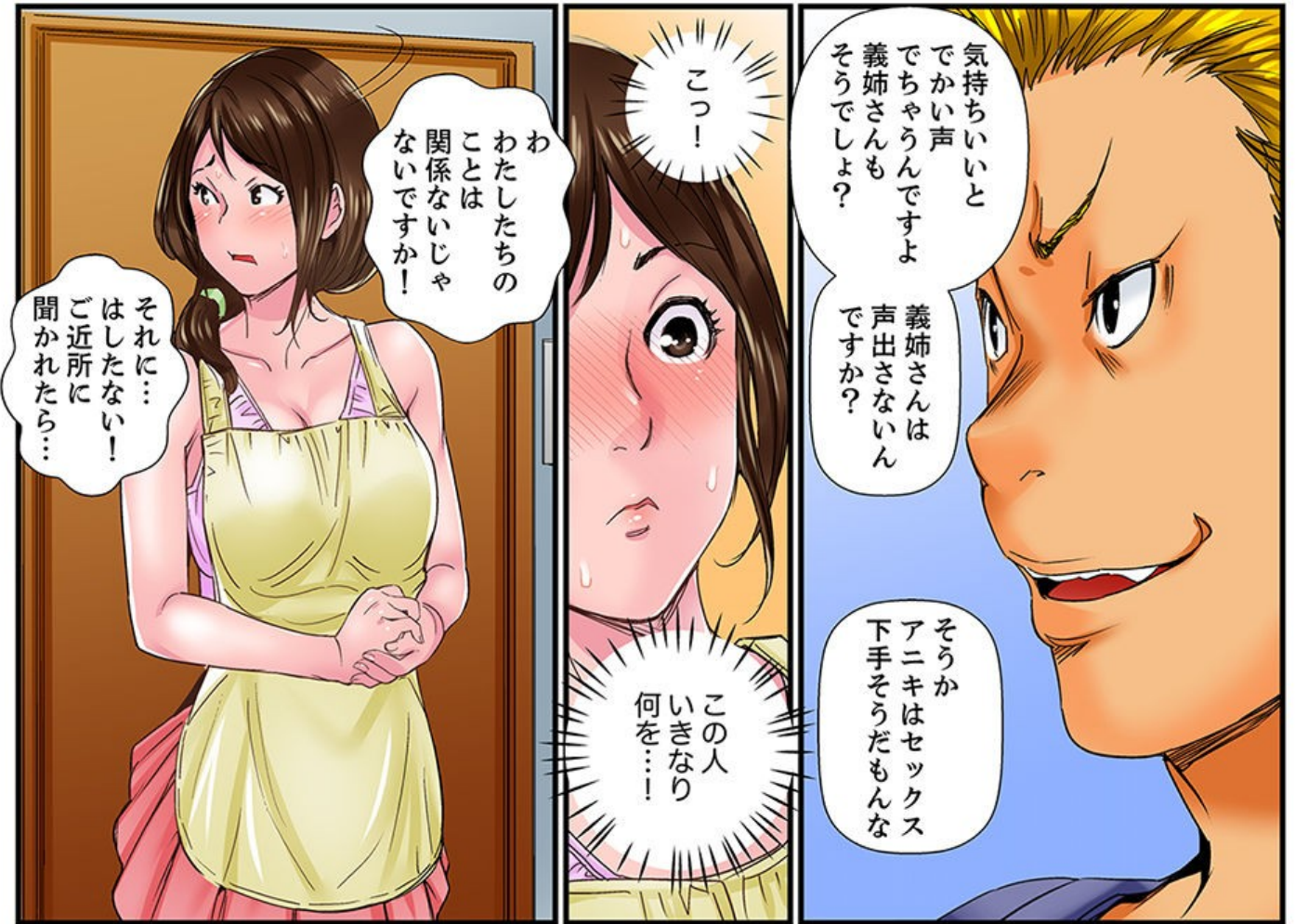
はい…

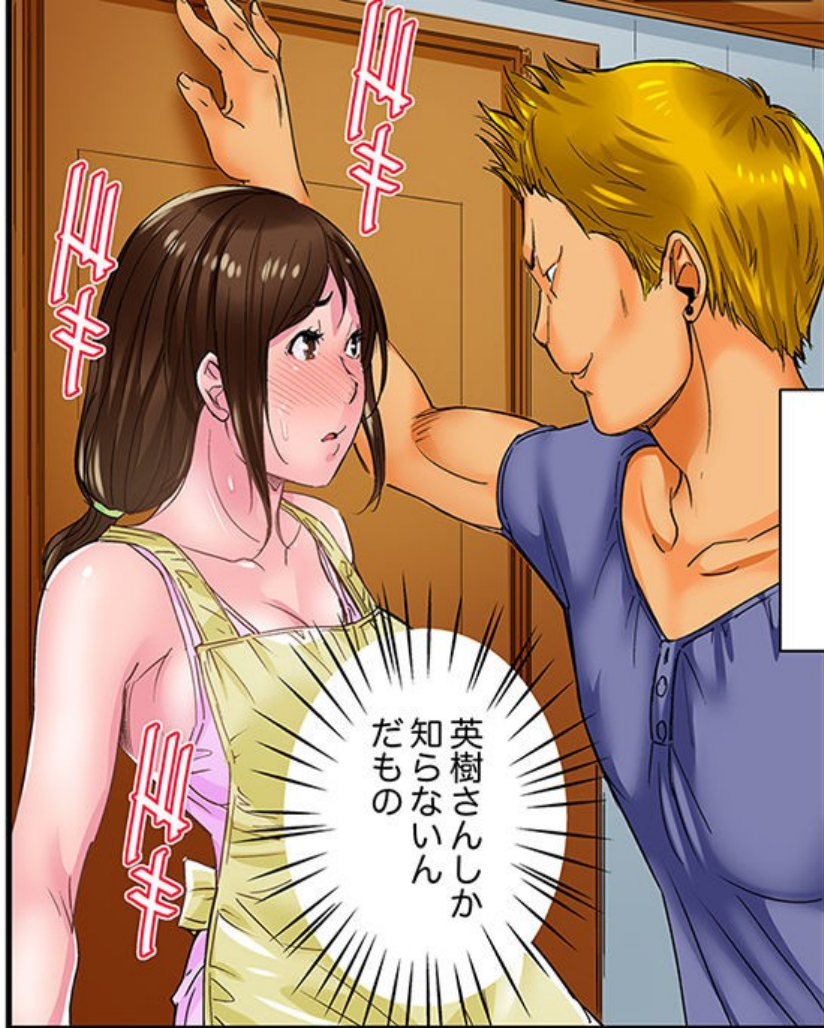
何？  
この視線



ああ  
聞こえちゃって  
ます？

ニタリ

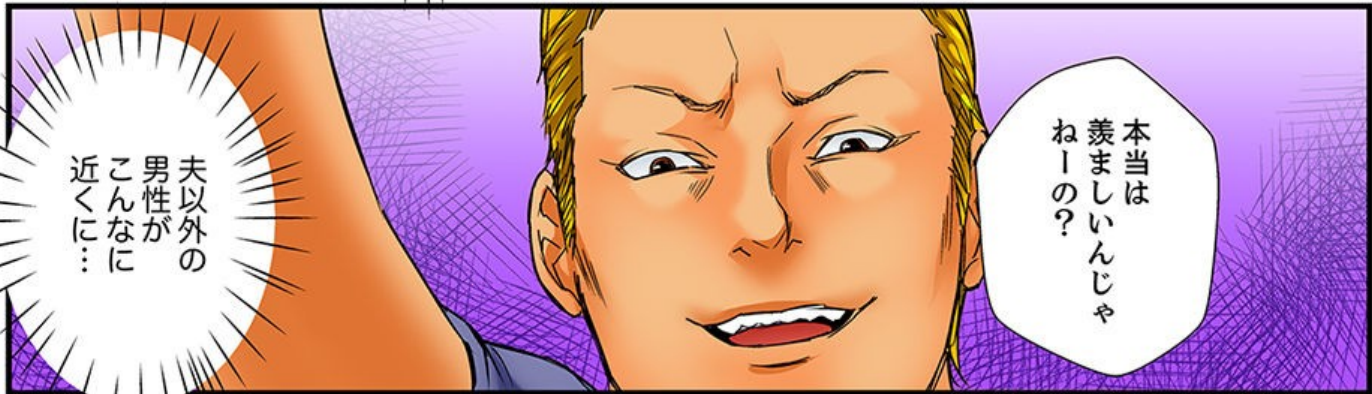




だけど：  
セックスって  
そんなに  
違うものなの？

そんなこと  
言ったって  
わたし：

英樹さんしか  
知らないん  
だもの



本当は  
羨ましいんじゃないの？

夫以外の  
男性が  
こんなに  
近くに：



あ…



オトコと  
オンナはね  
獣になるのが  
一番気持ち  
いいんだよ

なっ…



ちよっ…  
何を  
するんですか…

^^  
^^  
^^

シッ  
ハッ



やめて…  
やめてください

本気で  
嫌がって  
ねえな  
義姉さん



あっ!  
あ  
あ  
あ



ムリッ  
ムリッ



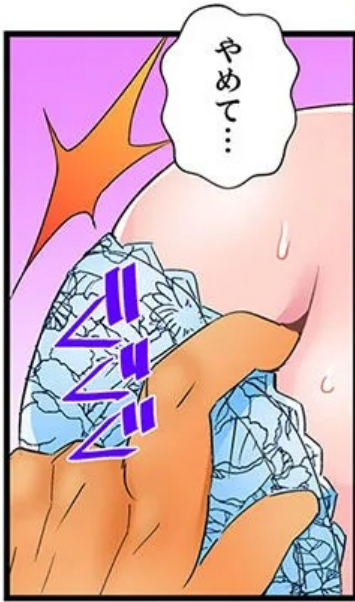
モクッ  
ムリッ

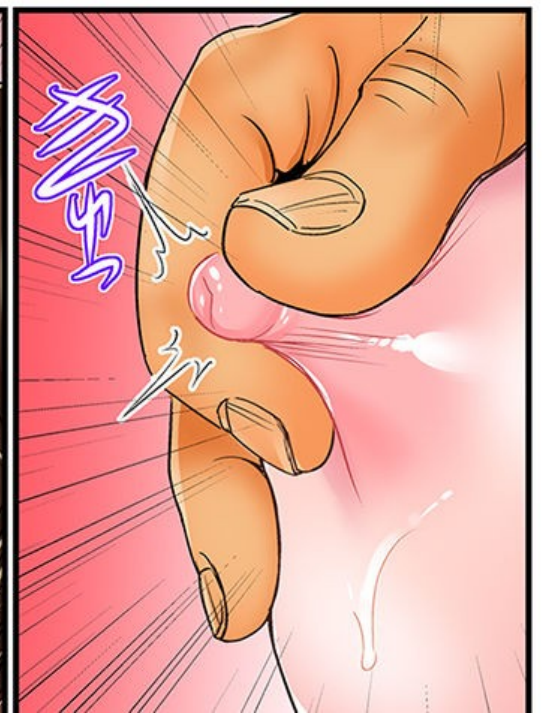
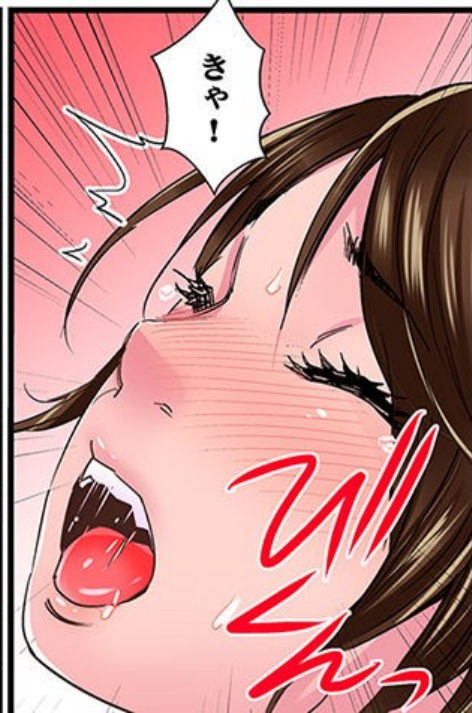
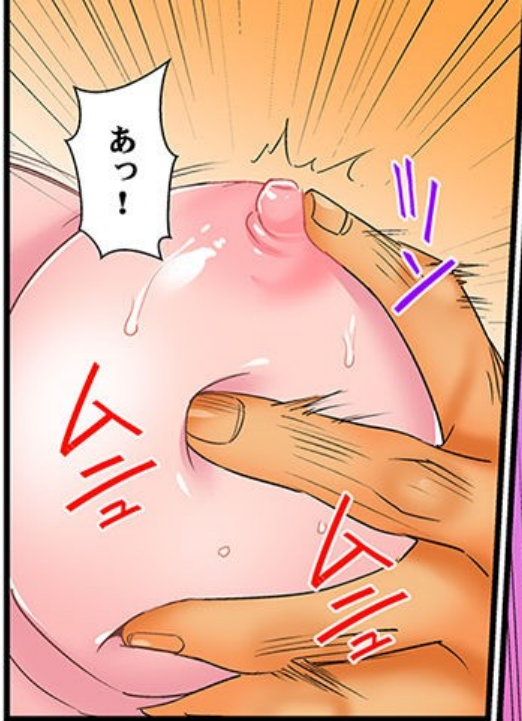
こんな  
エロい身体  
してるんだし



本当は  
興味  
あるんだろ?

え?





こっちの  
感度は  
どうかな  
へへへ

スッ

あっ!  
そこは!!

だめっ!

あああ!

クチュ

クチュ  
クチュ  
クチュ

はっ!  
はっ!

あっ!

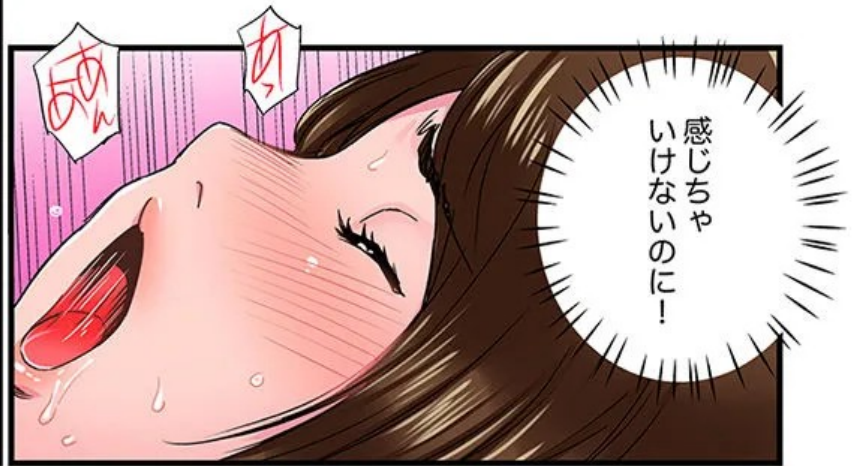
ひゃああ!

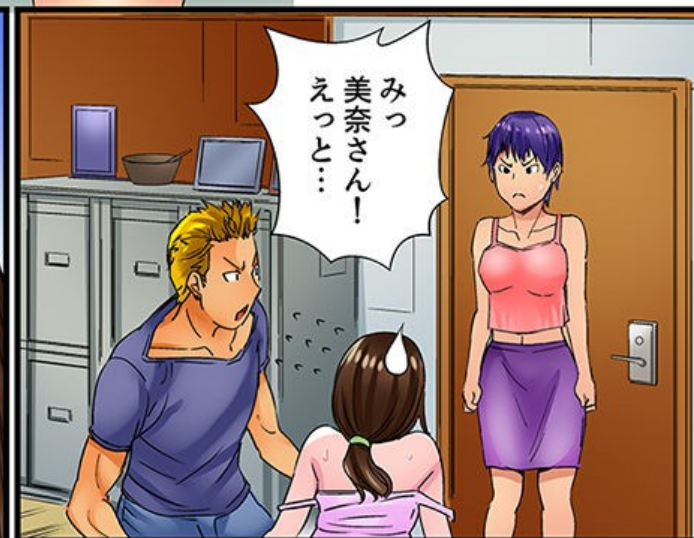
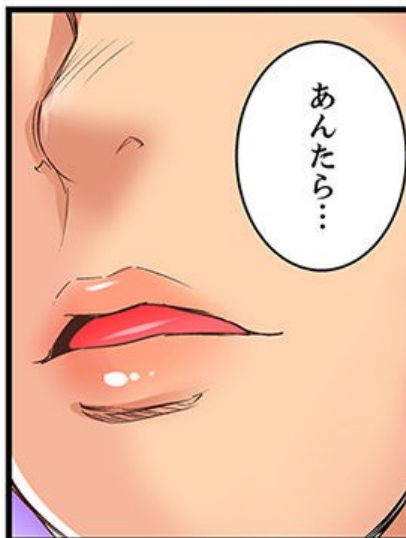
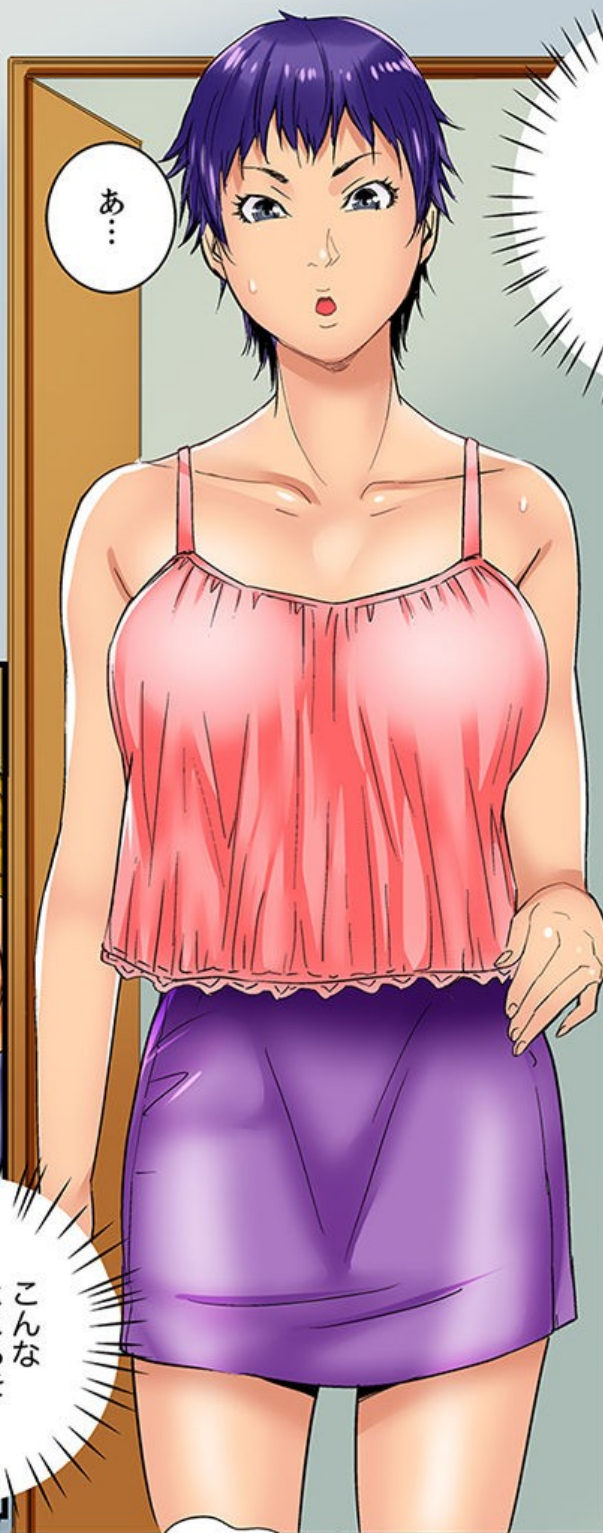
クチュ  
クチュ  
クチュ

クチュ  
クチュ  
クチュ

クチュ

クチュ  
クチュ  
クチュ



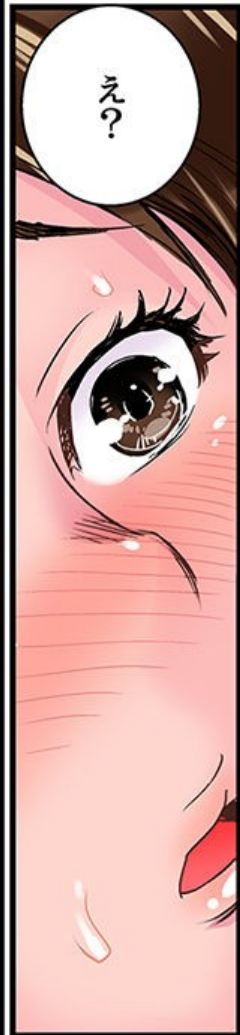




お前も  
来るか？

好きだろ  
こういうの

クマクマ



え？

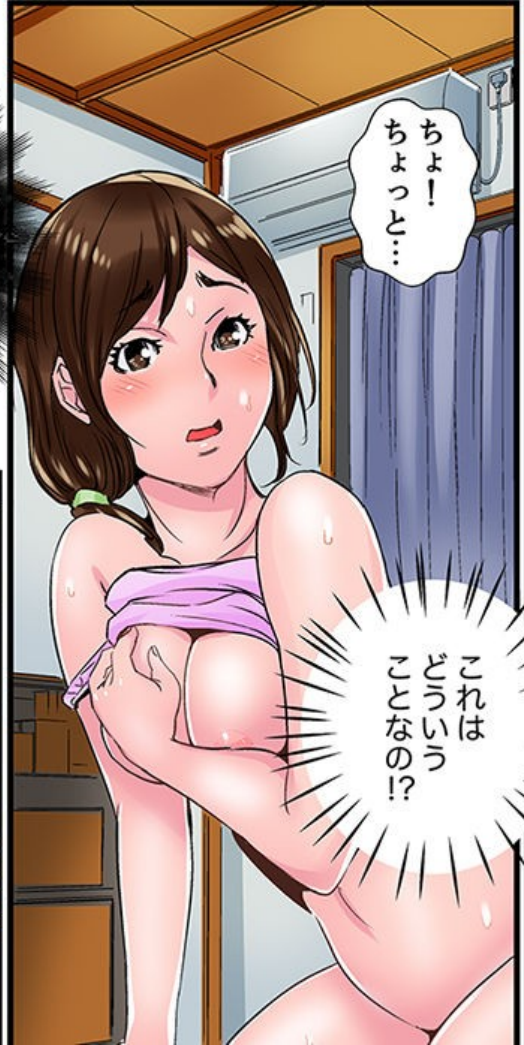


何よ  
楽しそうなコト  
してるじゃん

ニコリ



うんてい



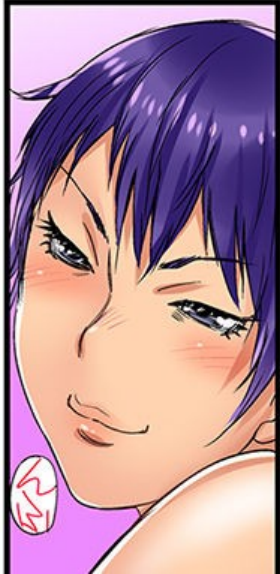
ちよ！  
ちよっと…

これは  
どういう  
ことなの！？



うふふ  
参加しちゃお

めげん



めげん

義姉さん  
もっと  
気持ちよく  
してやるよ



なんなの？  
この夫婦！



あたし  
男も女も  
イケんのよね



きれい…  
肌  
真っ白だね



うふふ



えええ！



お義姉さん  
お肌すべすべで  
きれい



3P初めて  
でしょ  
義姉さん

何これ!



どうしてわたし  
二人に  
騷られてるの?



ああん!



あああ  
そんなに  
責められたら  
わたしまた...



へへ  
だいぶ  
滑らかになって  
きたな



あああ!



あつ!!  
やつ!!

ダメなのに…  
感じちゃ  
ダメなのに!



わたしの  
中を  
かき回してる



舌がまるで  
生き物みたい



義姉さん  
蜜があふれて  
きたよ

こんなの…  
すごく  
感じちゃう



はああ!



へへへ  
まだまだ  
休ませねえよ



さやぶー!



なんで  
なんで  
こうなるの!?

あああっ!



もう  
気が遠く  
なりそう



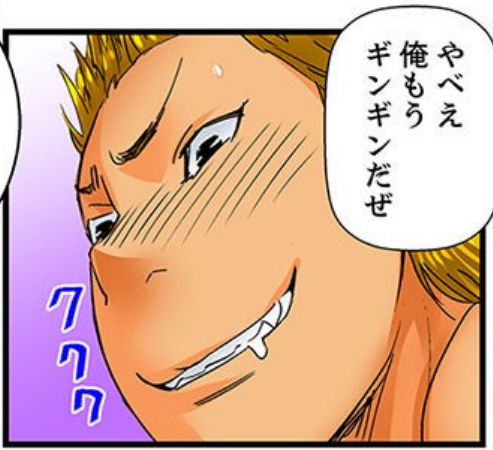
二人  
がかりで  
何度も  
何度も  
イカされて...



さあアンタ  
ぶち込んで  
あげなよ

お義姉さんに  
ドピュドピュ  
中出し  
するとこ  
見せて

あはあ



やべえ  
俺もう  
ギンギンだぜ

フッフ

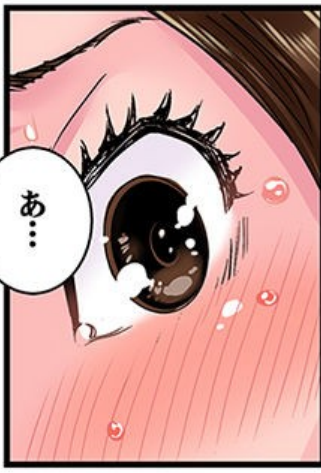


え？  
まさか…



あはあ

ええっ！  
ウソでしょ!?



あ…



ああ！  
入っちゃ…



ああああ！



ムムムムムム



だ…  
めえ…

ひゃっは！  
キツくて  
気持ちいい！

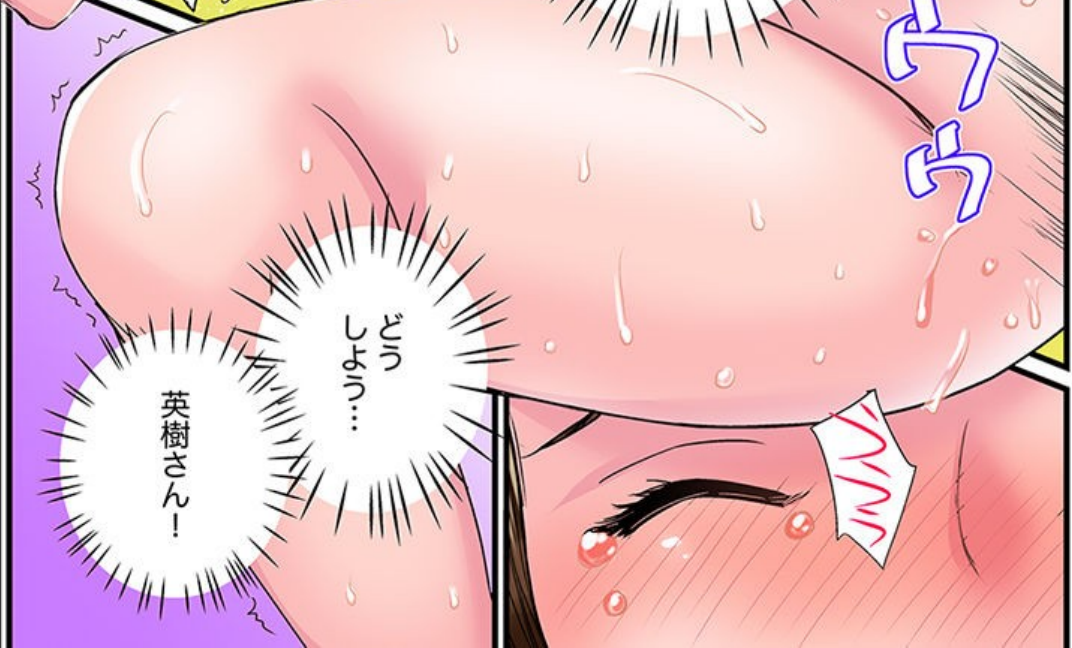
あああ

夫以外の  
モノが  
わたしの  
中に…

ムムムムムム



お義姉さん  
泣いちゃってる  
うふふ  
可愛い



どう  
しよう…  
英樹さん！



義姉さん  
俺のは  
すげえぞ！

もっともっと  
よがらせて  
やるからよ

英樹さんの  
弟さん  
なのに！

何  
これえ！

こんなの  
だめえ！



あああ  
あー!!



ほれほれ

これ以上  
されたら  
わたし…！



いやあ！

お願い  
止めてえ！

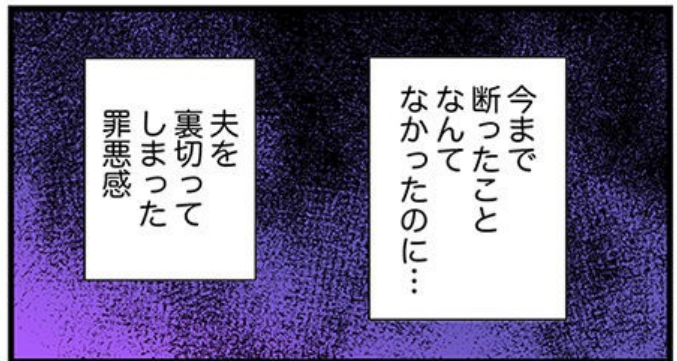
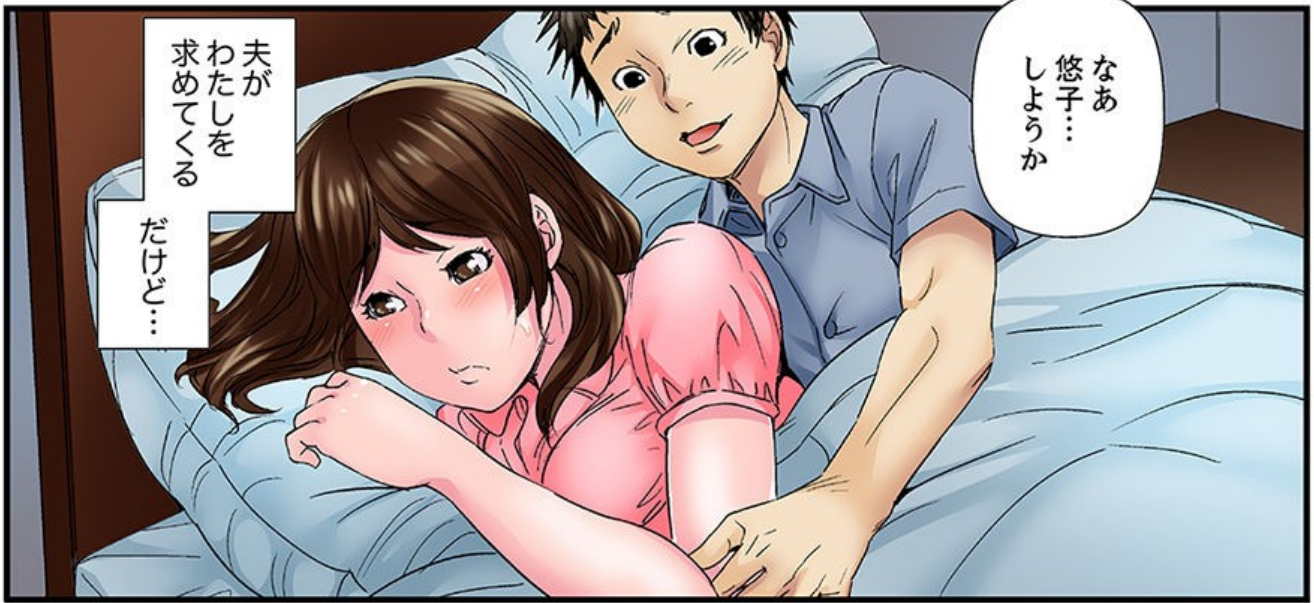
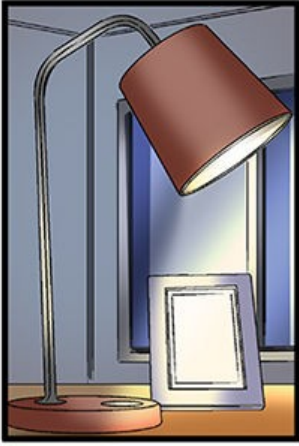


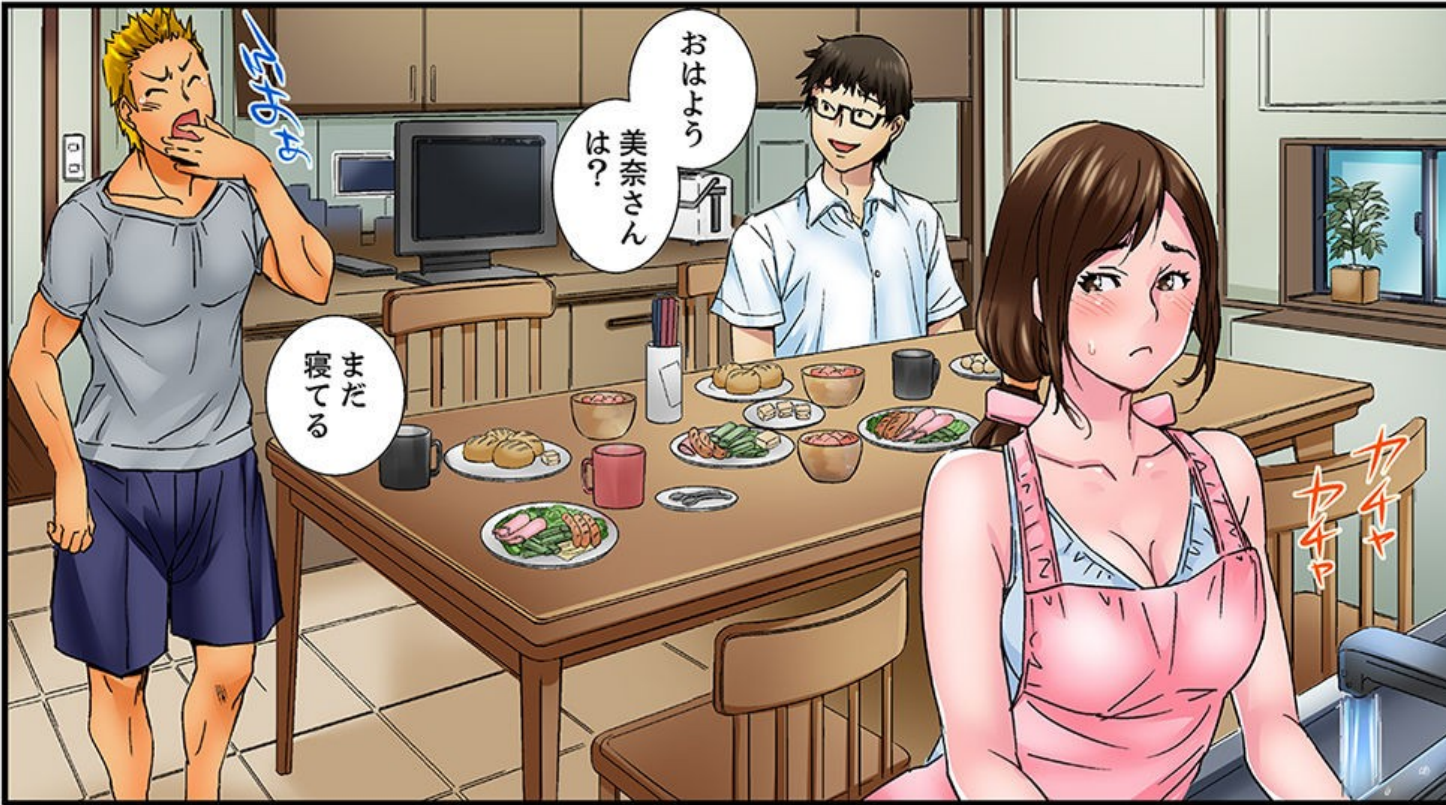


わたしは  
夫に不貞を  
働いてしまった

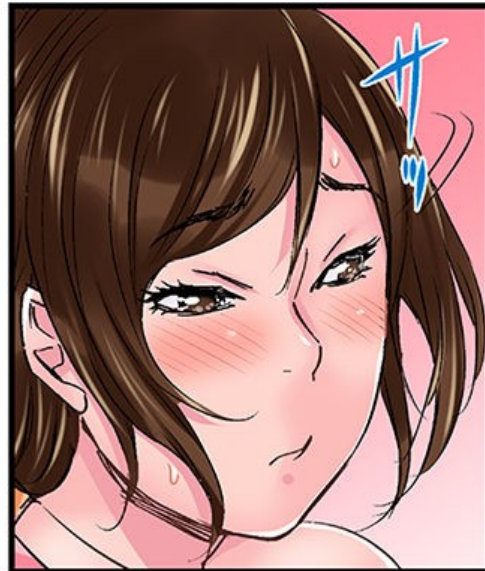
...  
セクン

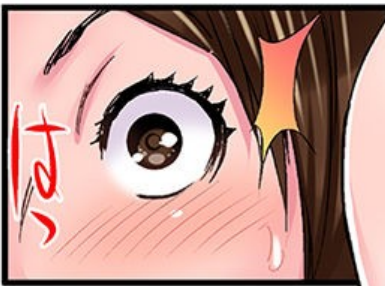
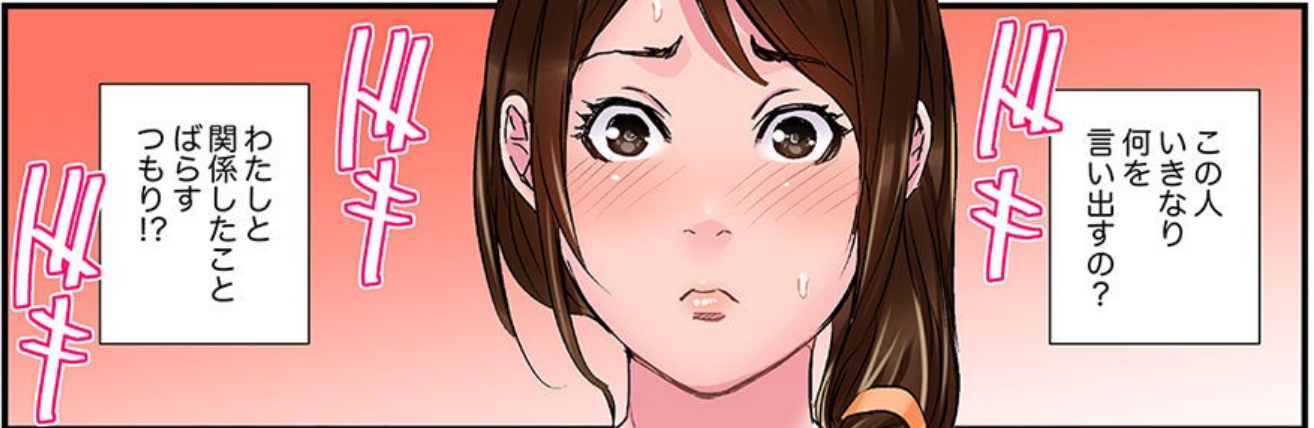






拳二さんと…  
目が合わせ  
られない







この人  
わたしのこと  
からかっている  
だわ!

YI  
めめめめ



なんだよ  
それ...



なーんて  
な!

ハハハハ



でも英樹さんは  
あまり弟とは  
関わりたくない  
みたい

レイプされた  
ことを夫に  
打ち明けるべき  
だろうか...



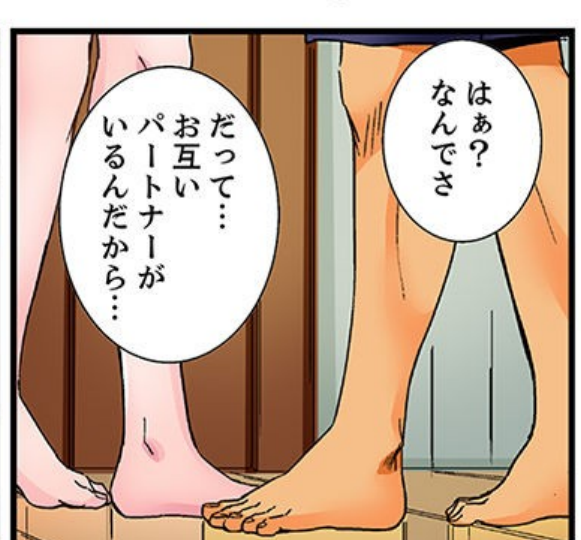
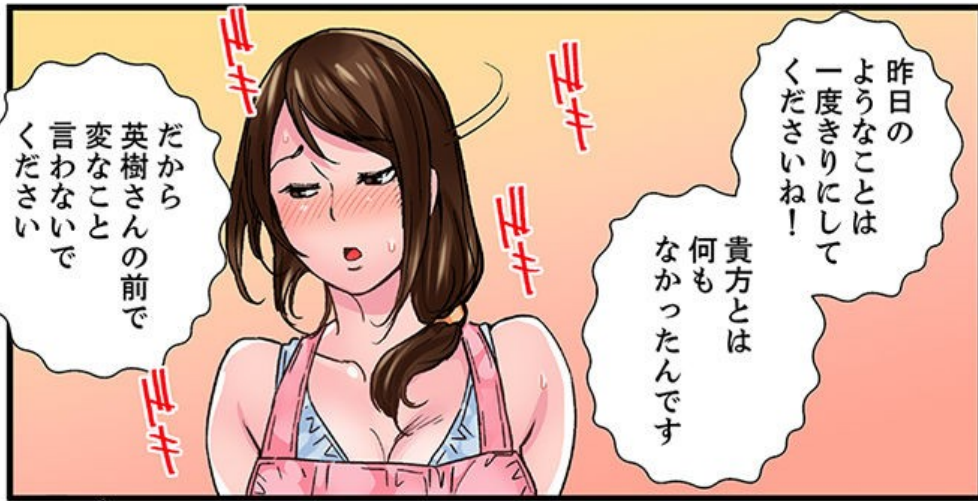
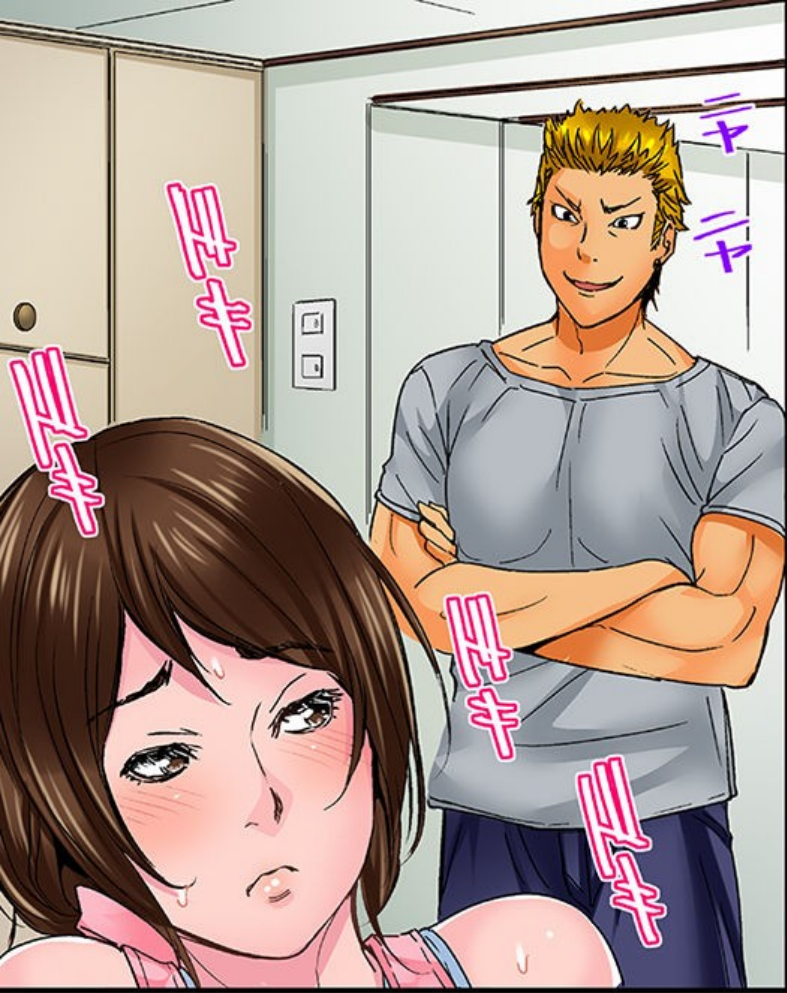
それだけは  
いやだ...

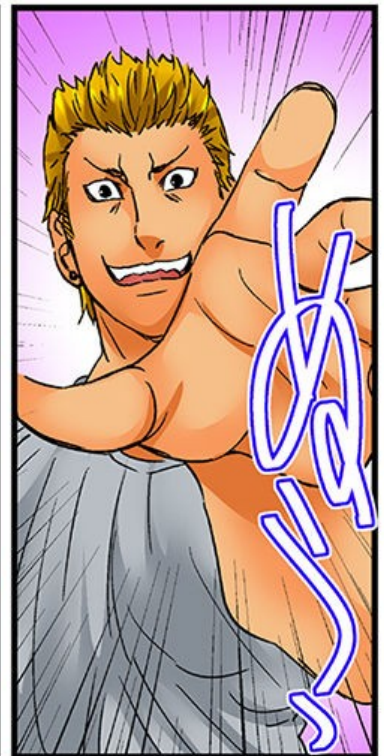
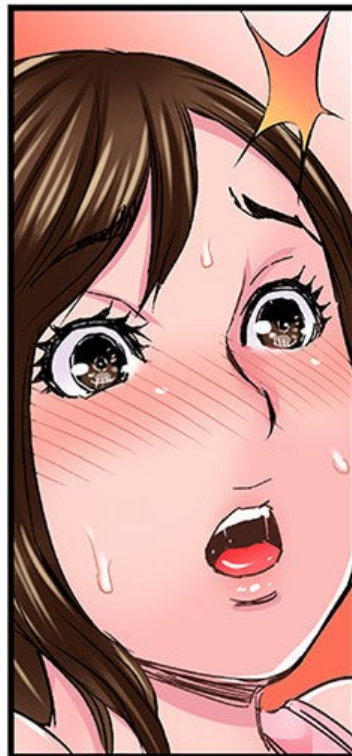
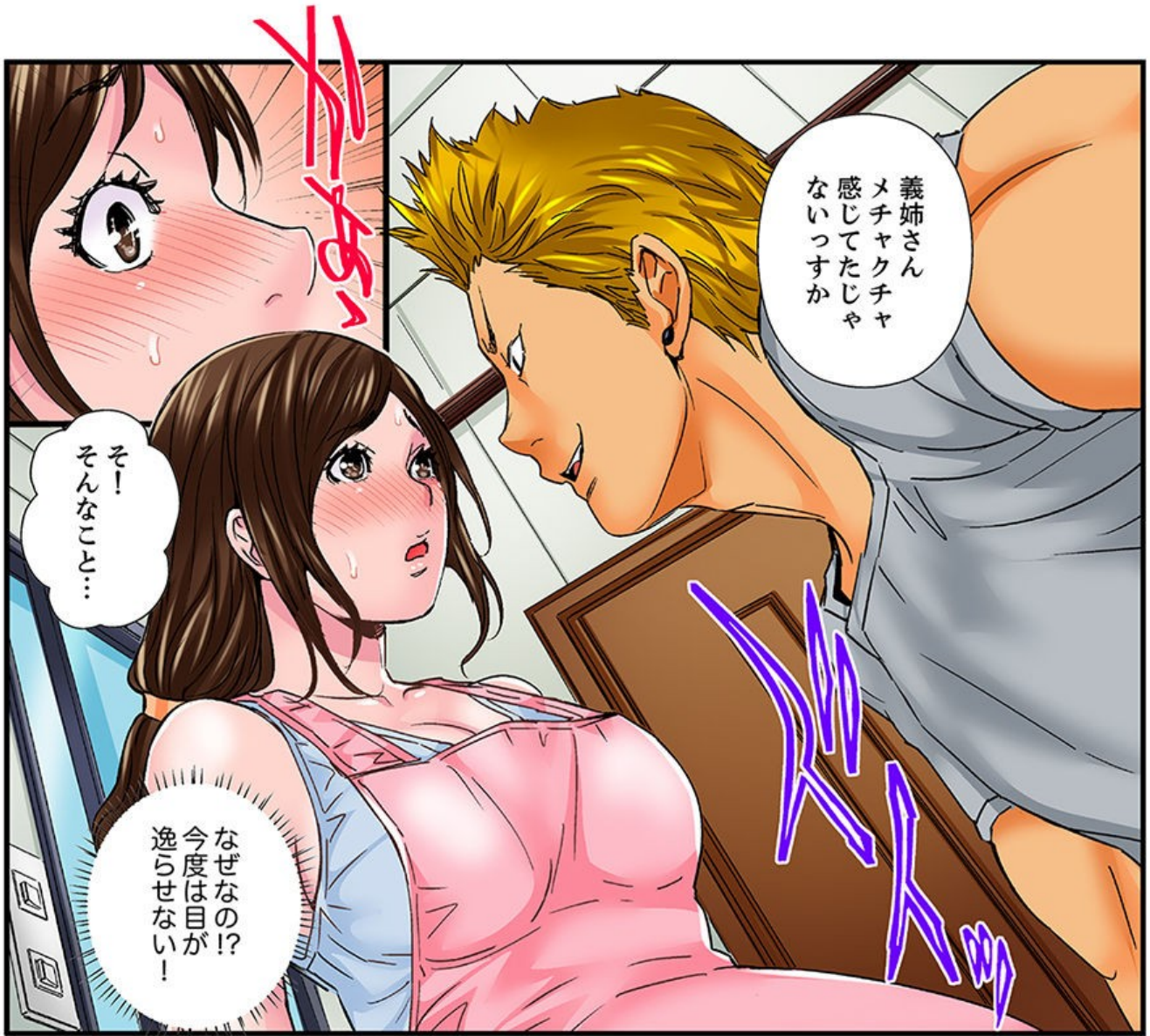


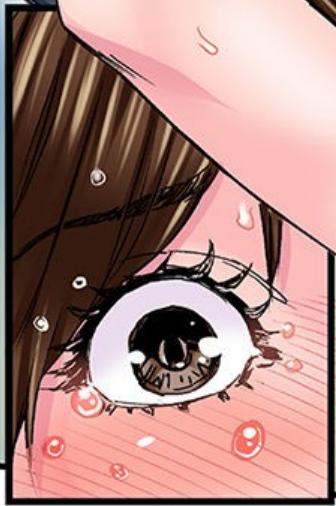
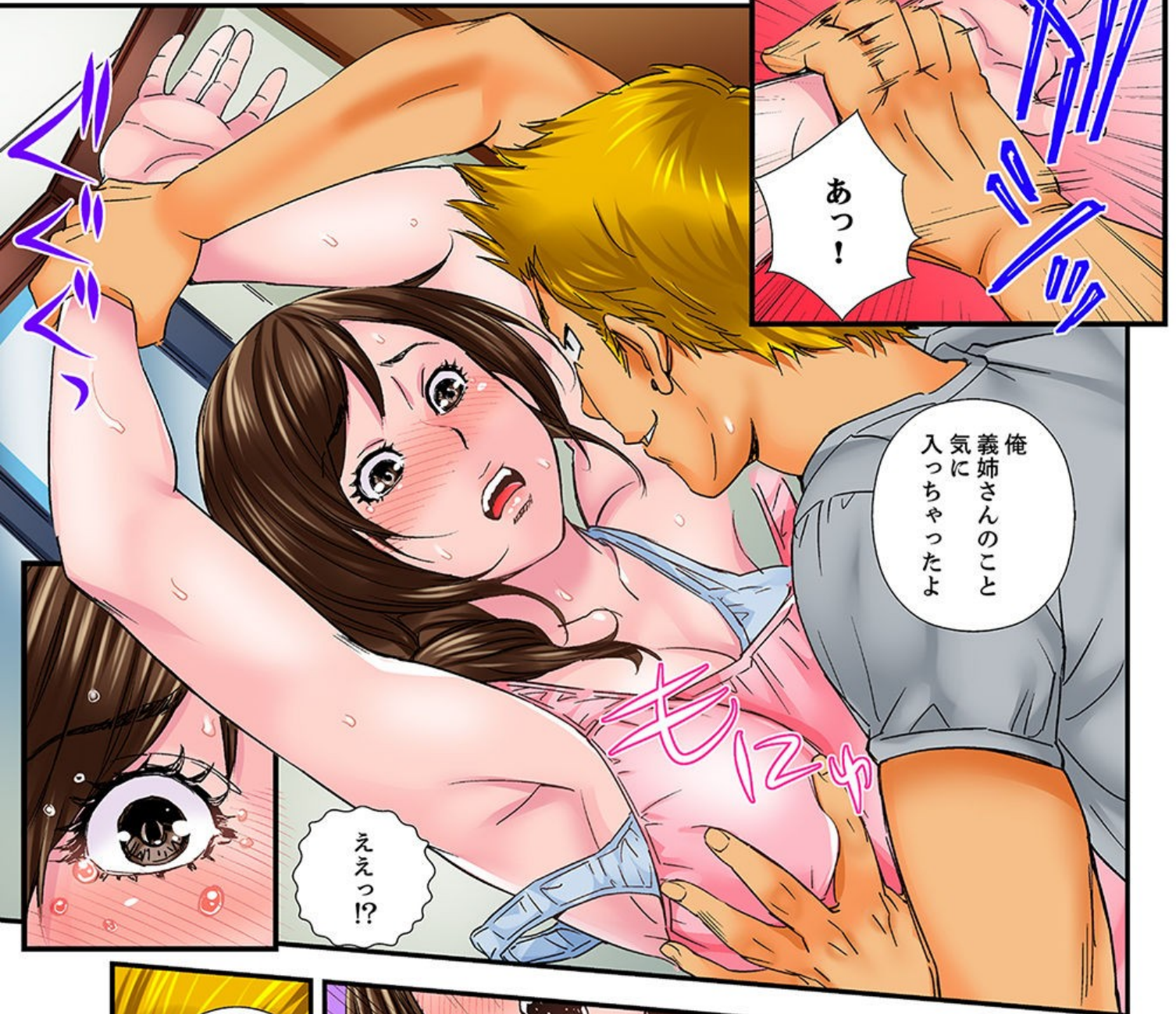
最悪の場合  
離婚されて  
しまうかも  
知れない

レイプされた  
わたしを夫が  
どう思うか...

そもそも  
自分の家の中で  
強姦と信じて  
もらえるのか







ええっ!?

俺  
義姉さんのこと  
気に  
入っちゃったよ

ちゅ  
ちゅ



この  
エロい身体  
病み付きに  
なりそうだ



きゅっ!

ダメっ!  
こんなこと  
許されない  
のに!

義姉さんが  
こんなエロい  
身体してるから  
悪いんだろ

もみ

もみ

もみ

そんな...!

やっ!  
そこは!

しゅ  
しゅ  
しゅ  
しゅ  
しゅ

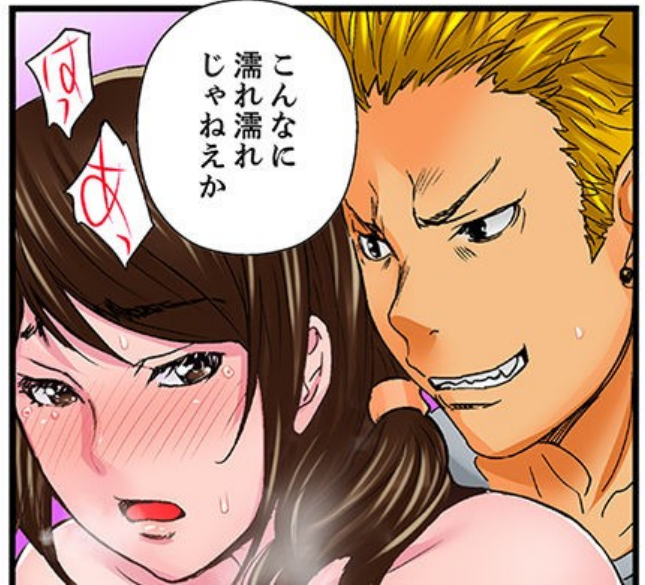
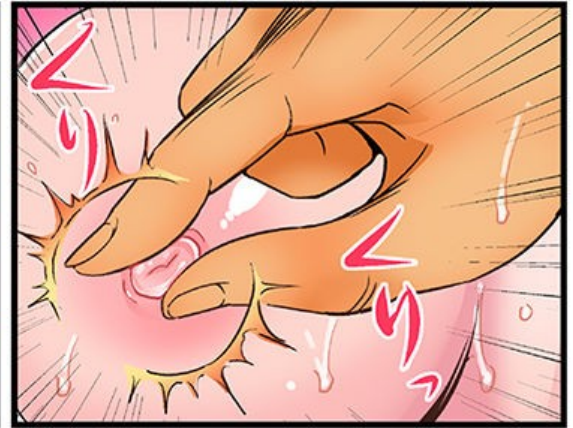
ちゅ  
ちゅ  
ちゅ

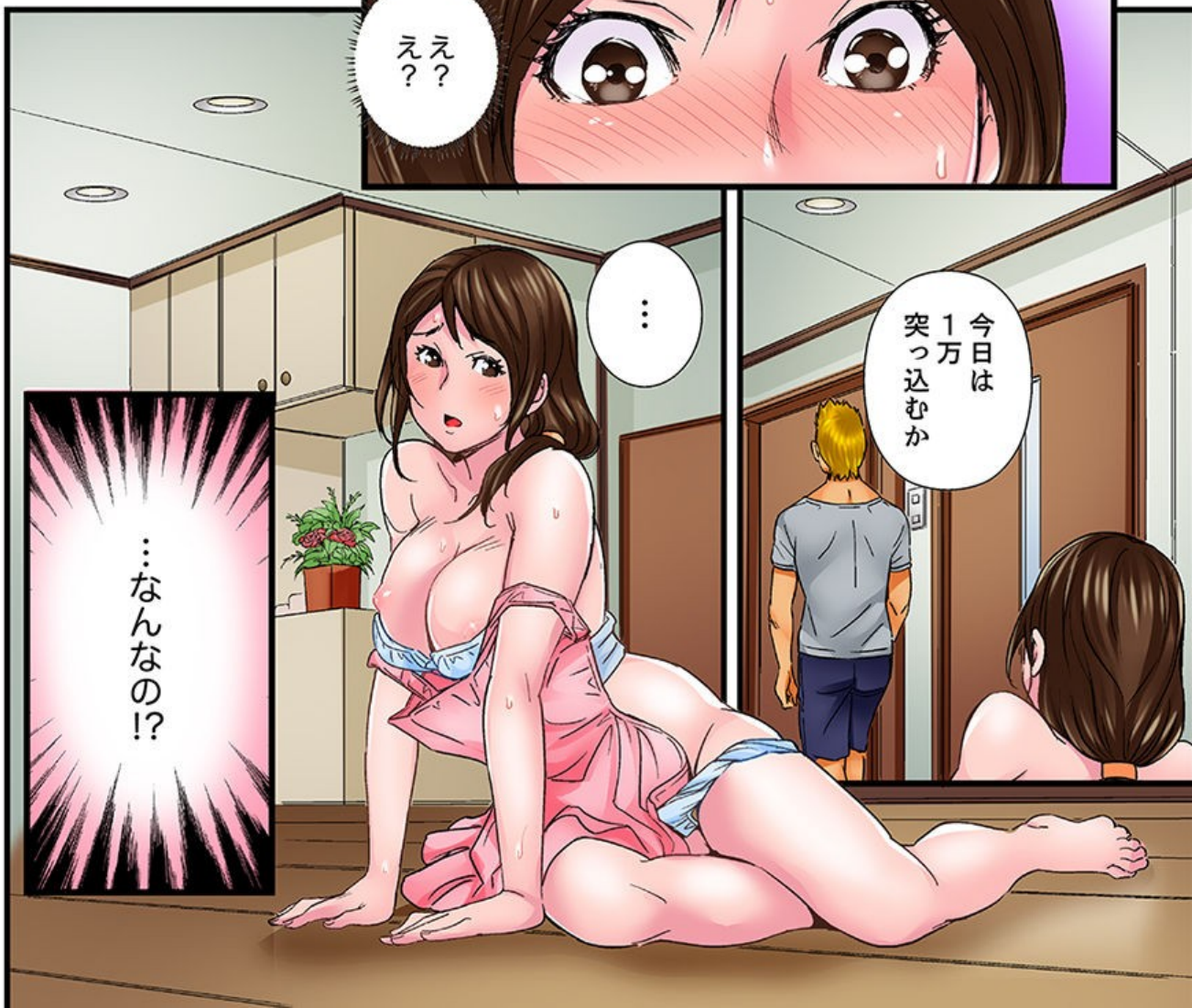
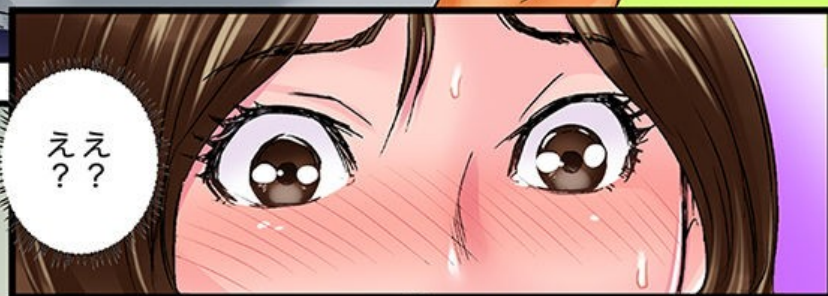
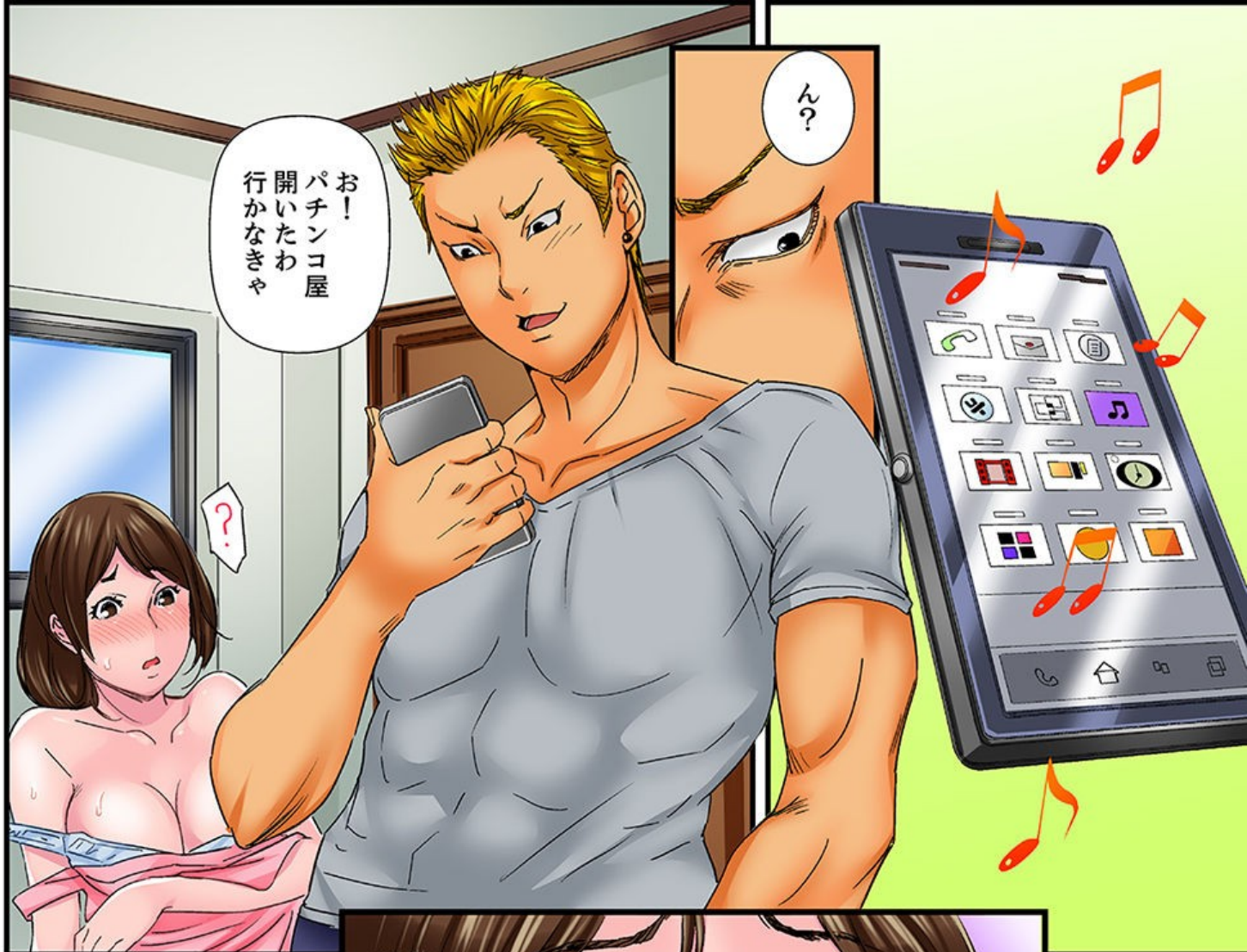
ちゅ  
ちゅ  
ちゅ

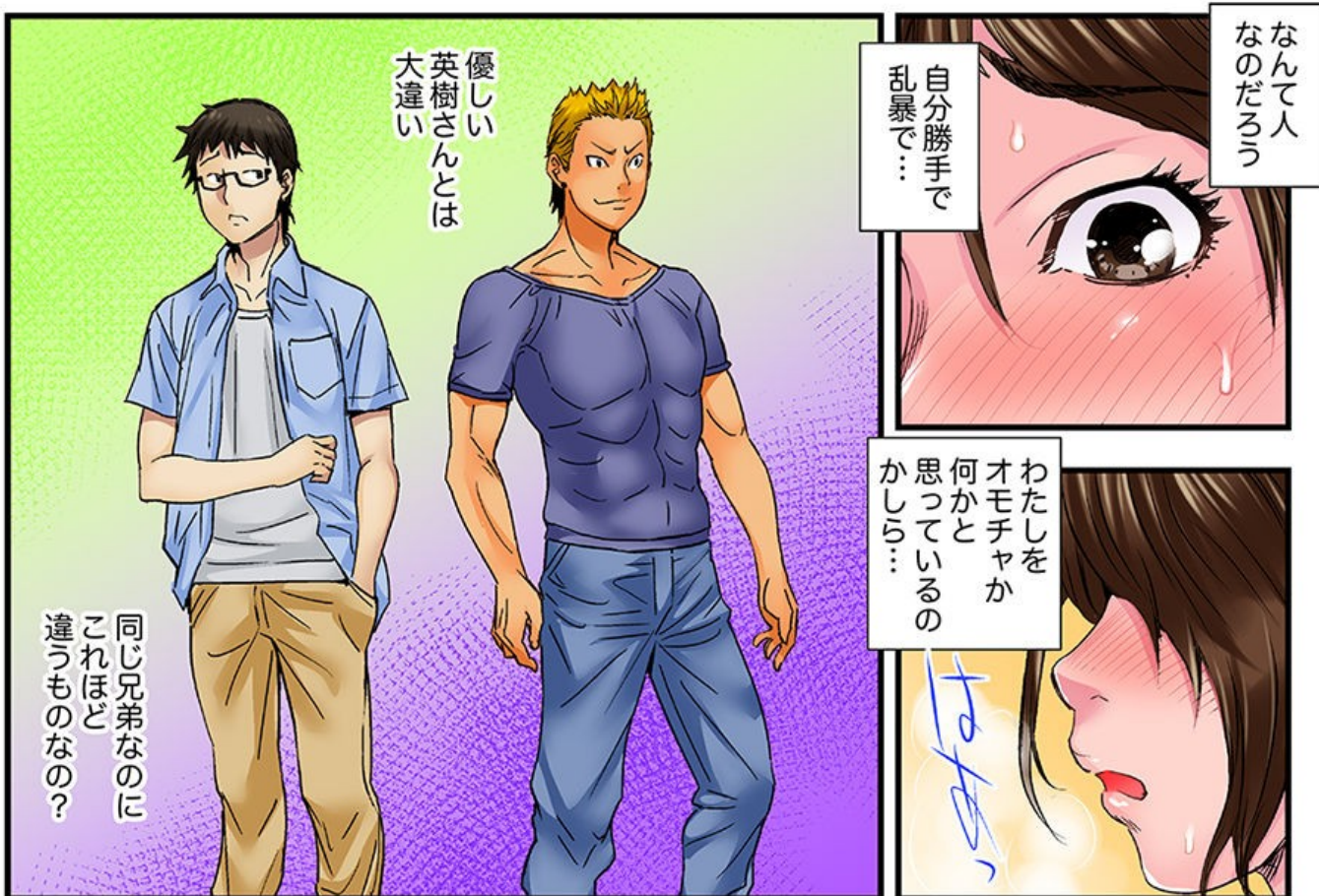
ちゅ  
ちゅ  
ちゅ

ちゅ  
ちゅ  
ちゅ

ああっ!  
ああっ!  
ああっ!







なんて人  
なのだろう

自分勝手に  
乱暴で…

優しい  
英樹さんとは  
大違い

同じ兄弟なのに  
これほど  
違うものなの？

わたしを  
オモチャか  
何かと  
思っているの  
かしら…

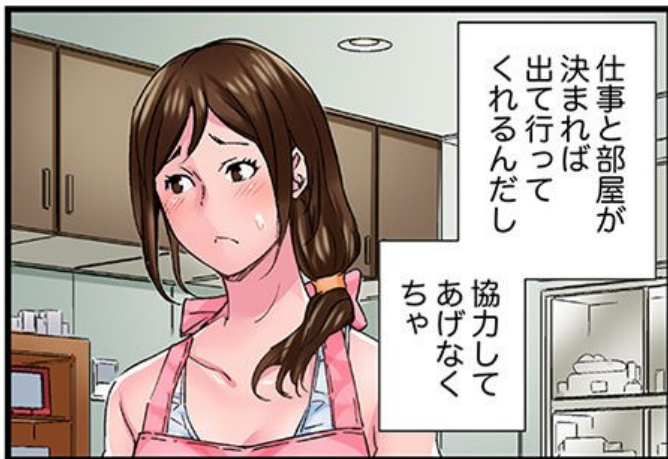


ううん  
それほど  
悪い人じゃないと  
思いたい

きっと  
職をなくして  
荒れている  
だけかも  
知れない

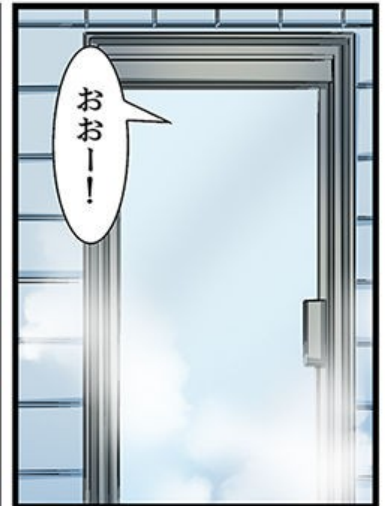
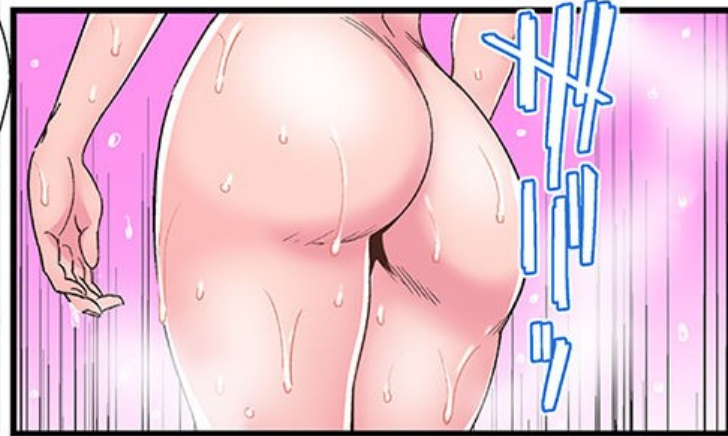


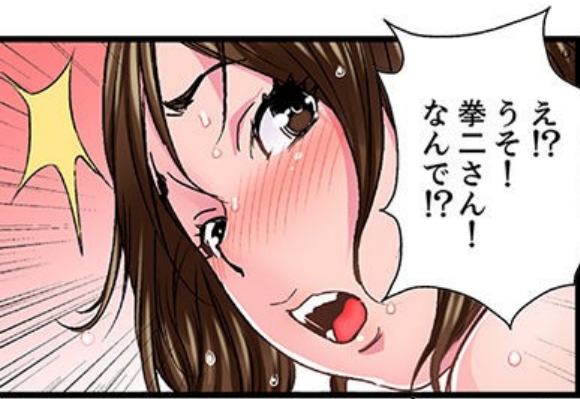
だけど…



仕事と部屋が  
決まれば  
出て行って  
くれるんだし

協力して  
あげなく  
ちゃ





え!?  
うそ!  
拳二さん!  
なんで!?

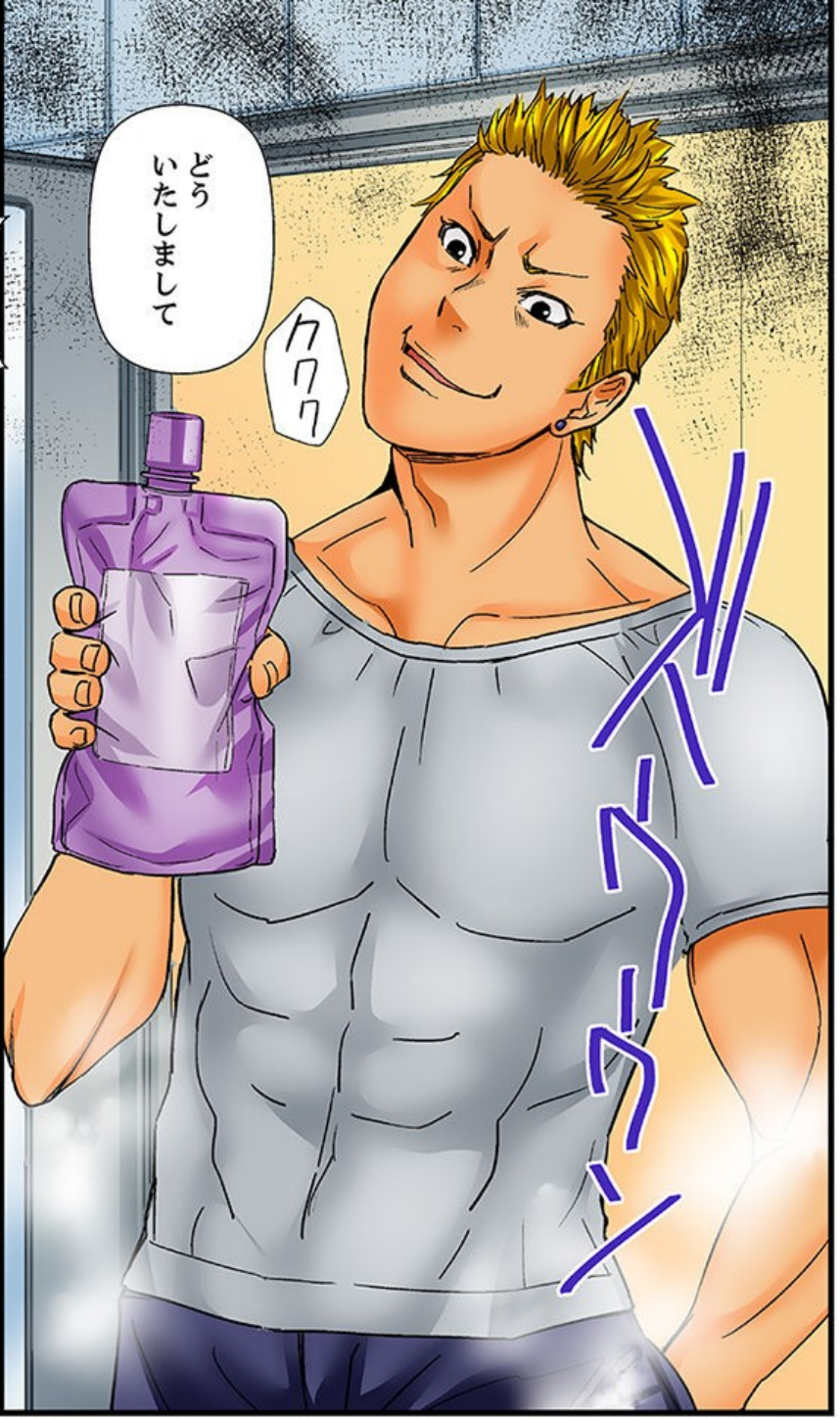


は...!  
早く  
出てって!



二日了

いい  
眺めだぜ  
俺も一緒に  
入っちゃまおう  
かなあ



どう  
いたしまして

クワクワ



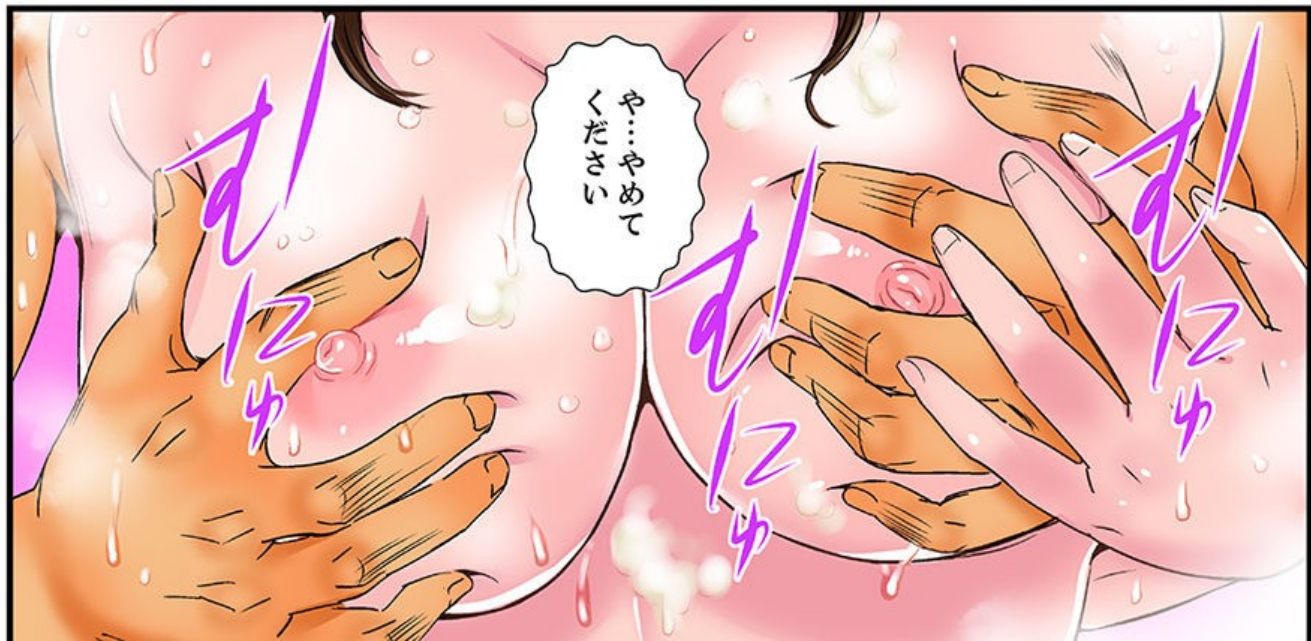
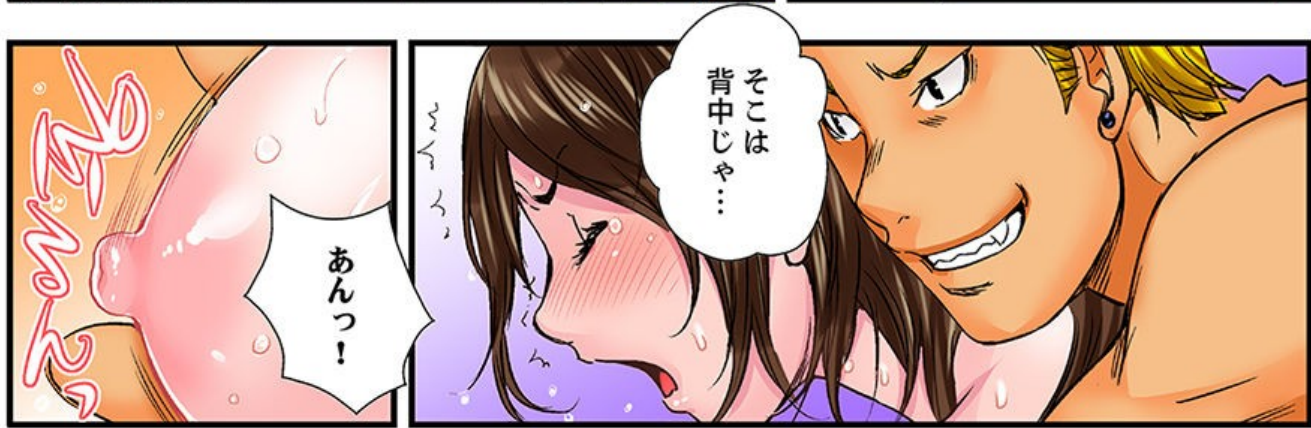
嘘でしょ!

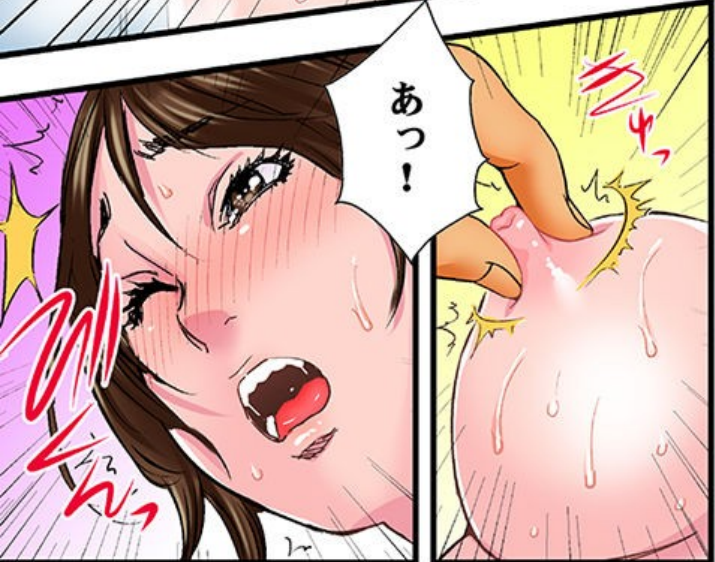
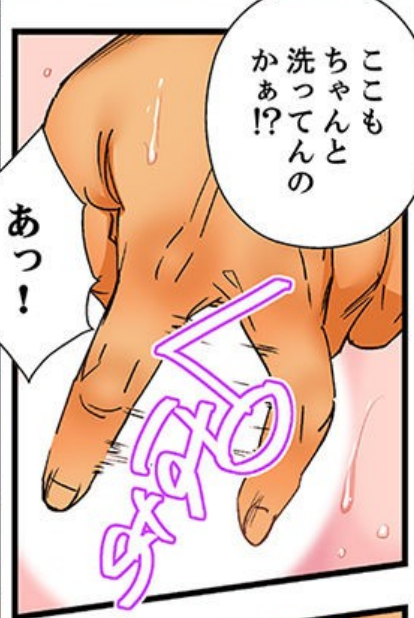
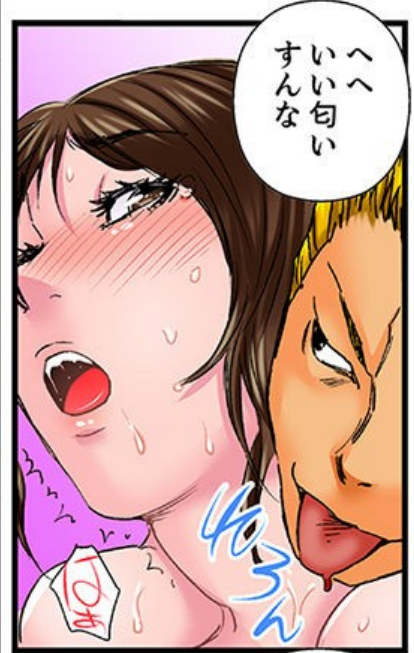


ちょ!  
ちょっと...



ぎゃー!



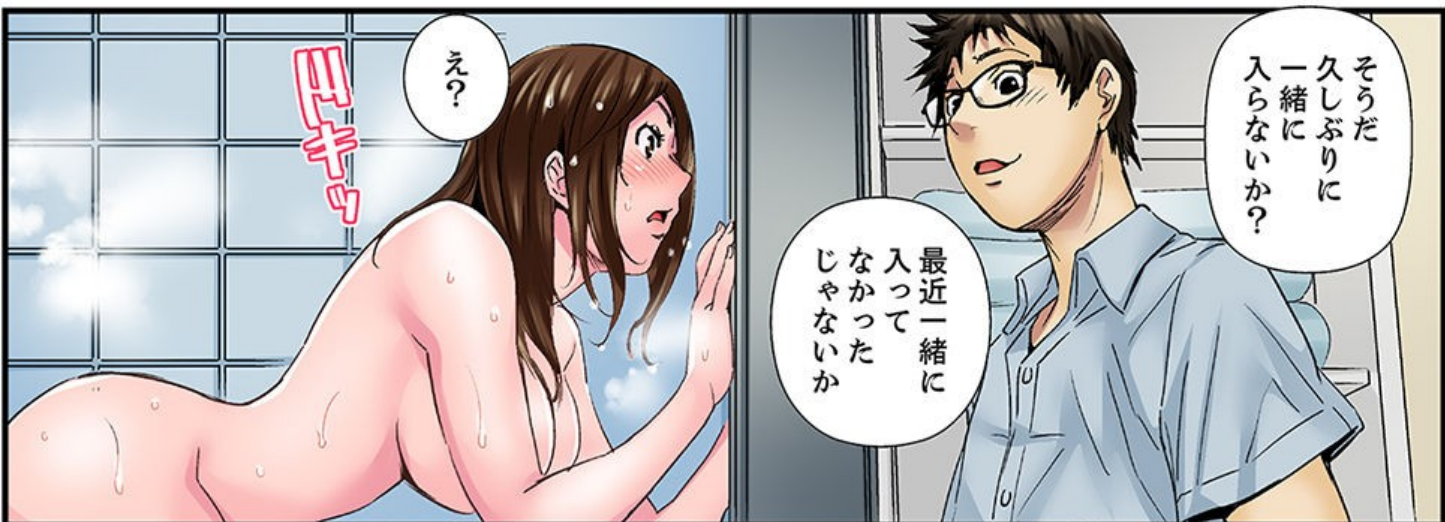






ちよ…  
ちよっと長く  
浸かり  
過ぎちゃった  
みたい…

ん？  
息が荒いけど  
どうかした？



え？

そうだ  
久しぶりに  
一緒に  
入らないか？

最近一緒に  
入って  
なかった  
じゃないか



拳二さんが  
居るのに！

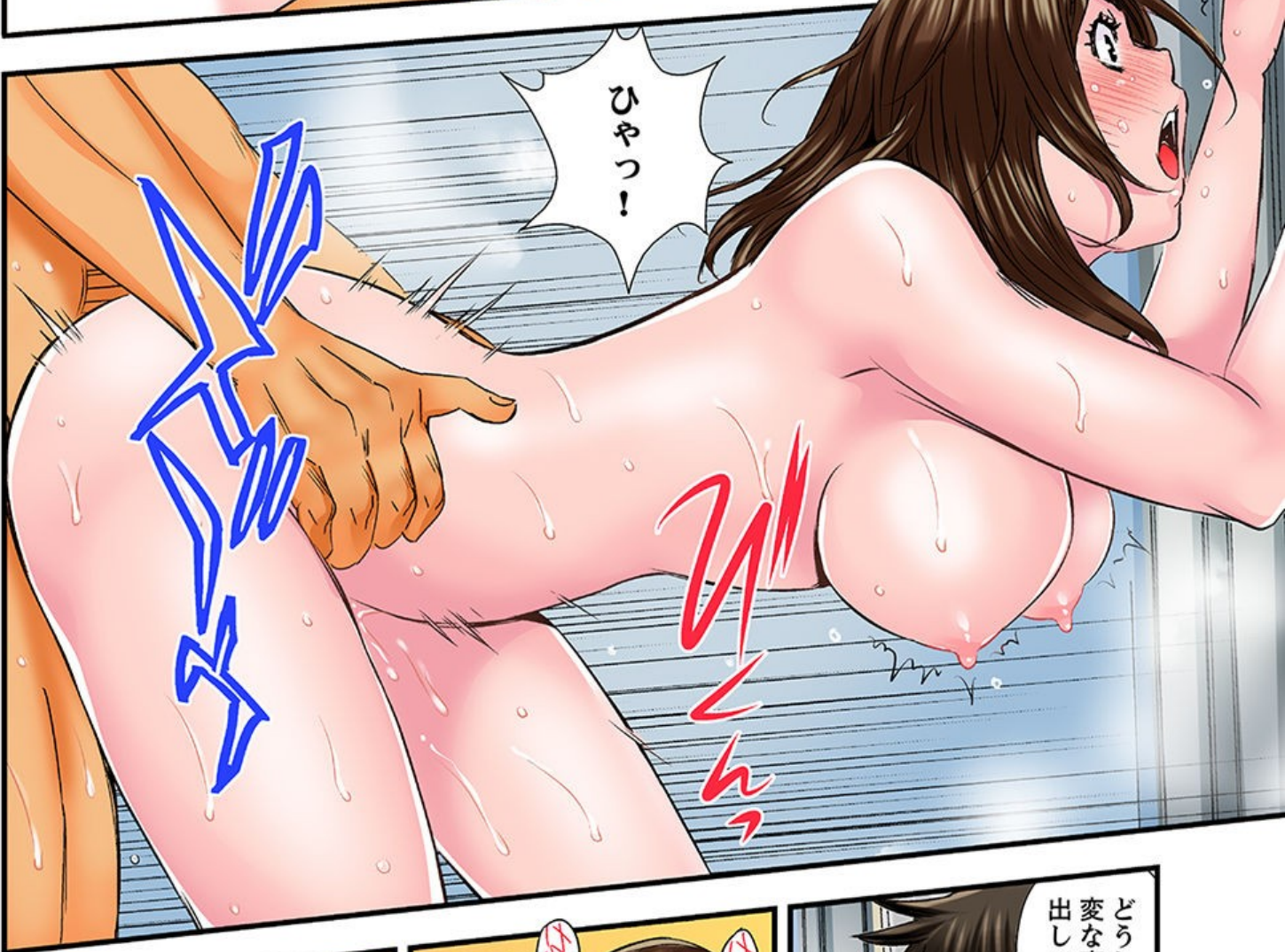
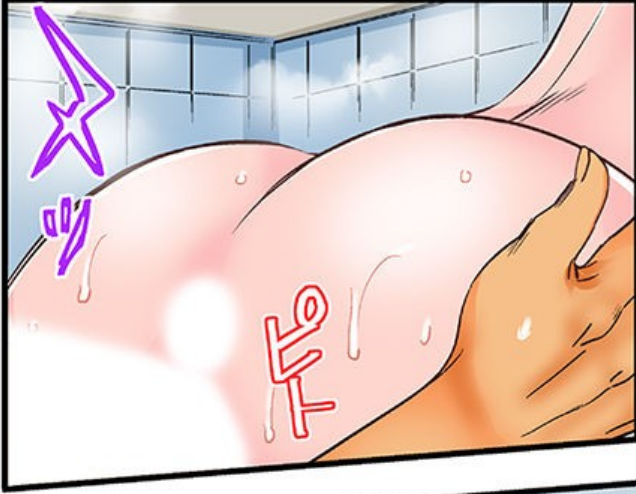
こりや  
いいや！  
3人で仲良く  
洗いっこでも  
するかい？

ちよ！  
ちよっと待って！  
英樹さん！

どう  
しよう！

あせ  
あせ

びっ  
びっ

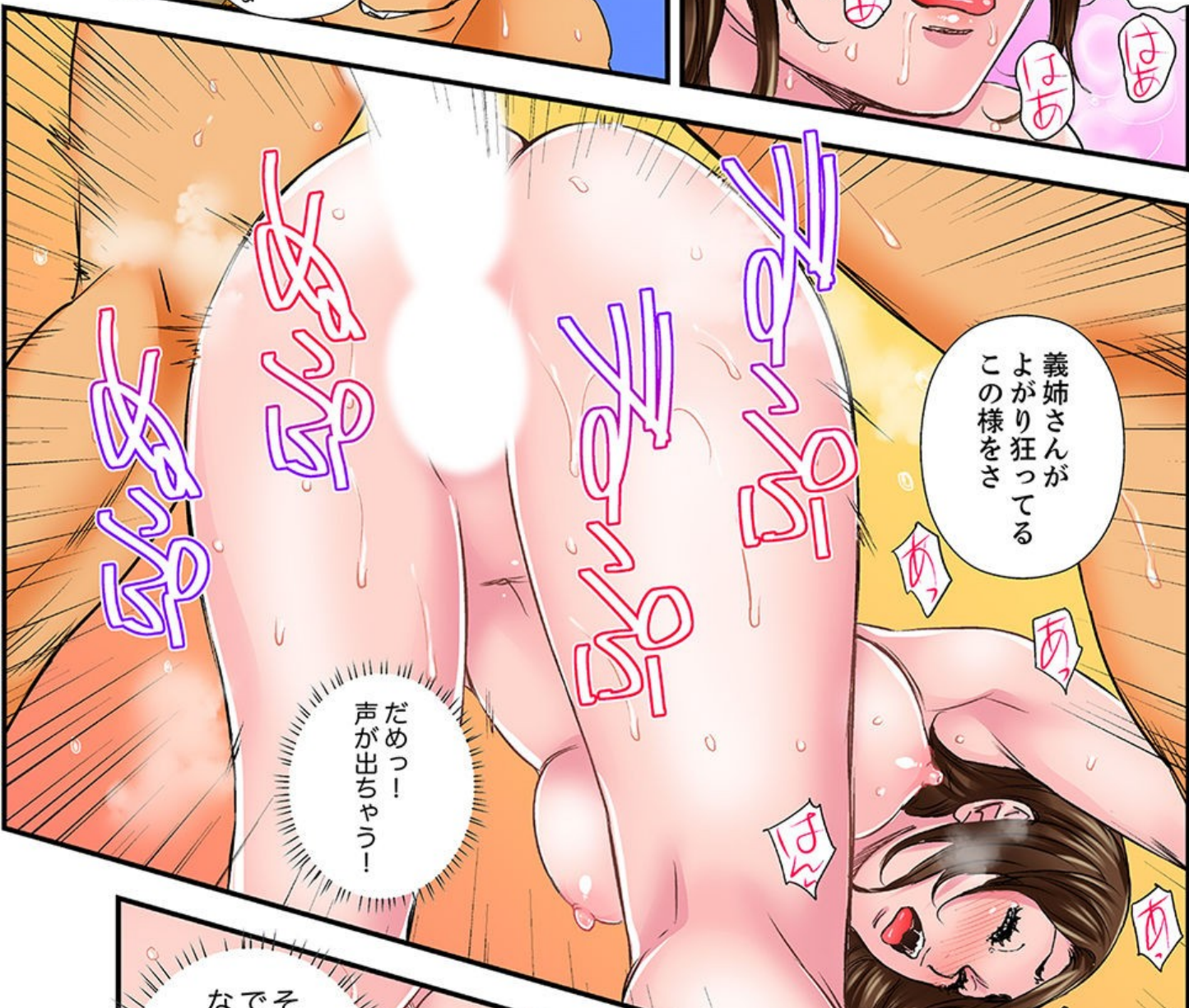




こんなところ  
アニキが  
見たら  
なんて言うかな



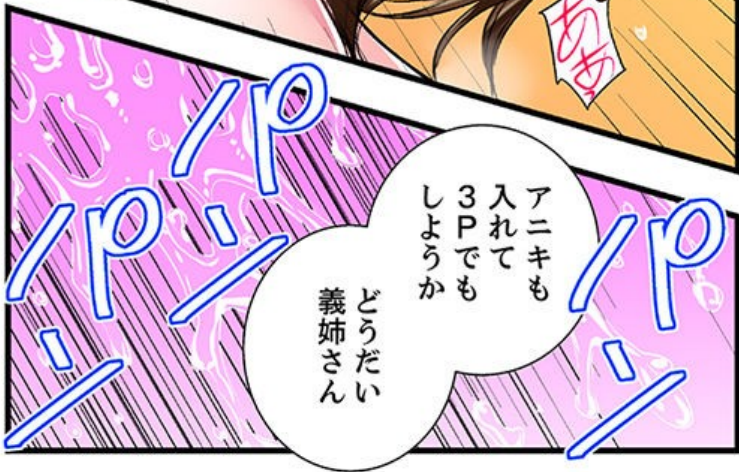
う...うん  
なんでも  
ない!



義姉さんが  
よがり狂ってる  
この様をさ



そんなこと  
できるわけ  
ないじゃない!!



どうだい  
義姉さん  
アニキも  
入れて  
3Pでも  
しようか



あ：  
汗だくで  
ひどい顔だから  
見られたく  
ないの！



…そうか  
じゃあ  
明日にでも…



ご…  
ごめん  
なさい



別にいい  
じゃないか  
俺達は夫婦  
なんだから



絶対に  
だめえ！



犯されて…

こんなに  
感じちゃう  
なんて！！



クリッ



ひっ！



悠子  
どうしたんだ？  
やっぱり  
ちよっと  
変じゃないか？



英樹さんが  
不審に  
思い始めてる

お願い！  
気付か  
ないで！



じゃあまた  
今度に  
しよう



そうか…  
わかったよ



う…うん  
本当に  
なんでも  
ないの！  
ご！  
ごめんなさい  
今日は一人で  
ゆっくり  
入りたいから…

よく  
ごまかしたね  
義姉さん

えらい  
えらい

お願い…

もう  
許して…

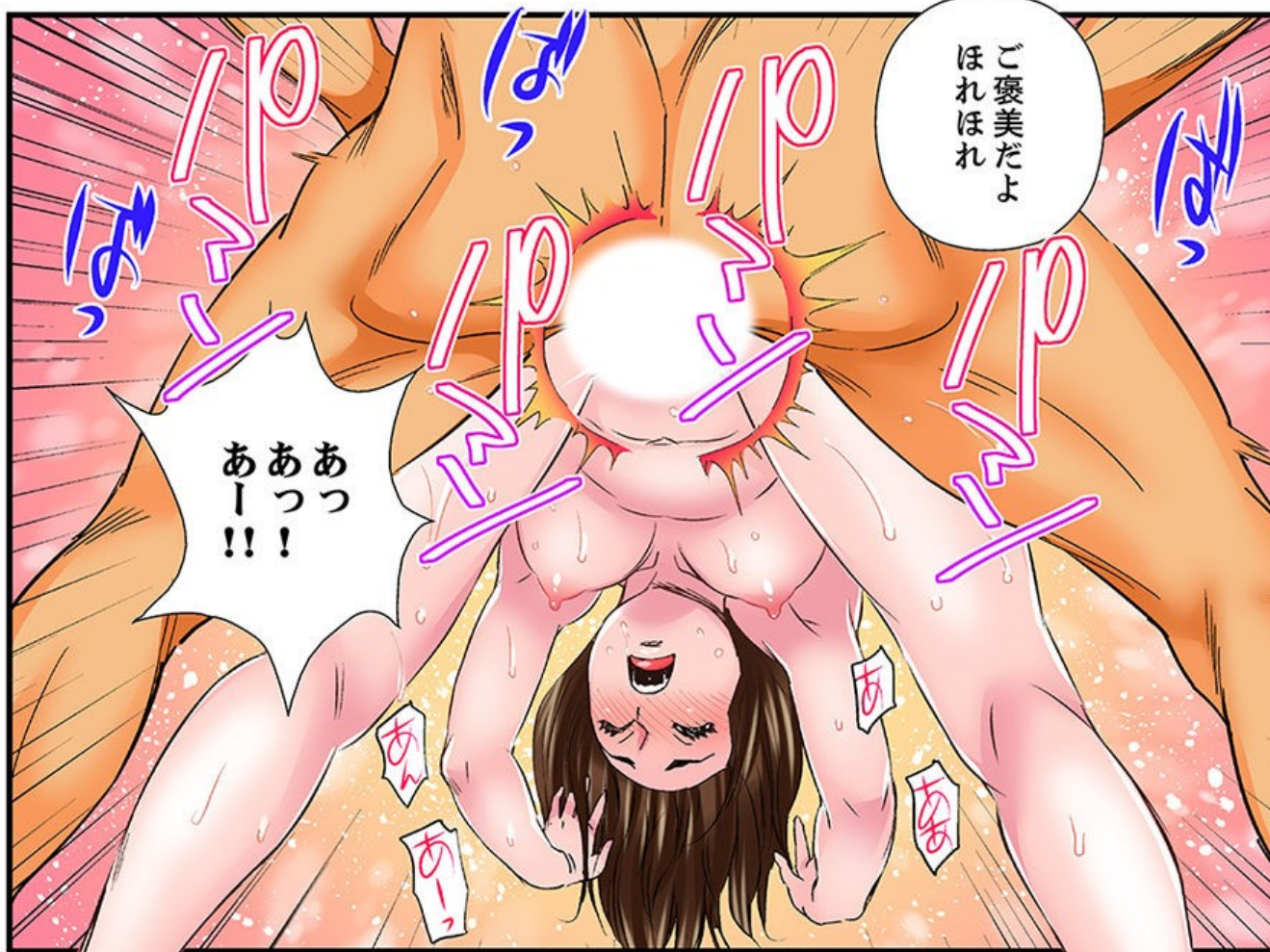
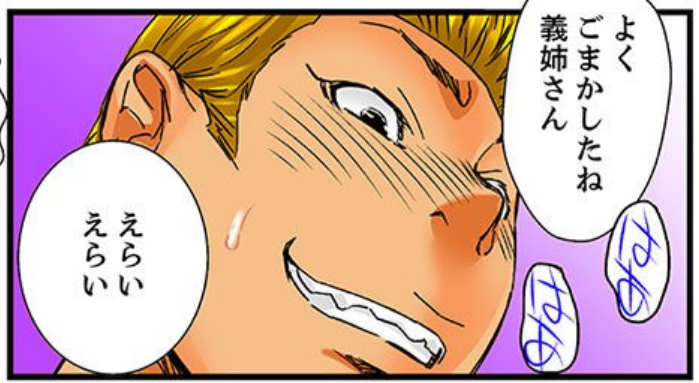
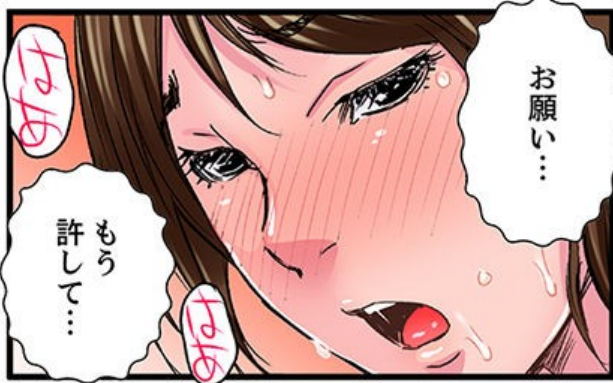
ご褒美だよ  
ほれほれ

あつ  
あつ  
あつ  
!!!

あつ  
ダメっ!

はっ!  
激しいっ!

あああつ!!





あっ

バックから  
突かれるほうが  
感じるのかよ

それとも  
風呂でやるのが  
興奮すんのか?

ちが…

ああっ!

あ

あ

あ



義姉さん  
よがり  
まくってる  
じゃん

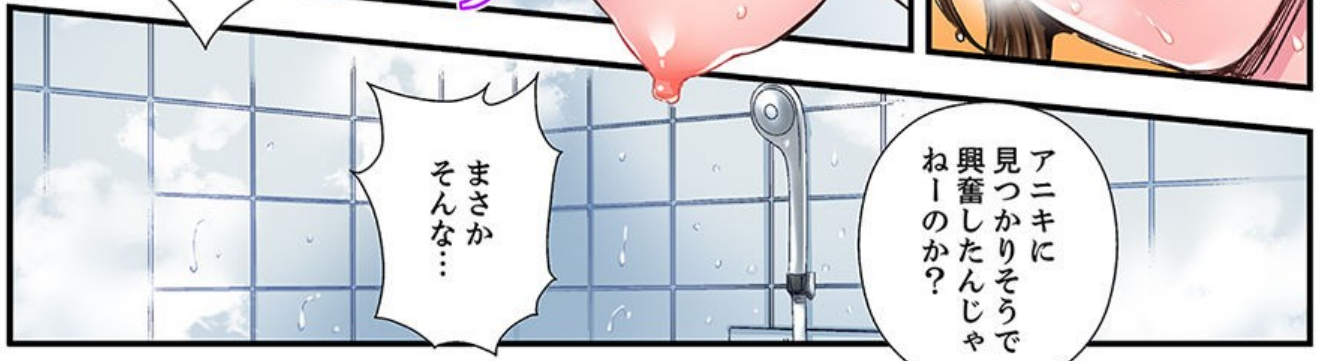
あ

あ



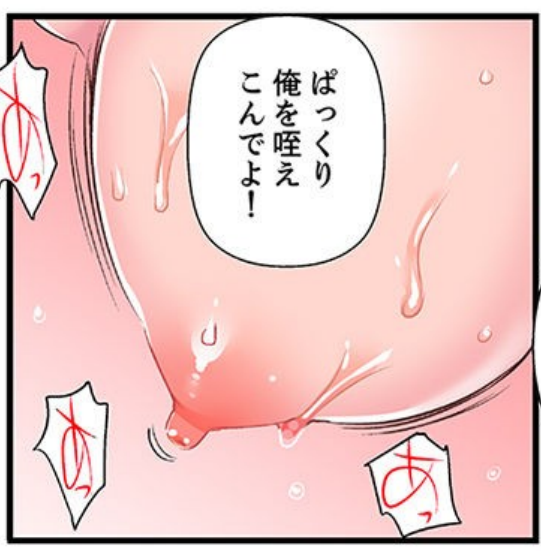
はあ

はあ



まさか  
そんな…

アニキに  
見つかりそうで  
興奮したんじゃ  
ねーのか?



ぱっくり  
俺を咥え  
こんでよ!



それにしちゃ  
えらく  
濡れてる  
じゃねえか

あ

あ

あ

あ

あ



くふう！



なんだよ  
また  
イッチまった  
のか？



だって…  
こんな…



まだまだ  
付き合っ  
貰うから  
な

ええっ!?



あああつ！

おら  
おらあ！

俺は  
まだ満足して  
ねえんだぜ



そ…  
そんな…



俺が満足  
するまでだ



もつと  
もつと  
蕩けさせて  
やるぜ!

だめえ!  
そんなに  
激しく!!



熱いっ!  
身体が  
熱いよお!

おかしく  
なっちゃう!

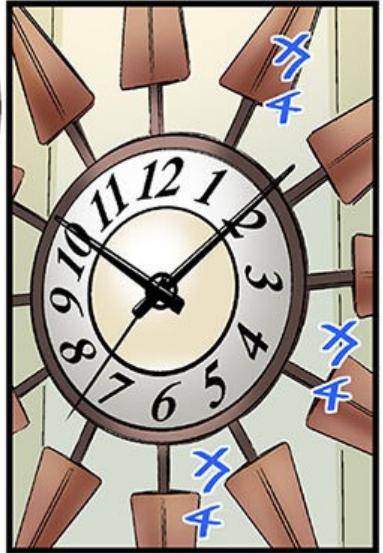
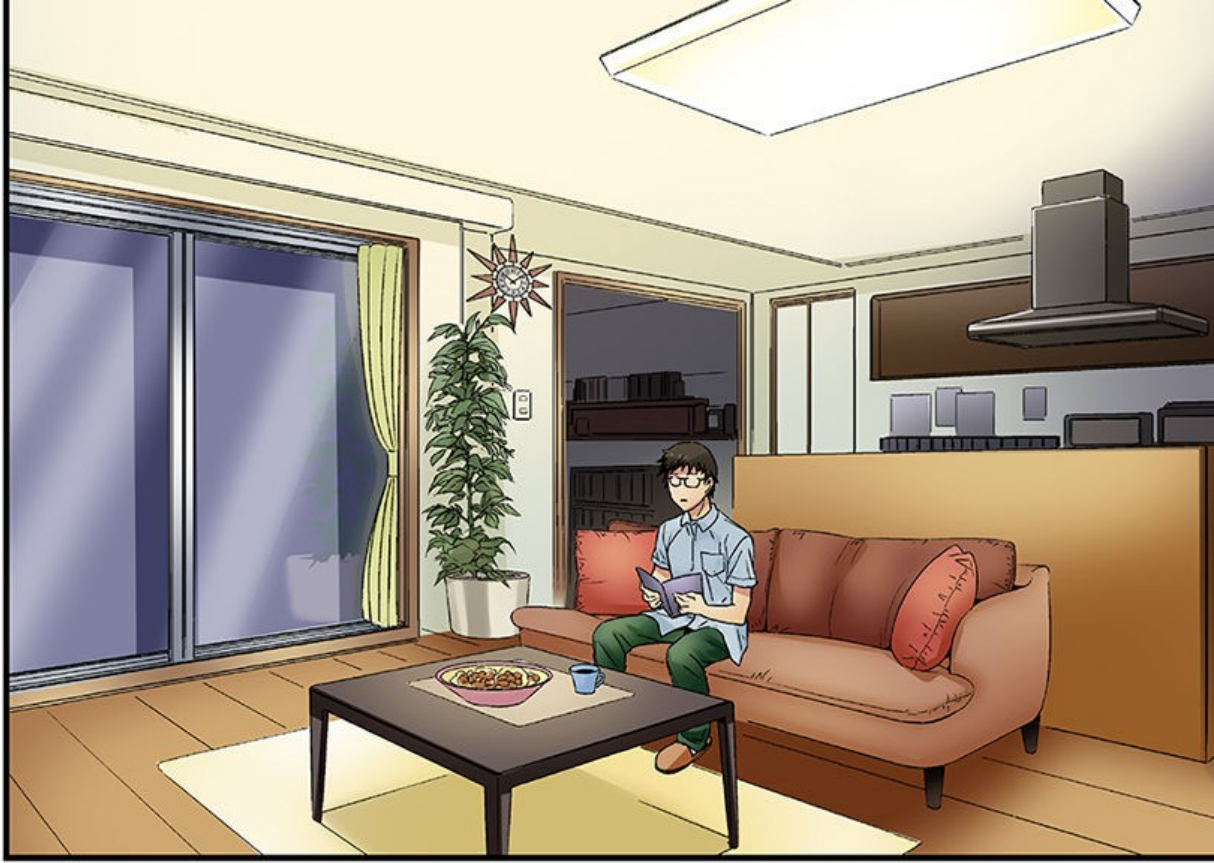


あつ!  
あつ!

たまんねえな  
このエロい  
尻はよ!



いいぜ  
義姉さん!  
いい  
締めりだ!





あつ  
あつ  
あつ!!



そら  
そらあ!



思いつきり  
ぶちかまして  
やるからな!

思い切り  
イけよ!



イクっ!  
また  
イツちやうとう!!



もう  
許してえ!!



ひびひび!!  
ずいずい!!





わたし  
拳二さんと  
また関係を…

なんて  
ことだろう



頭の中が  
グチャグチャで  
どうしたら  
いいのか…



唯一  
安らげる  
時間になった

家から出て  
忙しく  
している  
今だけが



わたし  
おかしく  
されてしまう…



だって  
この  
ままじゃ…



英樹さんが  
普通だと  
思ってた…

優しく  
穏やかな  
エッチ

だけど  
拳二さんは  
全然違う

奔放で  
荒々しくて…



ちょっと  
堀口さん！  
手が  
止まってるわよ



いけない  
ことなのに…

わたし  
あんなに  
何度も  
何度も…



ああ…  
わたしは  
どうしたら  
いいの…？

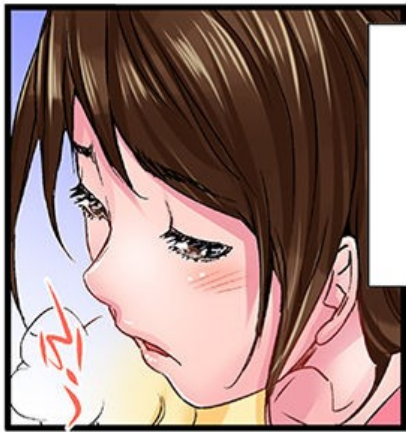


は  
よ

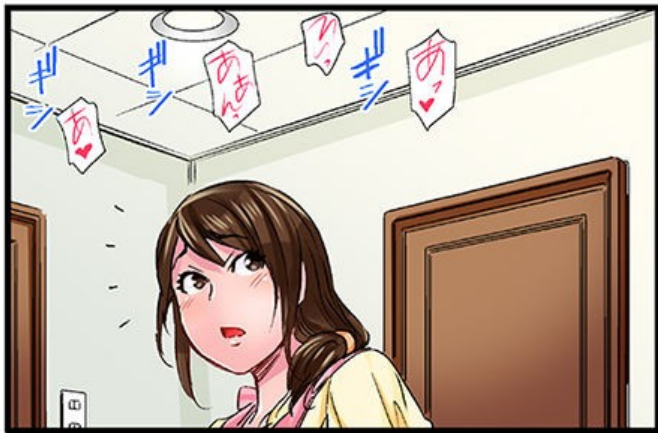


やだ！  
わたししたら  
何を  
考えて…

すっ  
すみません！



2週間が  
過ぎた

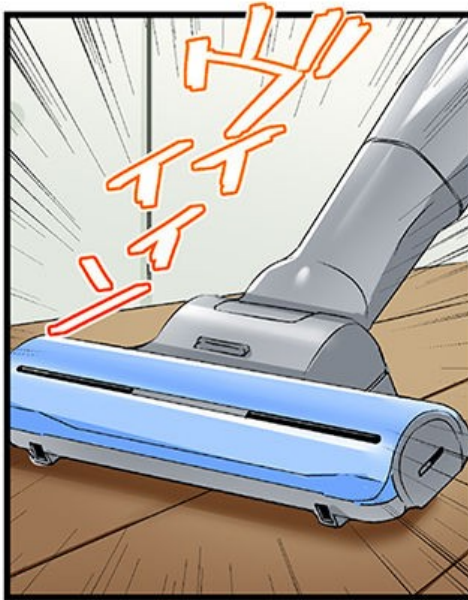
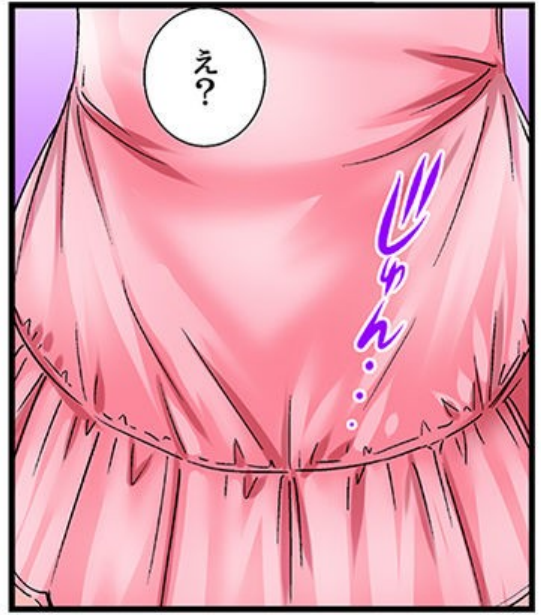
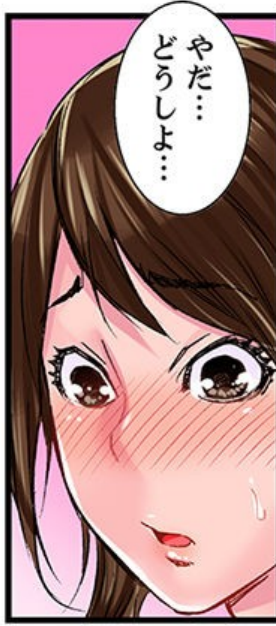


拳二さん  
夫妻との  
同居が  
始まってから



あの二人  
こんな  
昼間から…







お酒…  
職探しも  
行かないで？



もう  
お屋ですよ  
あ…  
あ…

そろそろ  
仕事を  
見つけて貰わないと  
困るんですけど…



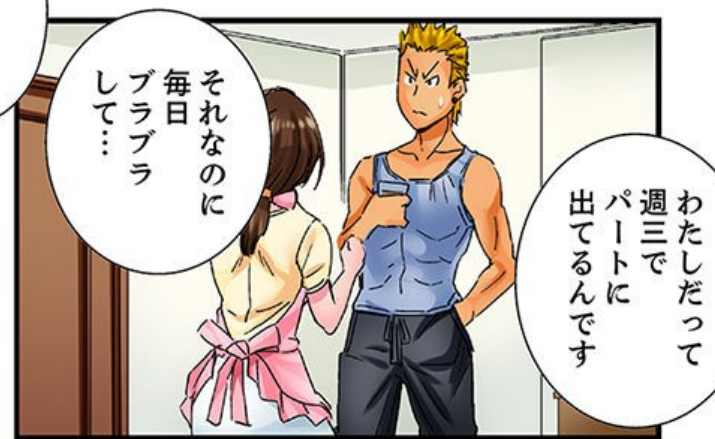
義姉さん  
おはよっス



ああ  
そのこと  
なんスけど…

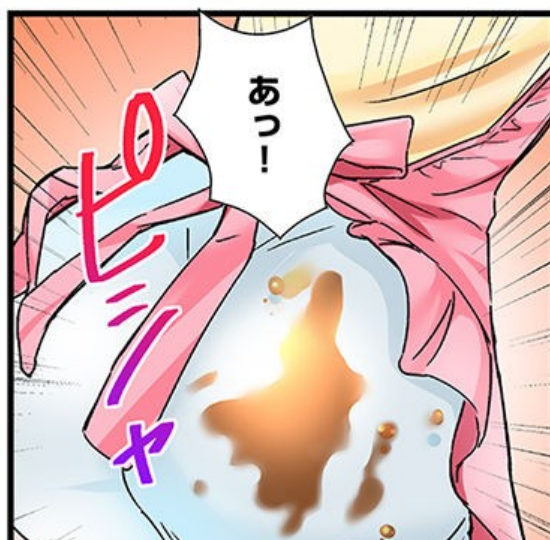
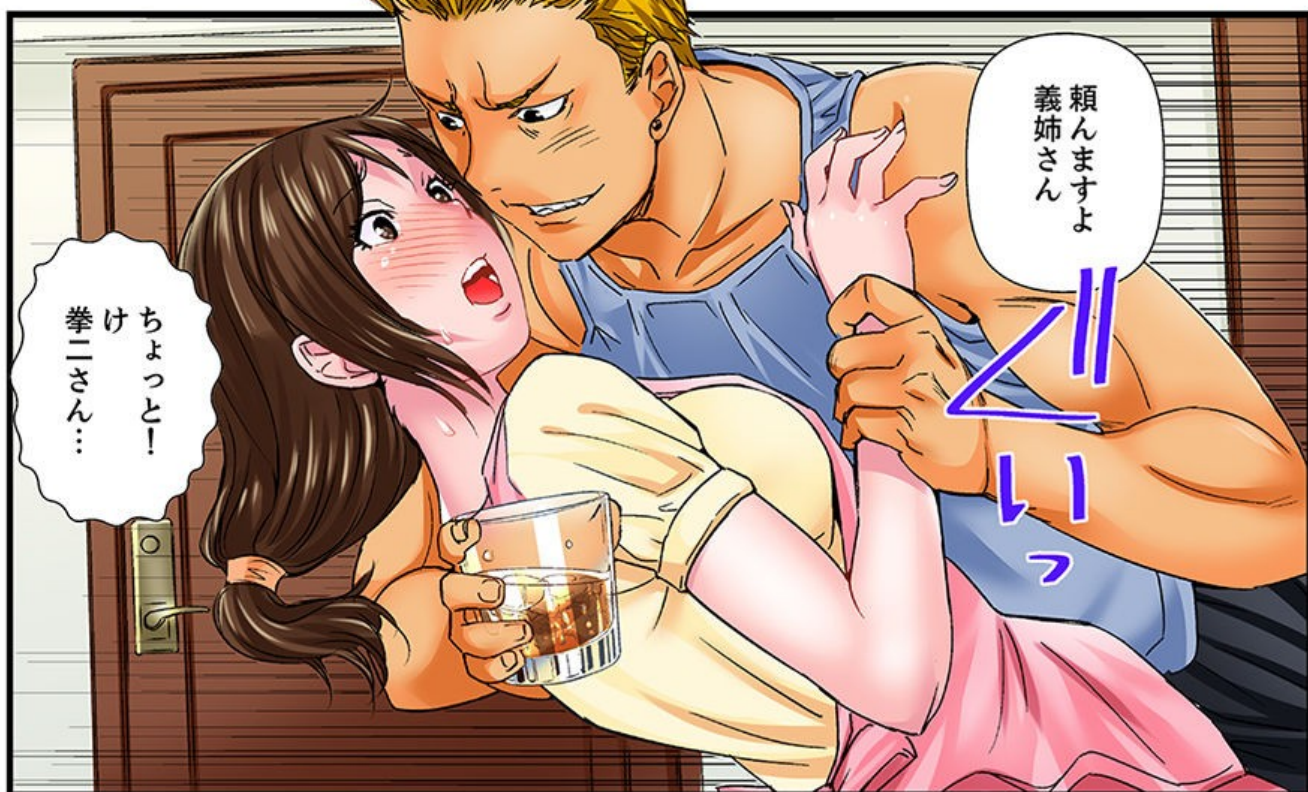
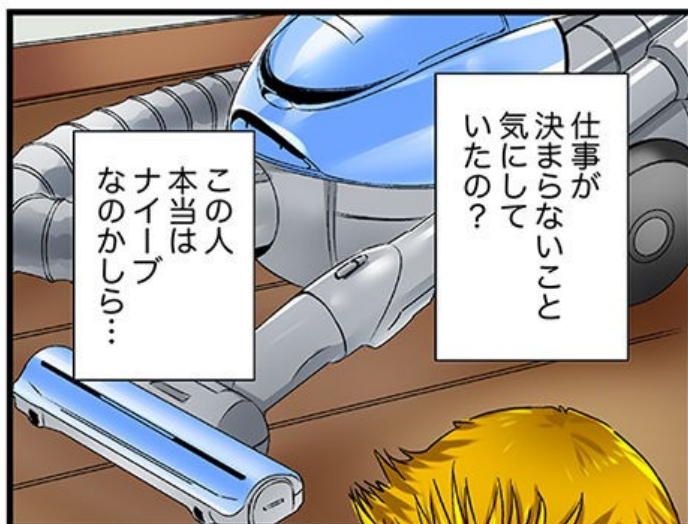
俺なりに  
悩んでるん  
デスよねえ

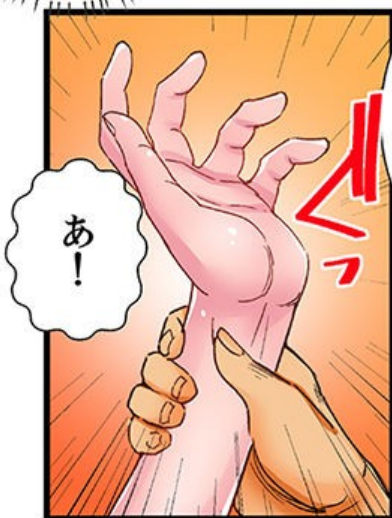
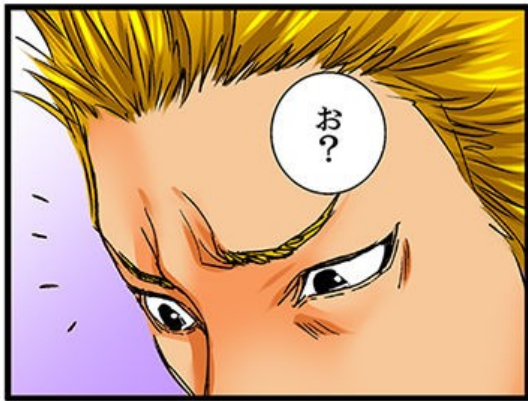
働きたいのに  
なかなか  
決まらないって  
言うか…

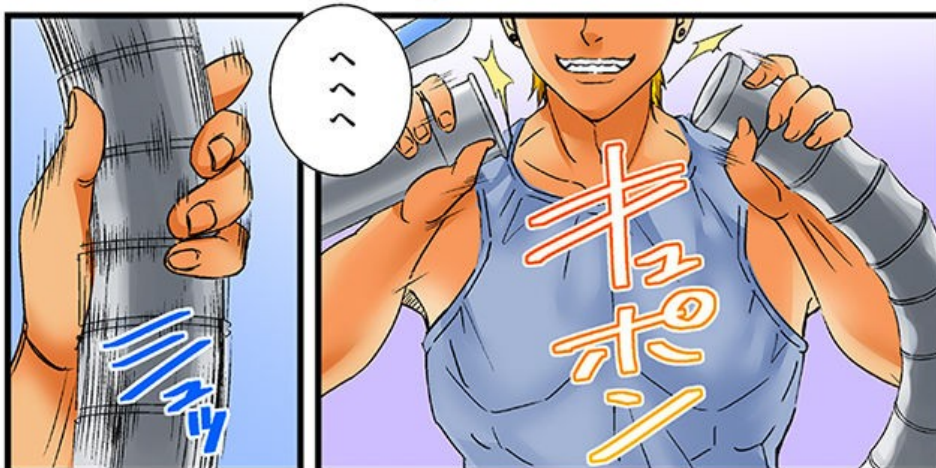
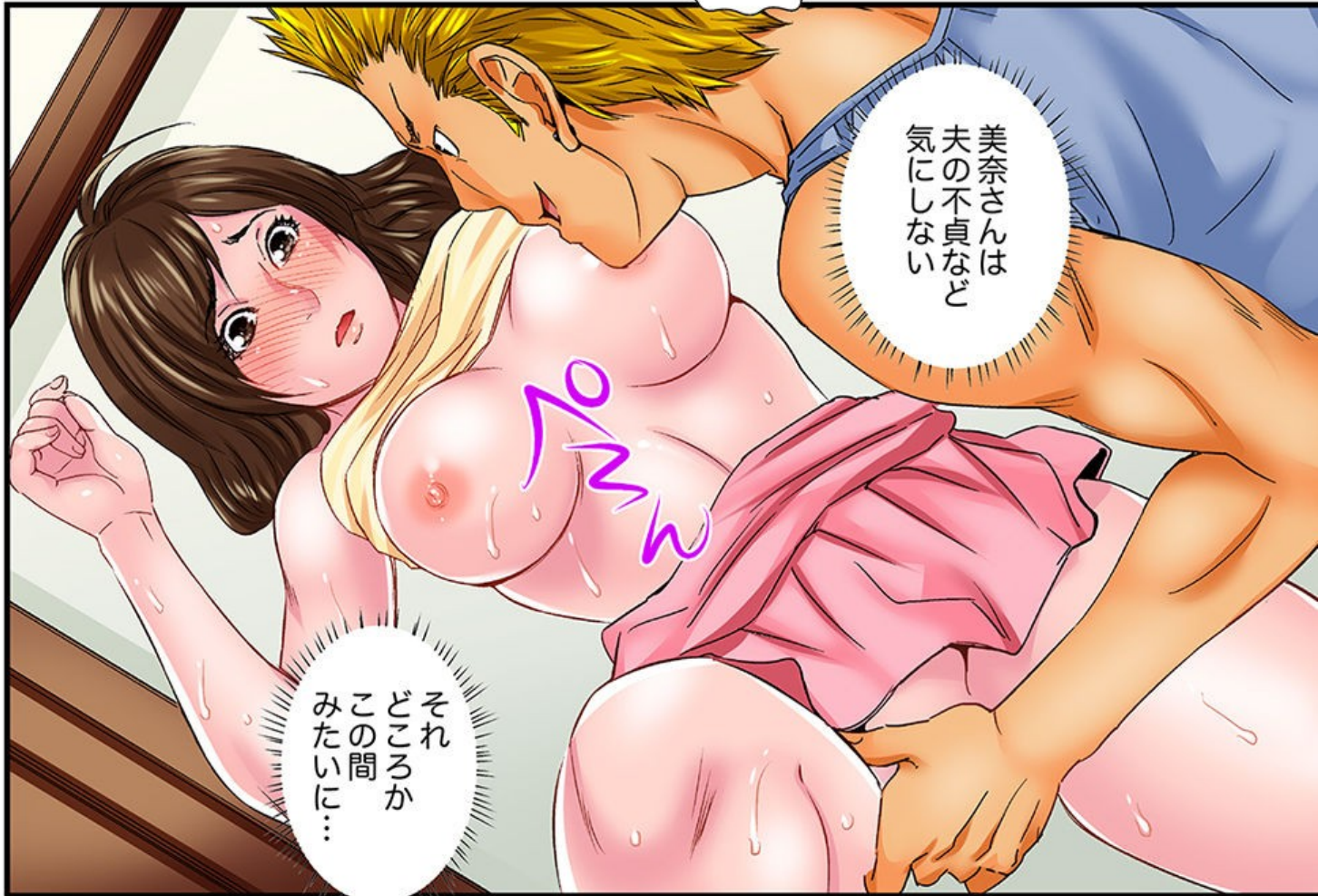


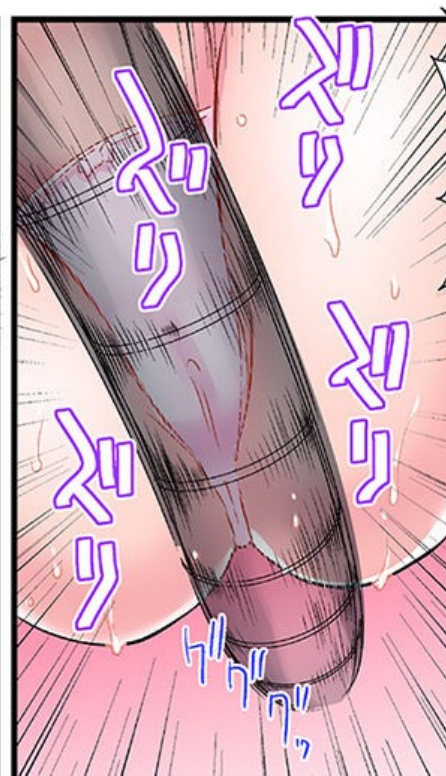
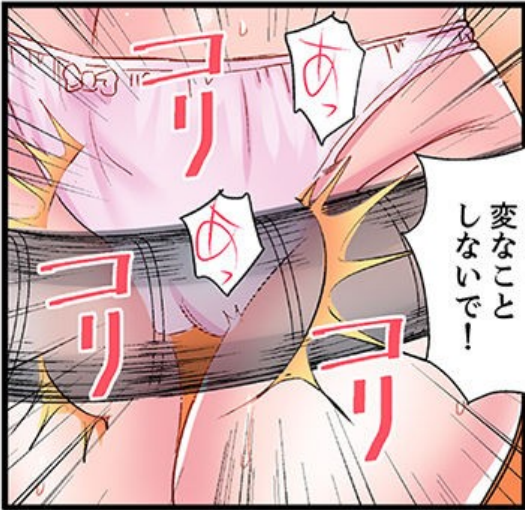
それなのに  
毎日  
ブラブラ  
して…

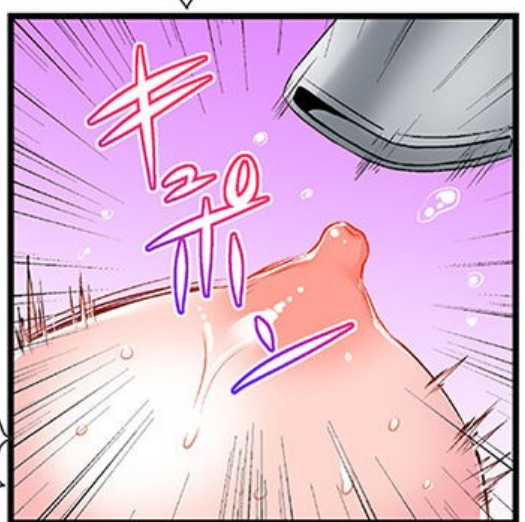
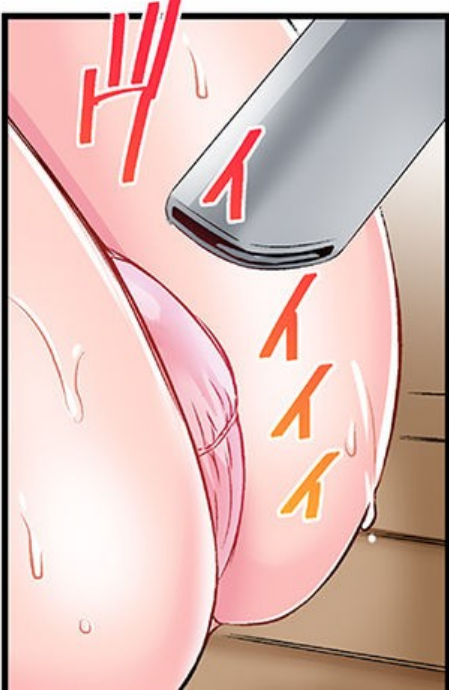
わたしたって  
週三で  
パートに  
出てるんです

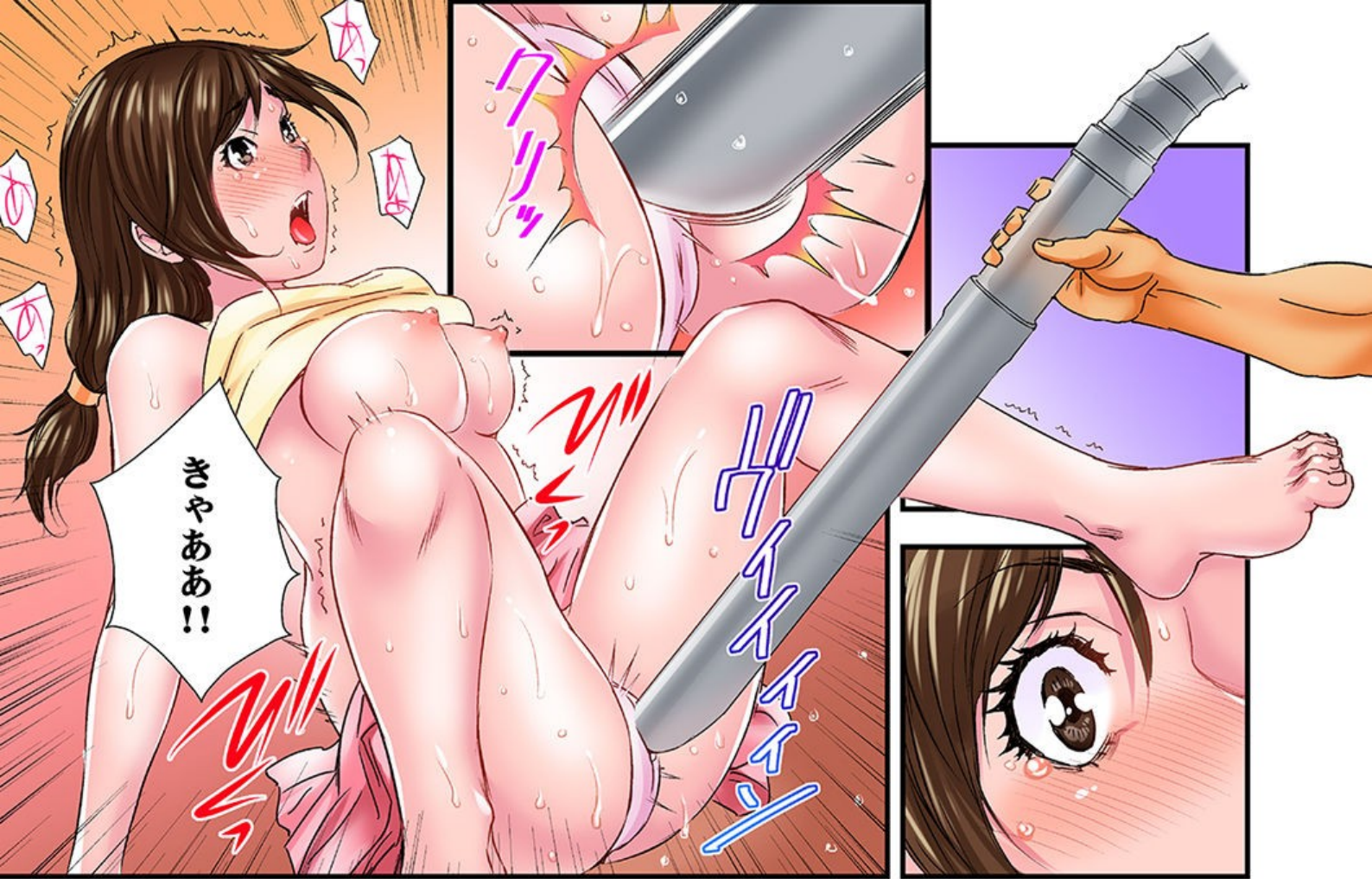












きゃああ!!

クリッ

ハイハイイン

俺  
なかなかの  
アイディアマン  
だろ?

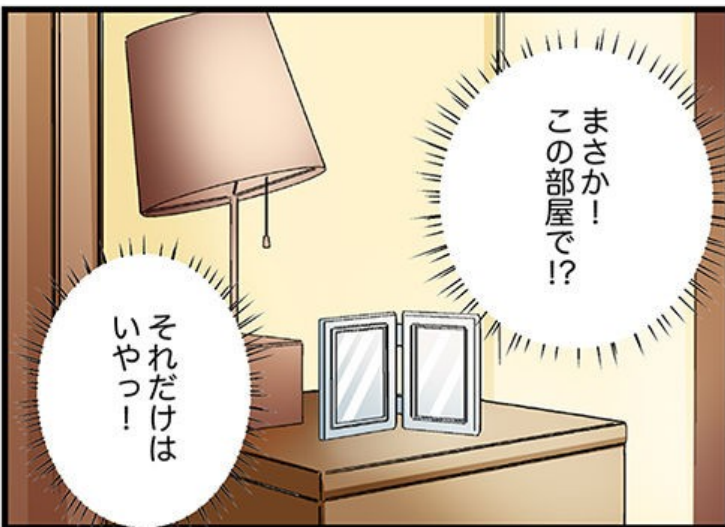
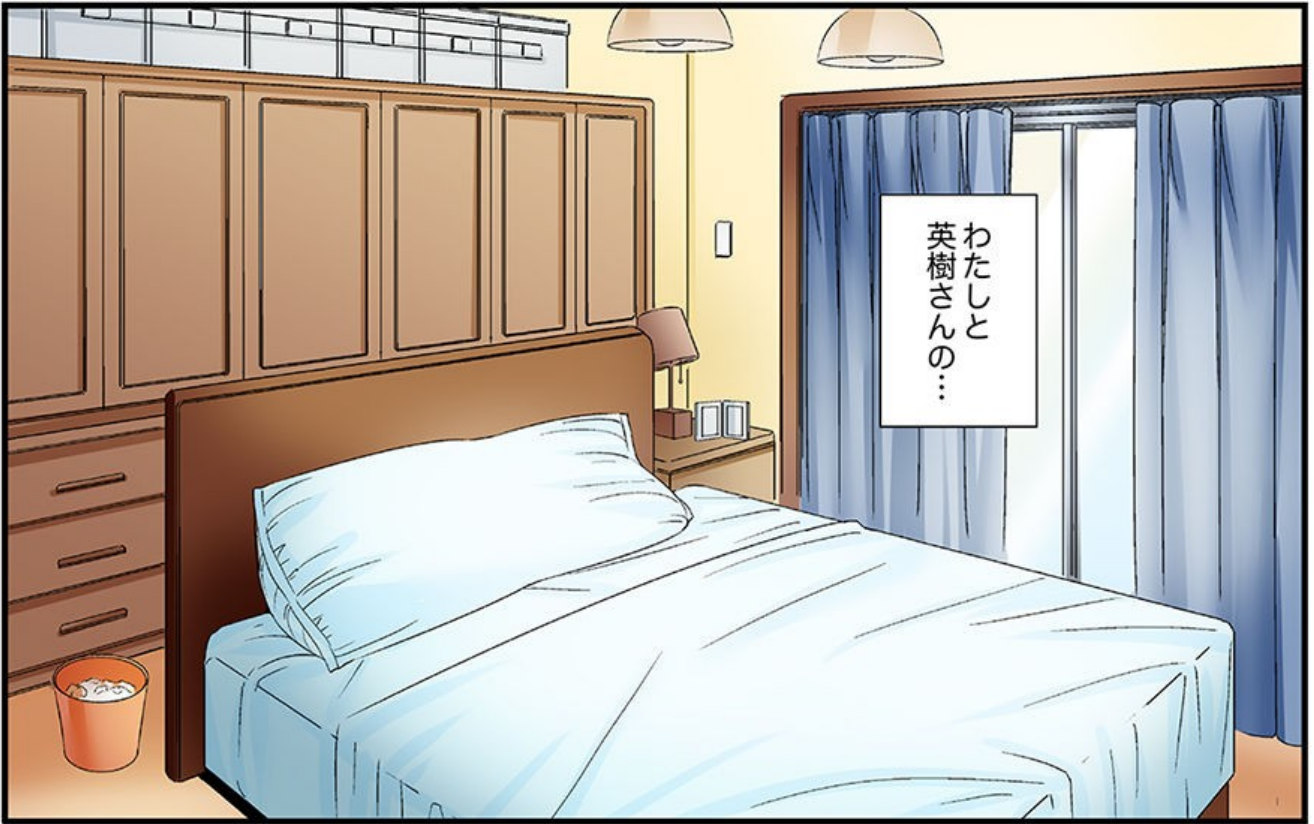
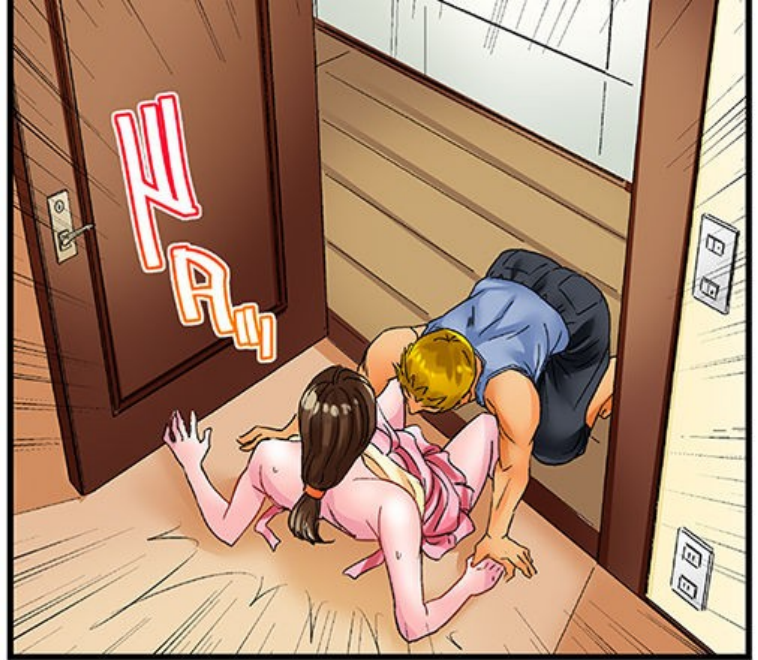
こうやって  
先方の  
喜ばせ方も  
知ってるしな

へ...  
ヘンタイッ!

仕事が  
決まらないのが  
不思議でしょ  
ねえ  
義姉さん

英樹さんに  
こんなこと  
されたこと  
ない!

カチヤ



さあて  
相談の  
続きしようか  
義姉さん！

いやっ！  
いやあああ！

おねがい！  
やめてえ！

なんだ？  
今日はやけに  
抵抗する  
じゃねーか

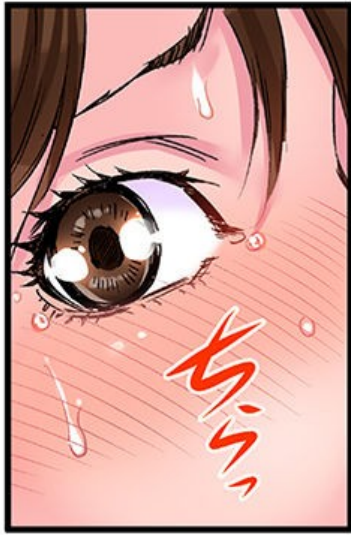
この部屋  
だけは  
イヤなの！

なんだよ  
アニキと  
いつもここで  
ヤッてんだろ？

いいじゃ  
ねーか

そうじゃ  
ないの！

ここは  
わたしと  
英樹さんだけの  
聖域なの！



とか言って  
こんな  
ぐしょぐしょ  
じゃねえか

こ：  
これは  
あんなこと  
するから：



英樹さんが  
見てる!!



お願い  
拳二さん!

ここでは  
やめてえ!

ダメなのに…  
ダメなのに…!



英樹さんとの  
愛の巣で

わたしを  
犯さないで!!





わたしの  
懇願など  
聞こえぬ  
かのような

激しい  
陵辱



感傷に  
浸る暇も  
与えずと

激しい  
快感が  
押し寄せてくる



ごめんなさい  
英樹さん

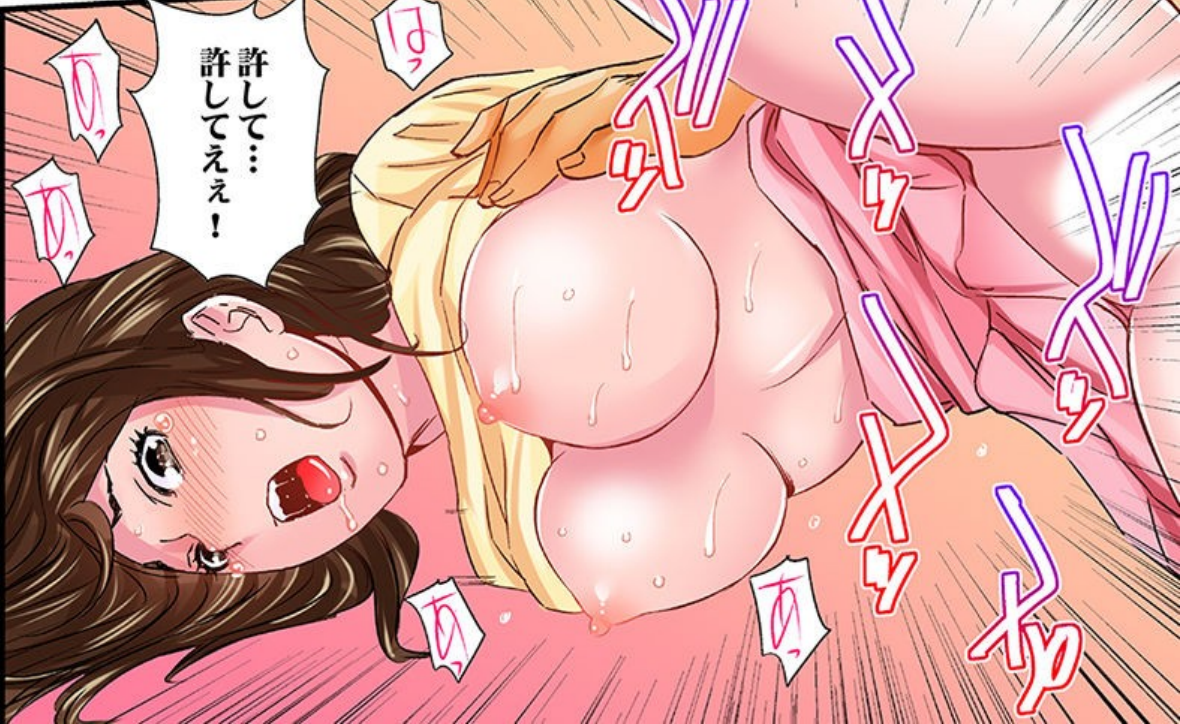
汗と涙で  
顔は  
ぐしゃぐしゃ



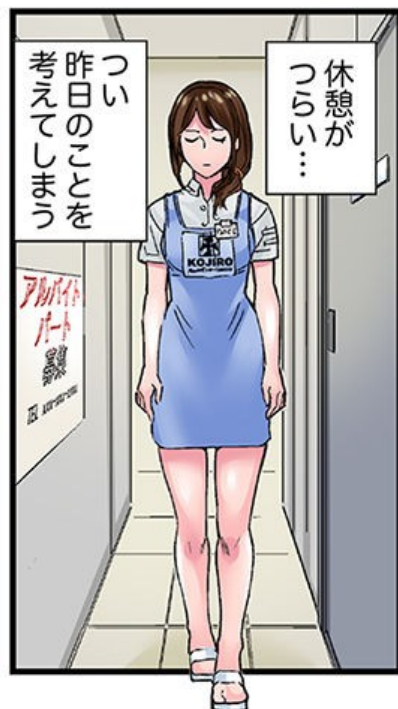
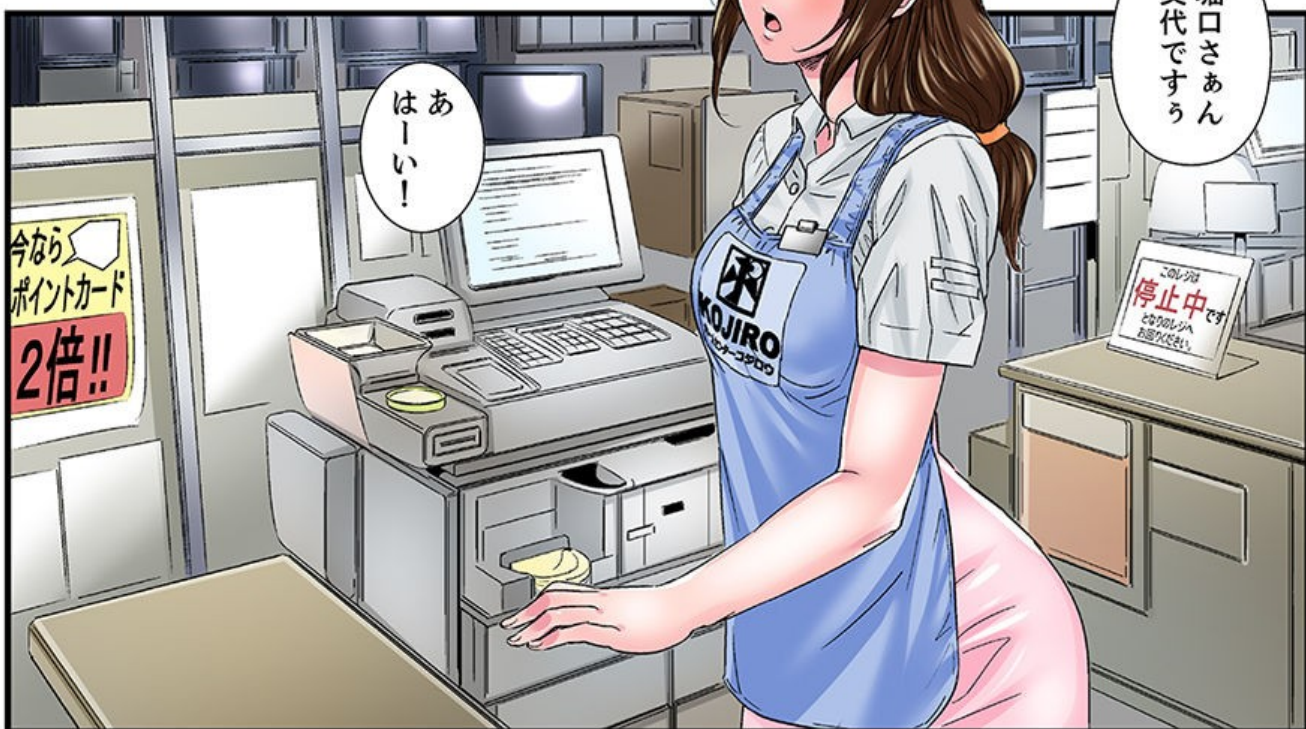
拳二さんの  
匂いと  
英樹さんの  
匂いが  
混じりあう

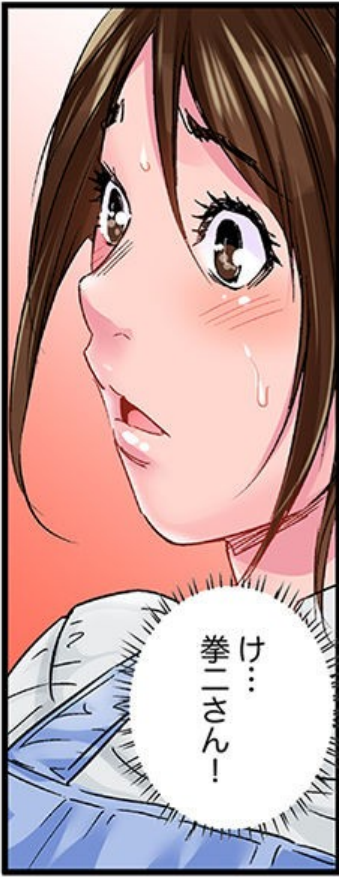


わたしは  
泣きながら  
何度も  
絶頂した



許して…  
許してええ！



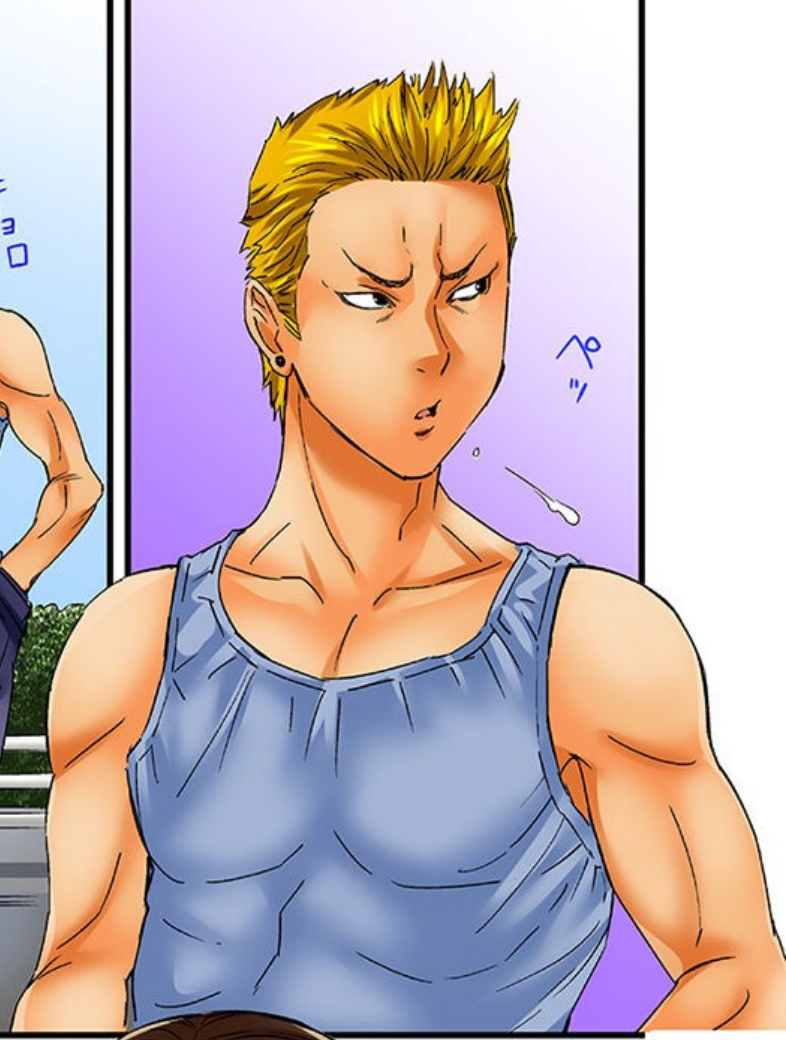


け…  
拳二さん!



キョロ

キョロ



キョロ



何をしに  
来たの?



どうして  
ここへ!?



まさか  
わたしがここで  
パートして  
いることを  
知って…?!



ほりぐち

**KOJIRO**  
ホームセンターコタロウ



あとこれ！効いてんのかどうかわかんねーんだよ

男のオタク用品  
ワンズマーク

お会計

3

それでしたら  
メーカーの  
保障が…

は…  
はい？



姉ちゃん  
相手して  
くれねーかな  
ククク

すみません  
こちらでは  
ちょっと…



ちょっと  
お姉ちゃん！

こないだ  
買ったイヤホン  
すぐ壊れたんだけど  
どうしてくれるの？



拳二さん  
何してるの！

偶然店に  
入っただけ？

それとも  
わたしを  
探してる？…

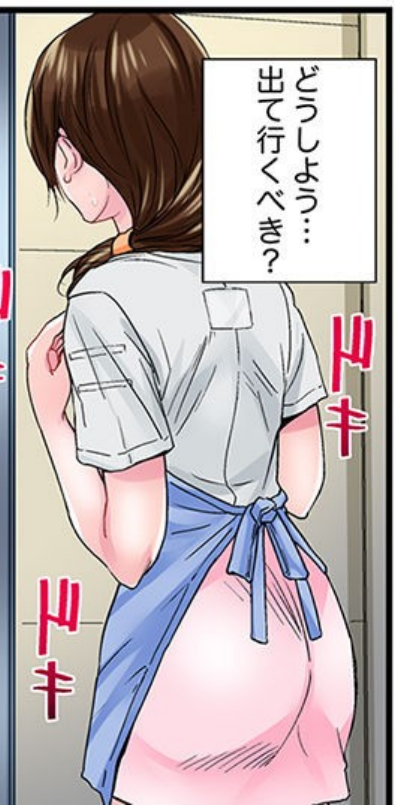


あの男が  
今までわたしに  
何をしてきたか  
忘れたの！？

だけど…  
ああ  
もう！



だめ！  
きっと  
目茶苦茶に  
なっちゃう！



どうしよう…  
出て行くべき？

クキ

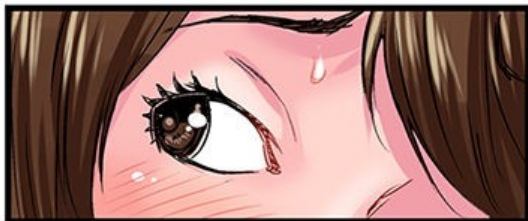
クキ

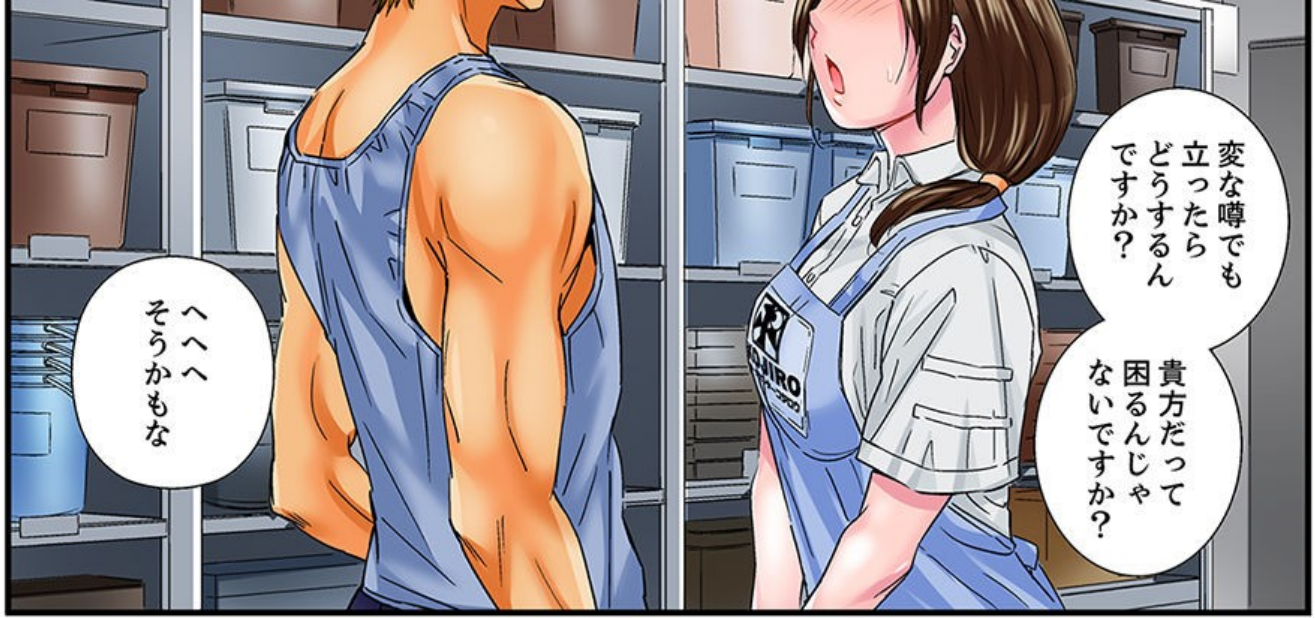
クキ



拳二さん！

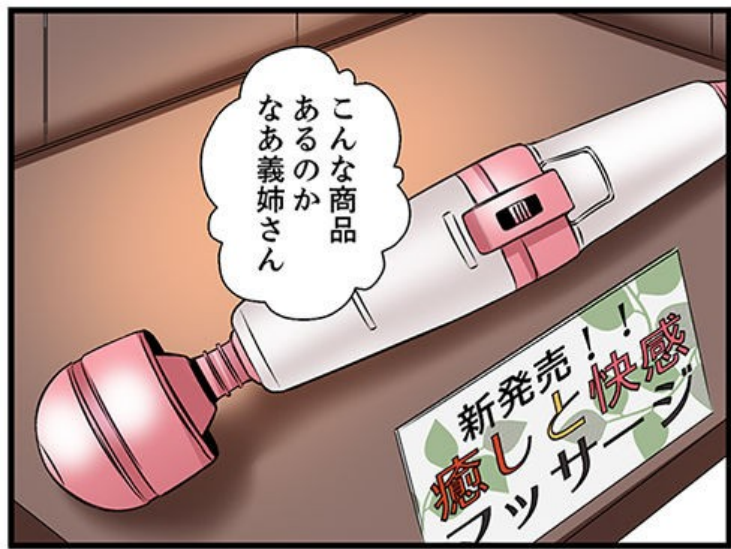
お！





へへへ  
そうかもな

変な噂でも  
立ったら  
どうするん  
ですか？  
貴方だって  
困るんじゃ  
ないですか？



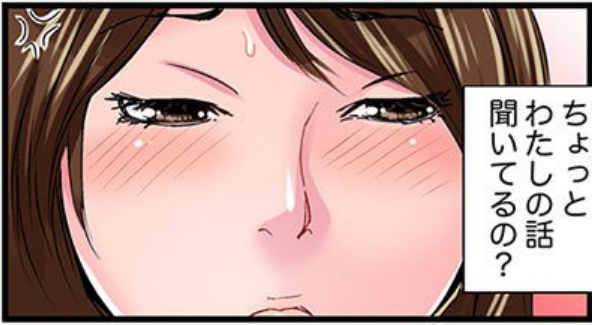
こんな商品  
あるのか  
なあ義姉さん

新発売!!  
快感  
癒し  
マッサージ  
フツ



お？  
なんだ  
これ!

お？



ちょっと  
わたしの話  
聞いているの？



だから  
マッサージ  
だよ



え？

な...  
何を...?

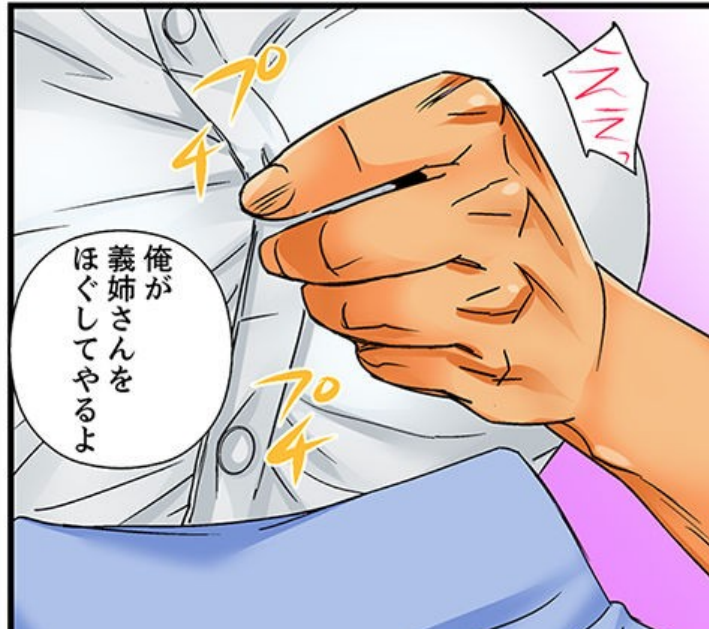
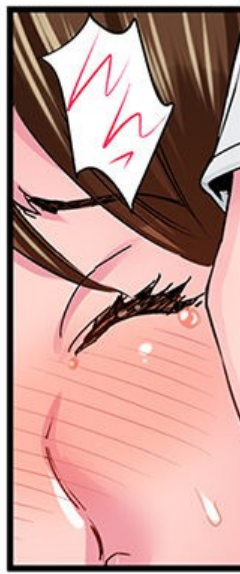
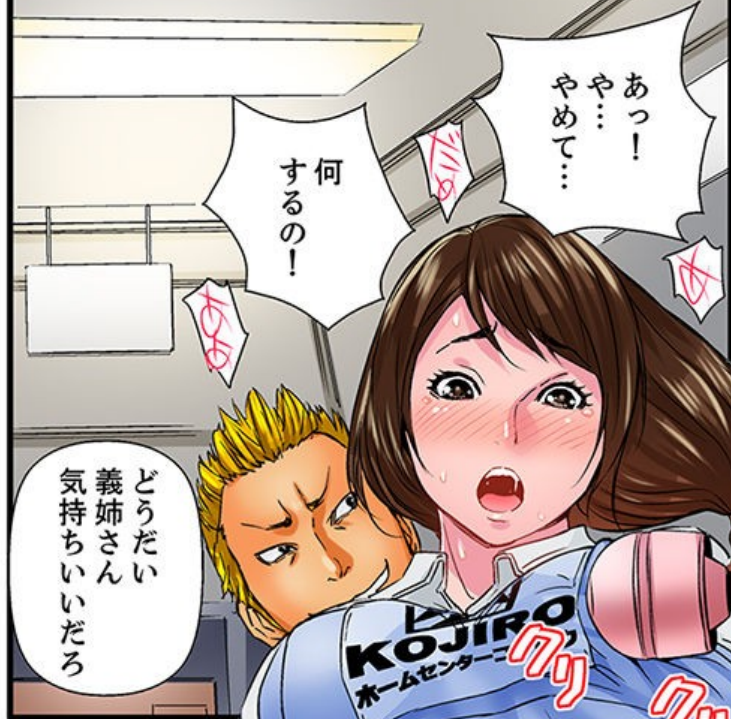


見本  
あるじゃん  
これ  
使えるん  
じゃね？

ほら  
ころ  
やっさ



ほら  
クイ



俺が  
義姉さんを  
ほぐしてやるよ

何  
するの!

あつ!  
や..  
やめて..

どうだい  
義姉さん  
気持ちいいだろ

ああつ!

ほら

ほーら  
気持ちいい  
だろ

ああっ！

お店の  
商品で  
こんな…

だめ…  
感じちゃ  
だめ！

ON

触れるか  
触れないかの  
微妙なタッチ

こんなの  
焦れちゃう！

わ…わたし  
仕事中  
なんですよ

拳二さんの  
相手をして  
られないんです

今は  
こうして  
義姉さんに  
構ってもらう  
くらいしか  
おめ  
はみ

きゃっ!  
そんなこと  
言っても俺  
金ないし  
パチンコ  
行きてーんだ  
けどさ  
か  
ろ  
ん  
ん

きゃっ!  
そい  
は!

そんな  
勝手な…

ああ…  
はあっ!

ニ  
イ  
イ  
イ  
ニ  
イ  
イ  
イ  
ニ  
イ  
イ  
イ  
ニ  
イ  
イ  
イ  
ニ  
イ  
イ  
イ

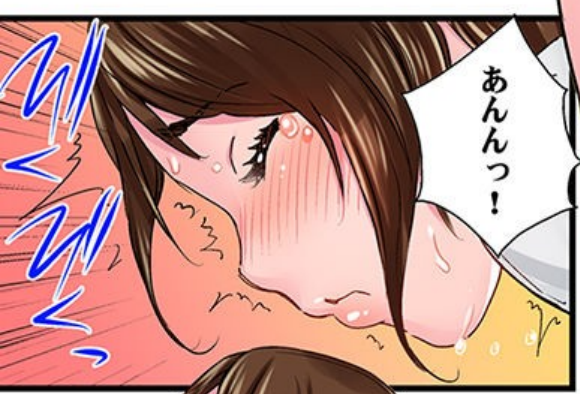
ト  
ト  
ツ  
ツ



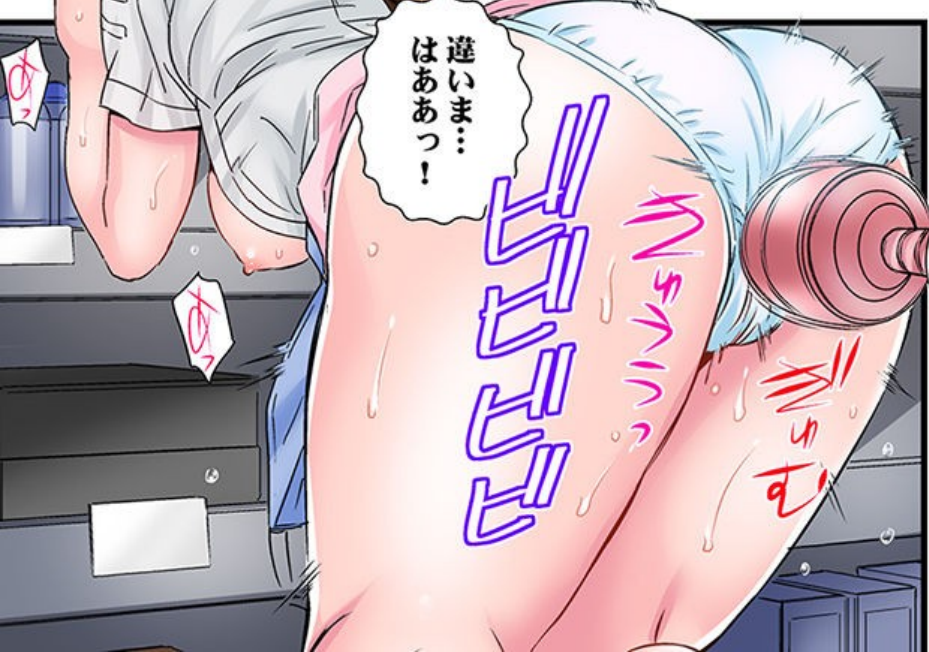
これが  
マッサージ器の  
正しい  
使い方だよ  
なあ義姉さん



ダメです  
そんなところに  
使うものじゃ



あんっ!



違いま...  
はあっ!



なんだよ  
メチャメチャ  
感じてる  
じゃねーか



全身くまなく愛撫されて

あああ...

頭がとろけそつになっちゃう



こんなことする人絶対おかしいわ!

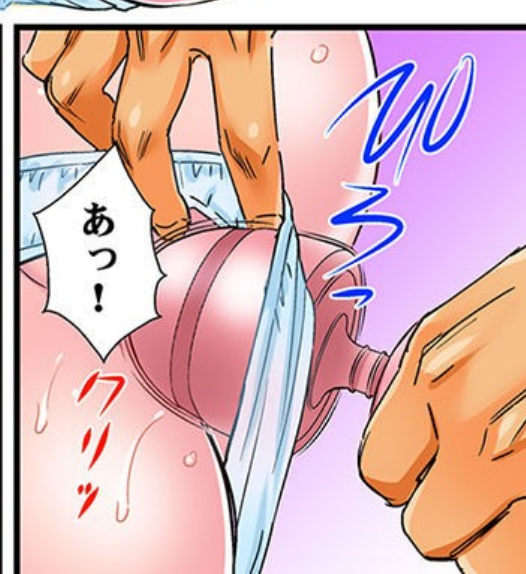
なのにどうしてわたしが拒めないの?



あああっ!



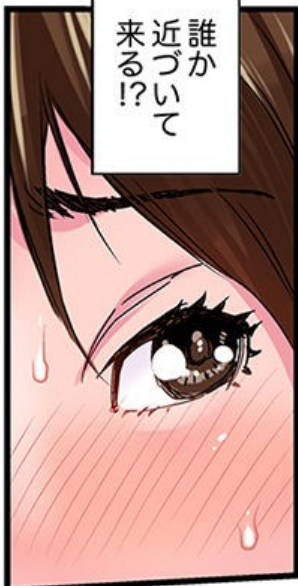
だめっ!そこをそんな直接!



あっ!



こんなところ  
見られたら…



誰か  
近づいて  
来る!?



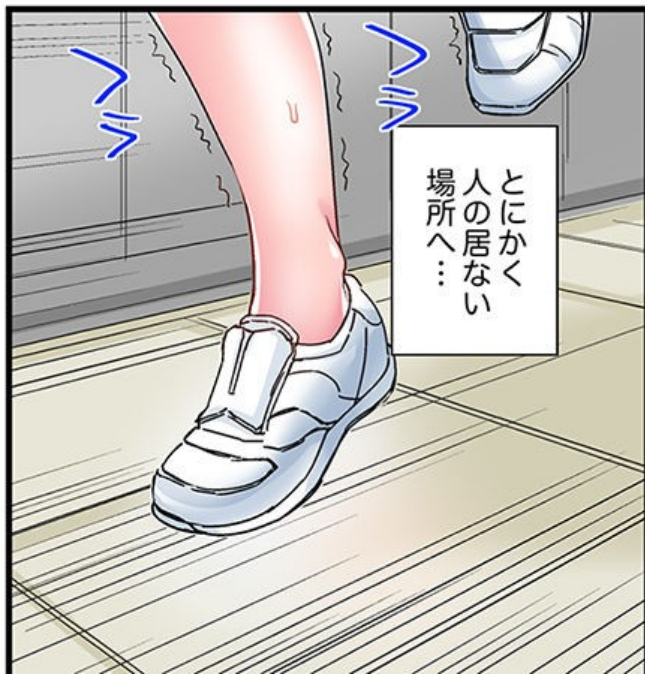
そうですね  
このタイプ  
ですと  
省エネで…



け…  
拳二さん!  
こっちへ…

お?

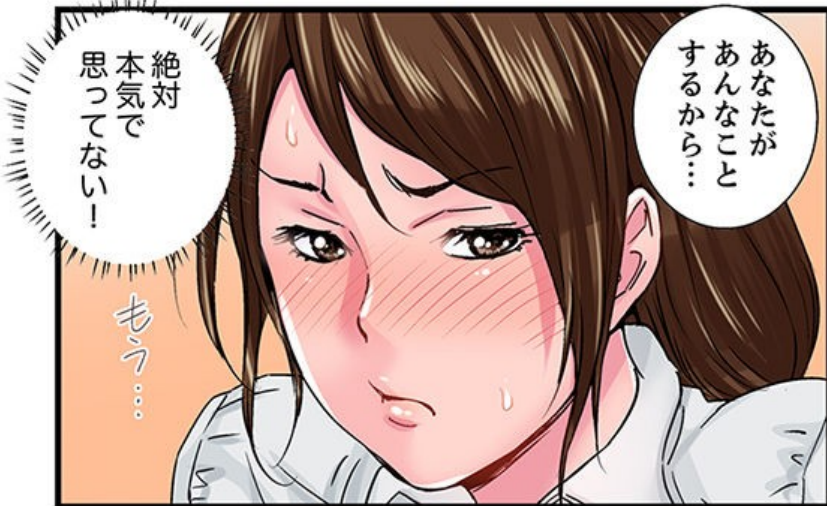
誰か  
来るから  
早く!



とにかく  
人の居ない  
場所へ…



はあ  
はあ  
はあ



絶対  
本気で  
思っ  
てない！

もう...

あなたが  
あんなこと  
するから...



危ねー危ねー  
見られたら  
ヤバかったな  
義姉さん

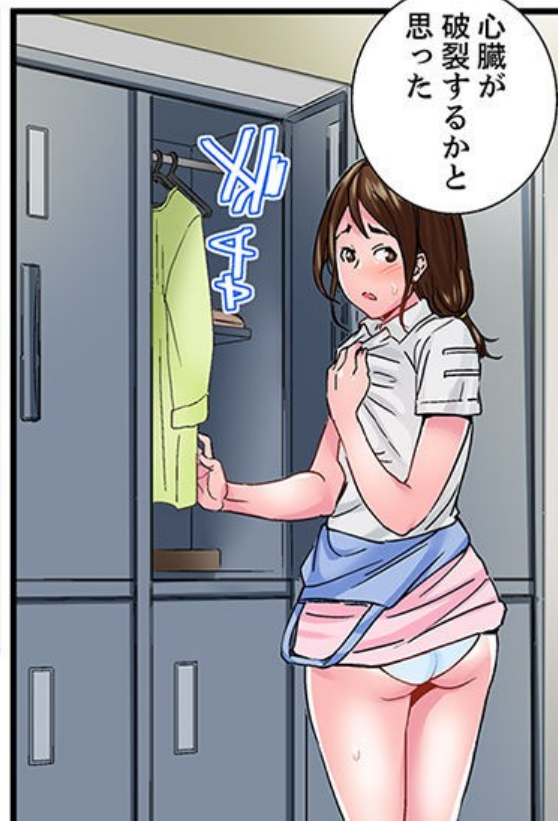
へへへ



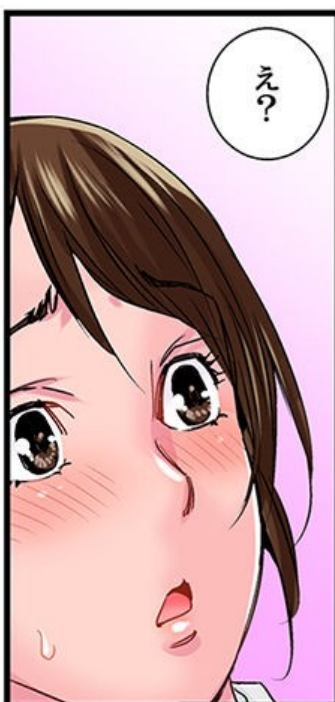
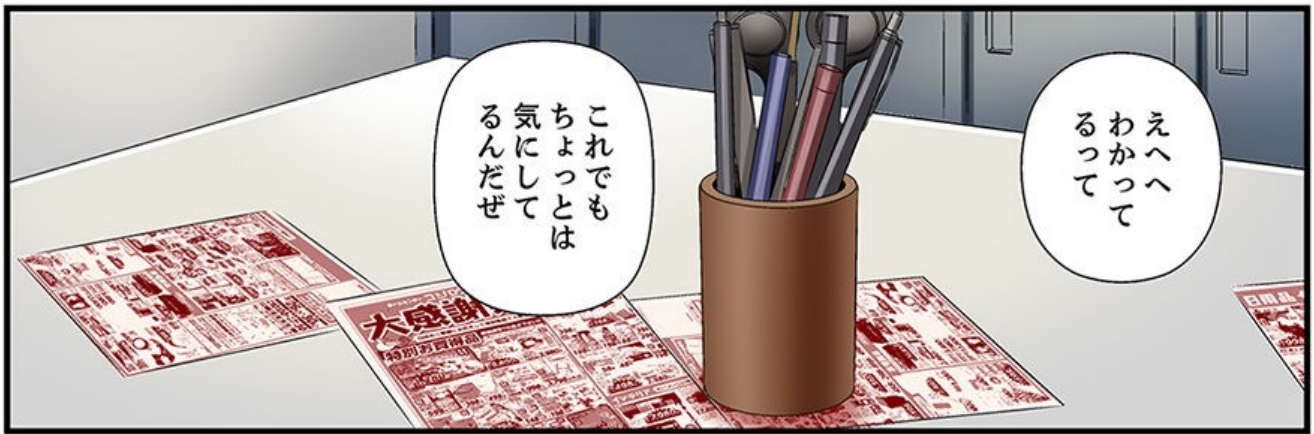
これで遊んで  
来てください  
わたしもう  
休憩時間  
終わっちゃう  
から



10,000

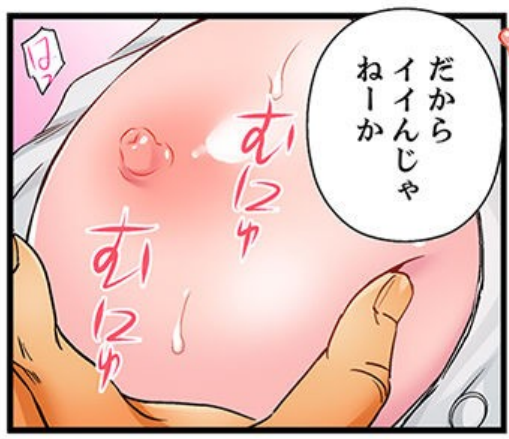


心臓が  
破裂するかと  
思った





ちよつと！  
ダメですっ！  
ここは  
仕事場  
なんですよ！



だから  
イインじゃ  
ねーか



拳二さんの  
ヘンタイっ！



俺はさ  
恩義には  
厚い男  
なんだよ  
小遣いの  
お札に  
義姉さん  
を  
気持ちよく  
してやるよ



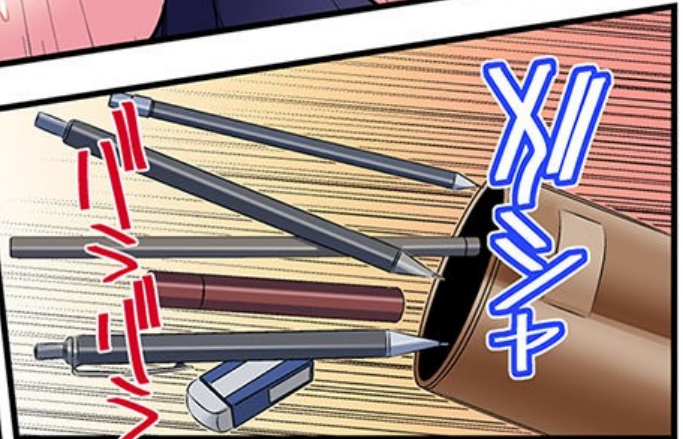
そんな…  
あつ！  
違いますっ！



義姉さんも  
結構  
ヘンタイじゃん



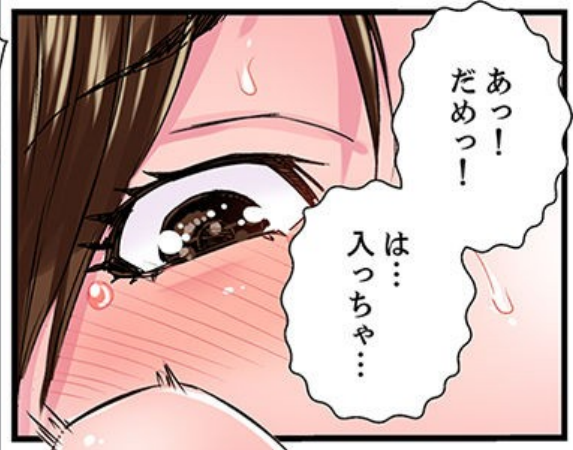
ほうら  
さつき  
弄られて  
びしょびしょ  
じゃねーか





おらあっ!

あああ—!!



あっ!  
だめっ!

は…  
入っちゃ…



あっ!  
イヤっ!



ひゃああー!!



だっ!  
ダメええ!



うはっ!  
気持ち  
いいぜ!



この人に  
犯されるのは  
もう  
何度目だろう

しかもまさか…  
パートの職場で  
犯されるなんて…

あ  
あ  
あ



もっともっと  
狂わせてやるぜ  
義姉さん



夫の  
弟さん…  
決して  
許され  
ない  
関係



ごめん  
なさい!!  
英樹さん!!  
ふしだらな  
わたしを  
許してえ!!

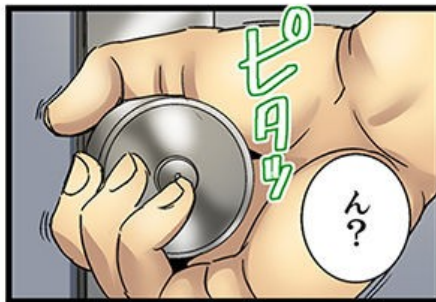
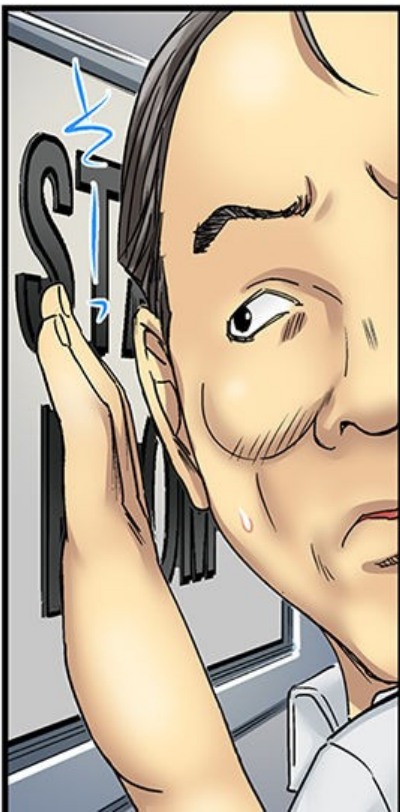
イッ  
セキ  
ア

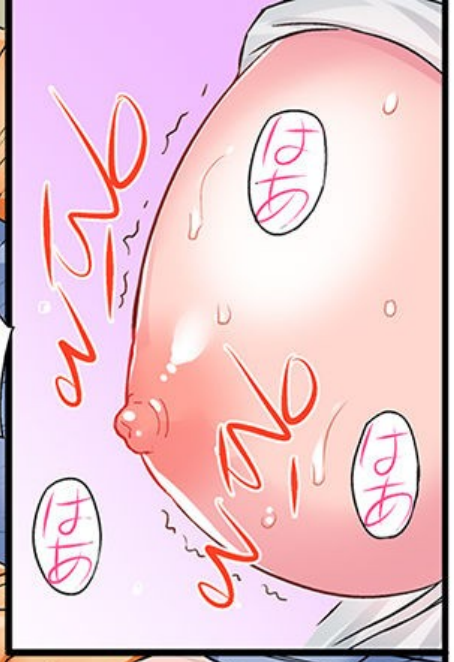


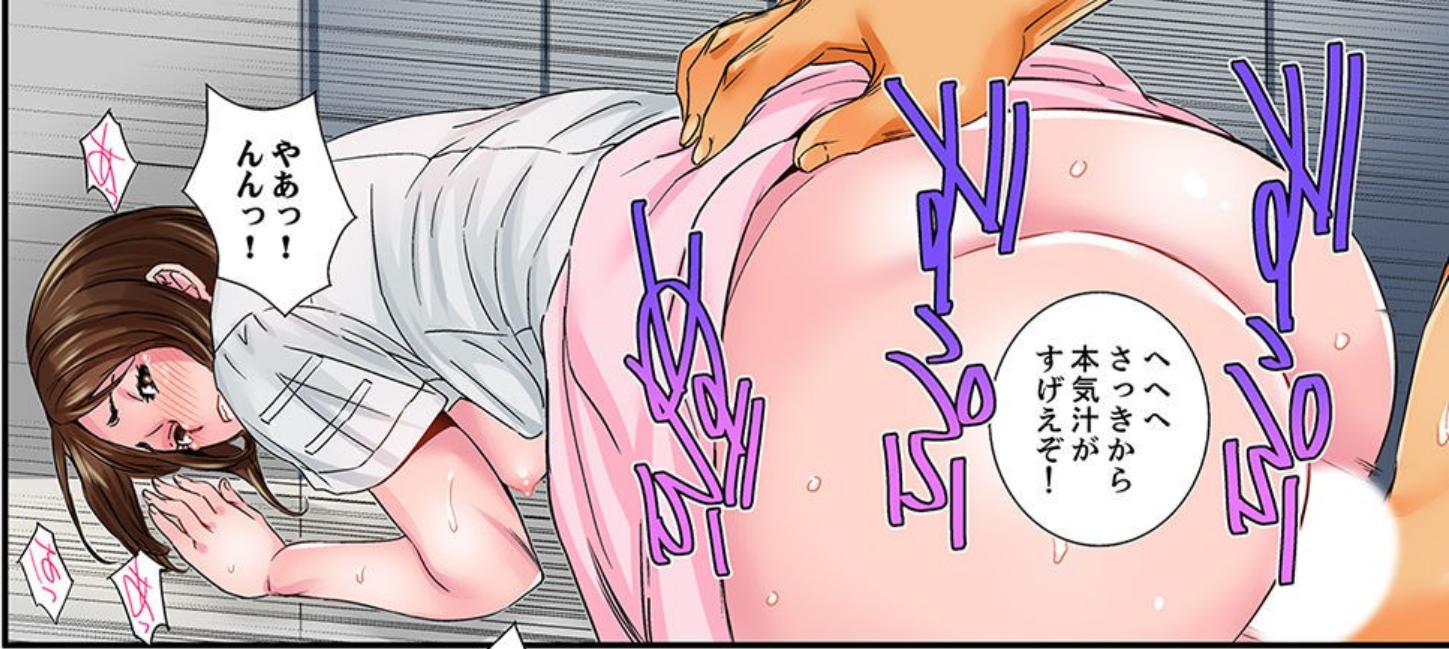
だけど  
おかしいの  
わたし…  
いけないのに…  
興奮して  
る  
感じて  
る!



こんなの  
だめ!  
誰か  
助けて!





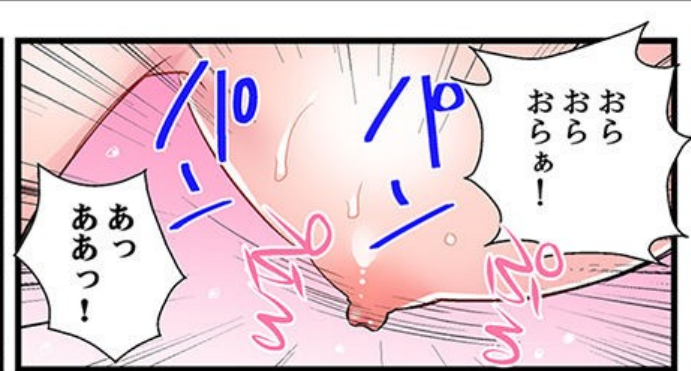


やあつ!  
んんっ!

へへへ  
さつきから  
本気汁が  
すげえぞ!

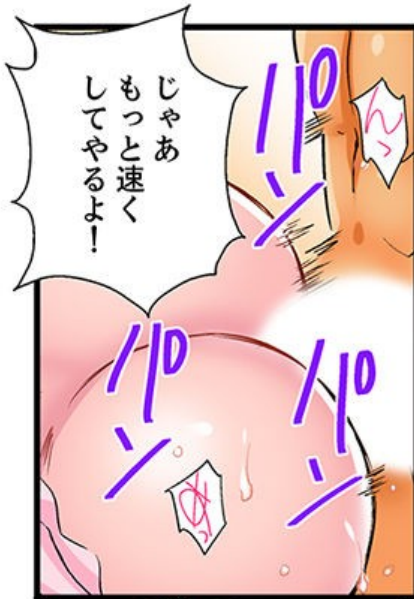


あつ!  
イっちゃう!

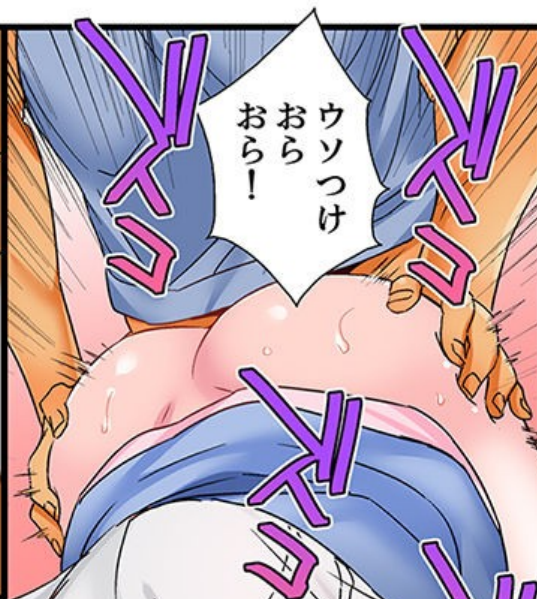


あつ  
ああつ!

おら  
おら  
おらあ!



じゃあ  
もつと速く  
してやるよ!



ウソつけ  
おら  
おら!



なんだか  
義姉さん  
すぐイクように  
なったな

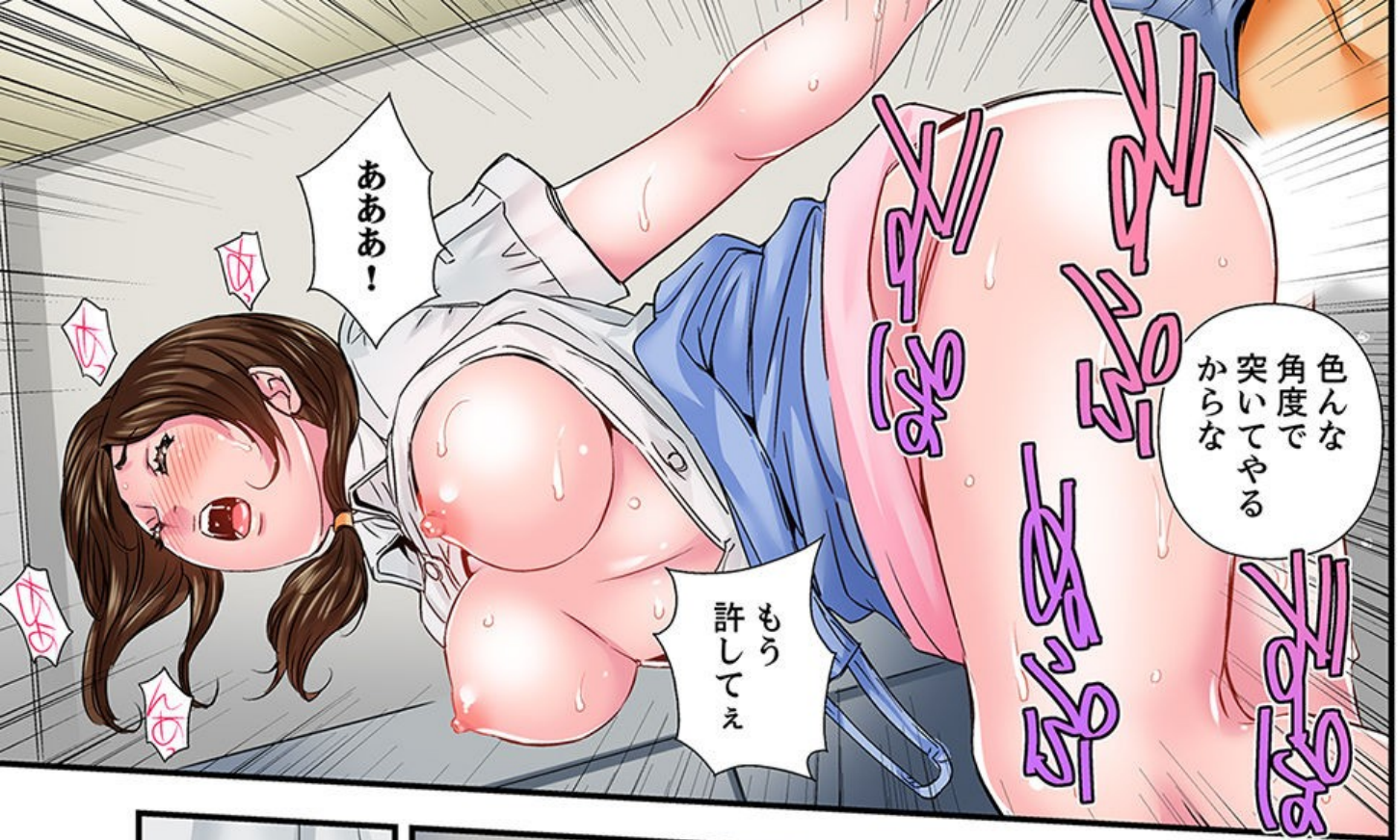
俺の  
肉棒に  
馴染んで  
きたか?  
ひやはは!



ひいっ!  
スゴイっ!



そ...  
そんなこと  
ありません!



色んな角度で突いてやるからな

もう許してえ

あああ!



聴いてるだけでムラムラしてくるわい

モロリ



STAIR ROOM

なんとまあ

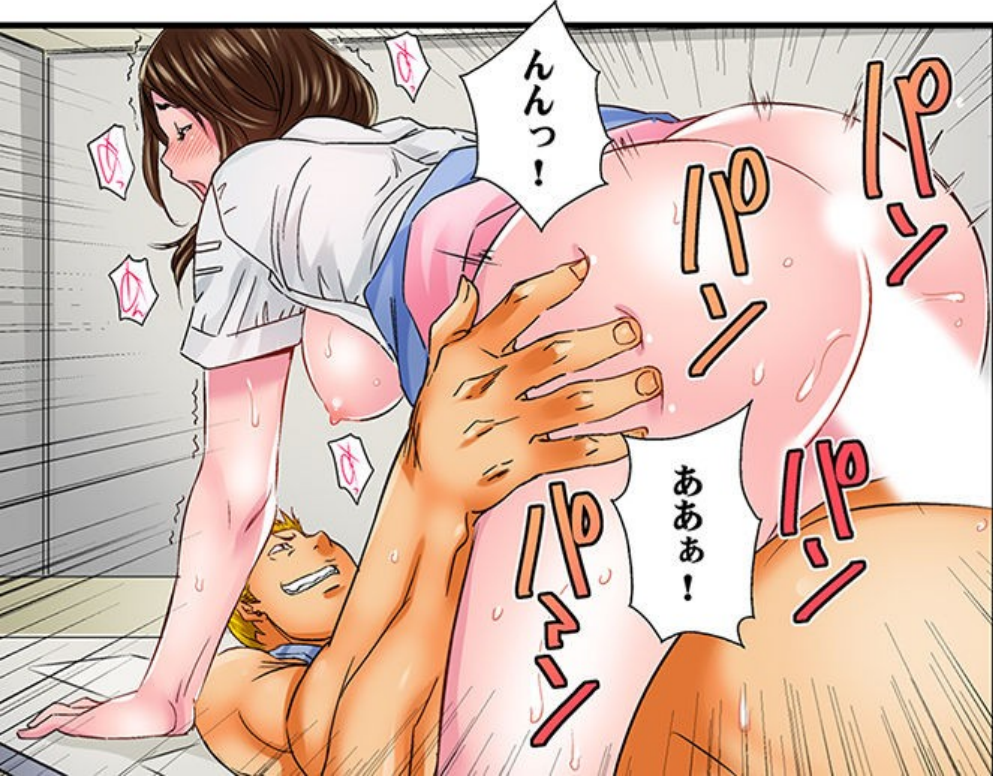
あられもない声出して



あのおとなしそうな美人の堀口さんが...



なんと! 控え室の中でアししとるのか!?



んっ!

あああ!



おらおらもっとケツ振れよ



ほら  
ちやんと  
イクときは  
イクって言えよ

はっ！  
あつ！  
あつ！



イキます  
ううう！



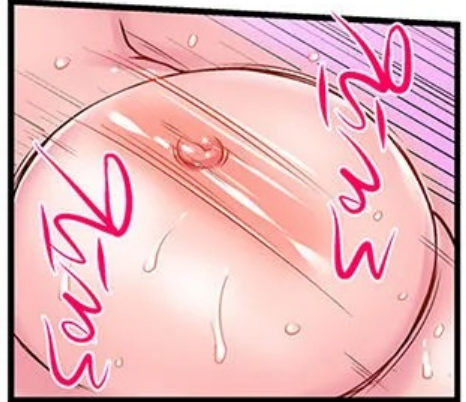
いっ  
イクっ！

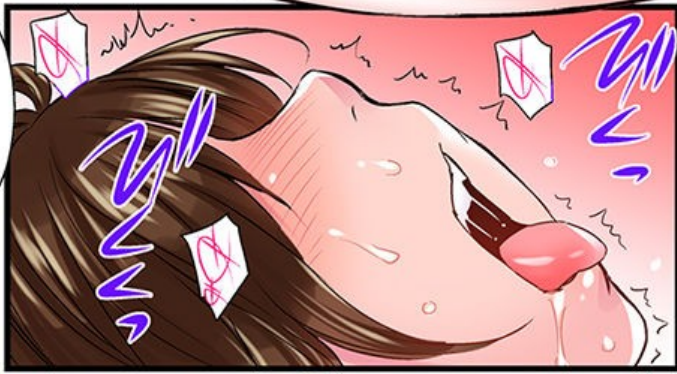
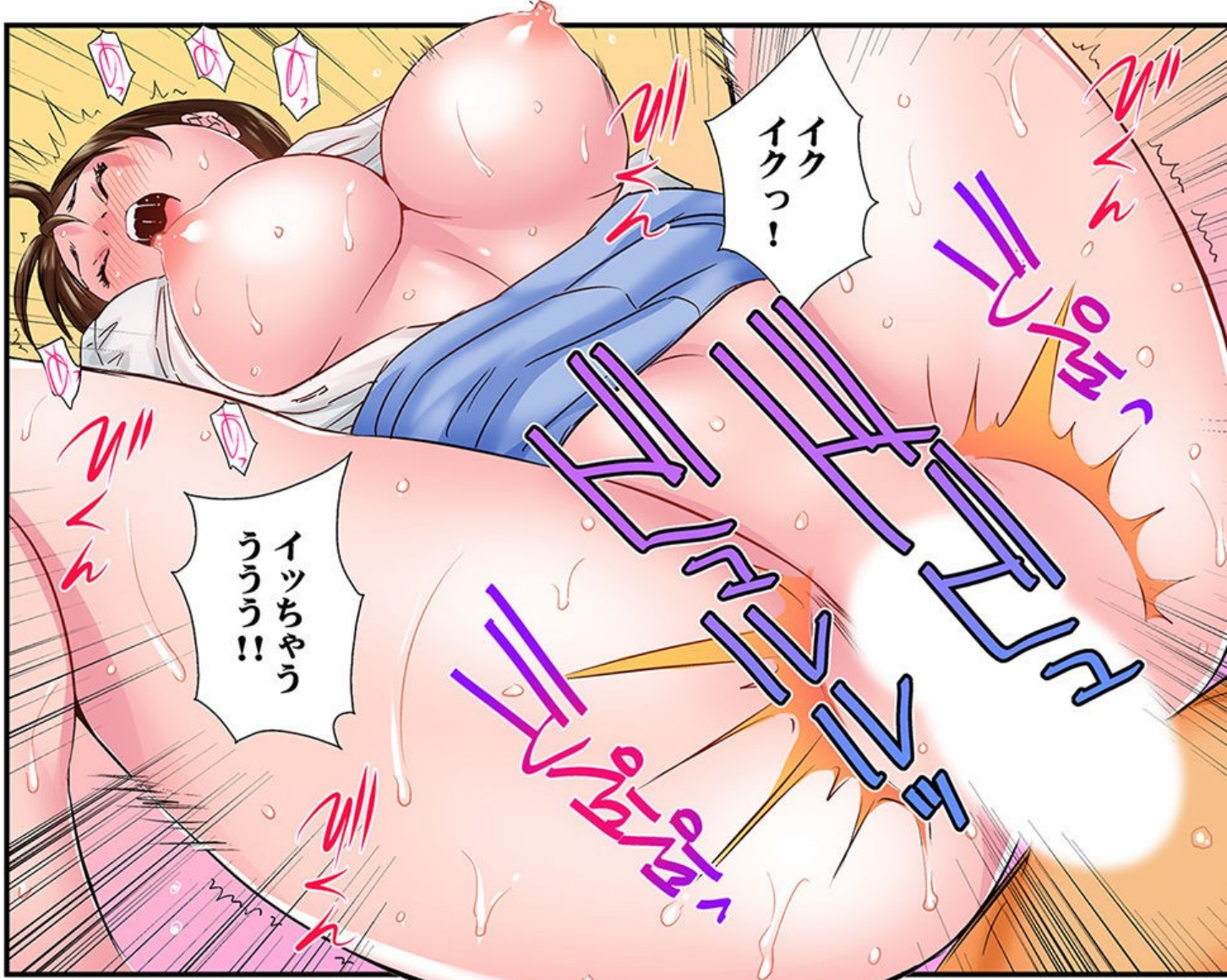
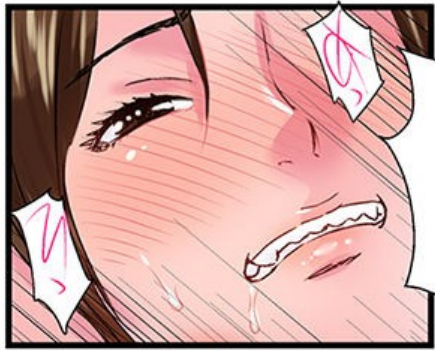


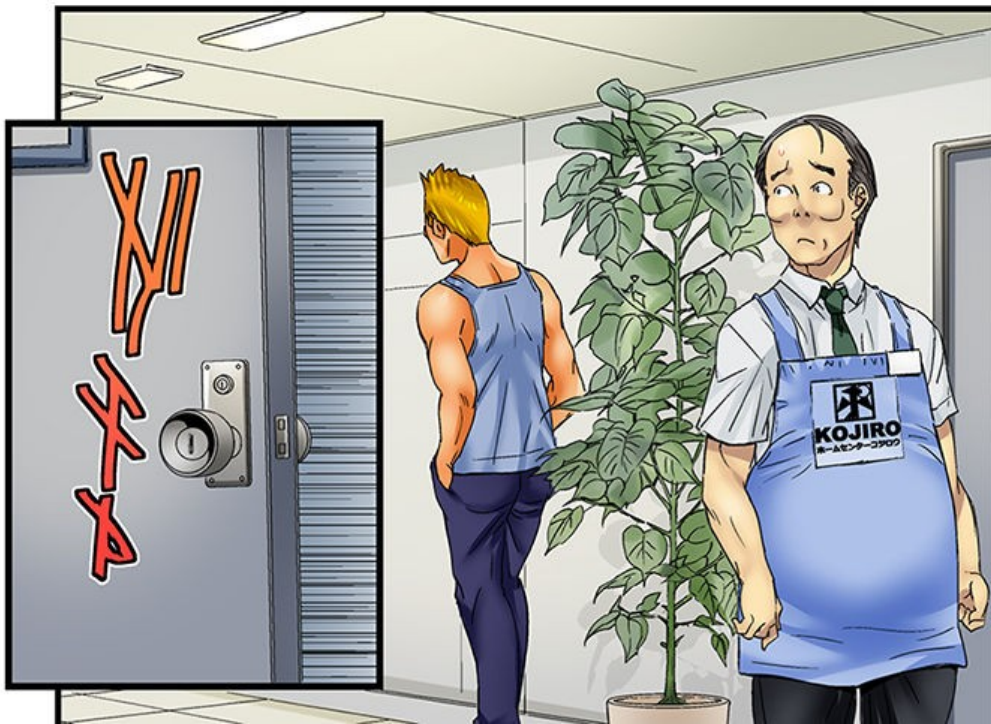
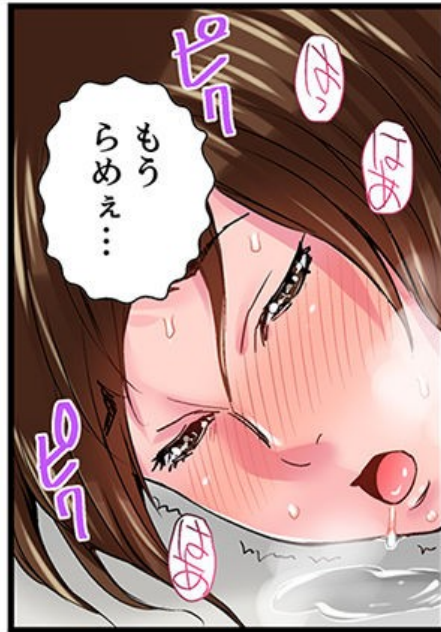
あつ  
あつ  
あつ！！



あつ！



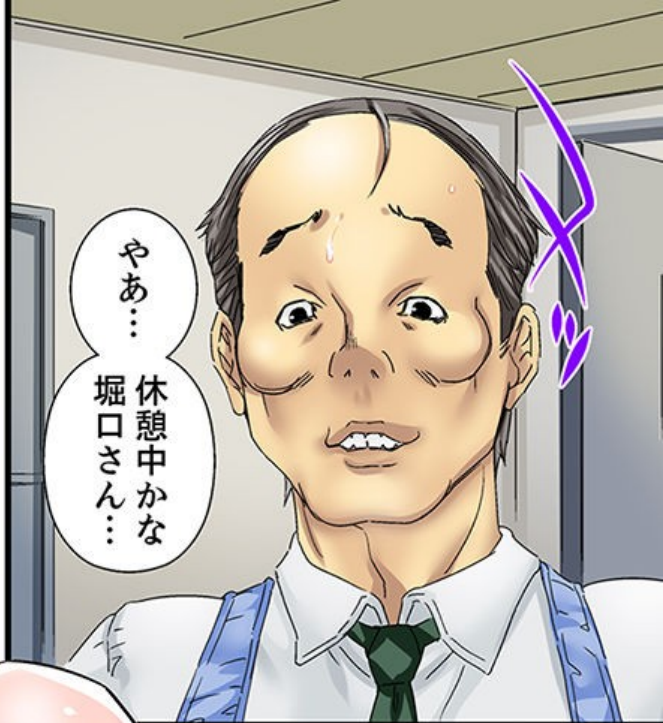






すみません  
すぐに  
戻りますっ！

やだ！  
こんな  
格好！



やあ…  
休憩中かな  
堀口さん…



きゃっ  
店長！

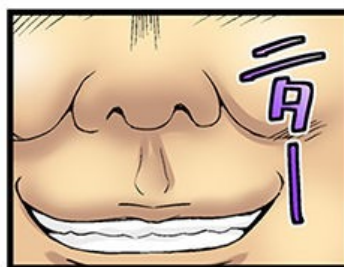


何？  
なんなの？



いえ  
あの

…え？



ああ  
いいんだよ  
そのまま…



この部屋から  
出て行った  
男…

いったい  
誰なのかな？  
ん？

店長：  
まさか  
外で聞いて…

どう  
しよう



え？  
あ…  
あれは…



もう  
これは…  
言い逃れの  
できる  
状況じゃ  
ないわ

じわ…



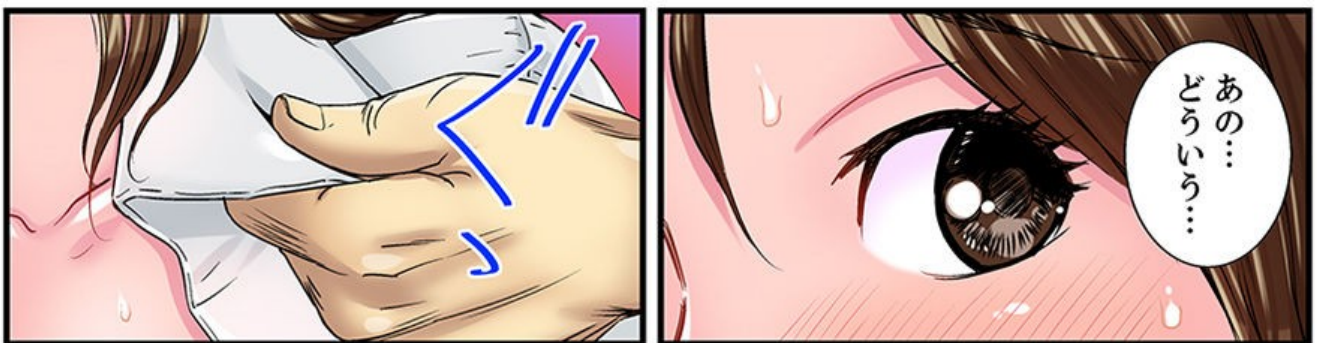
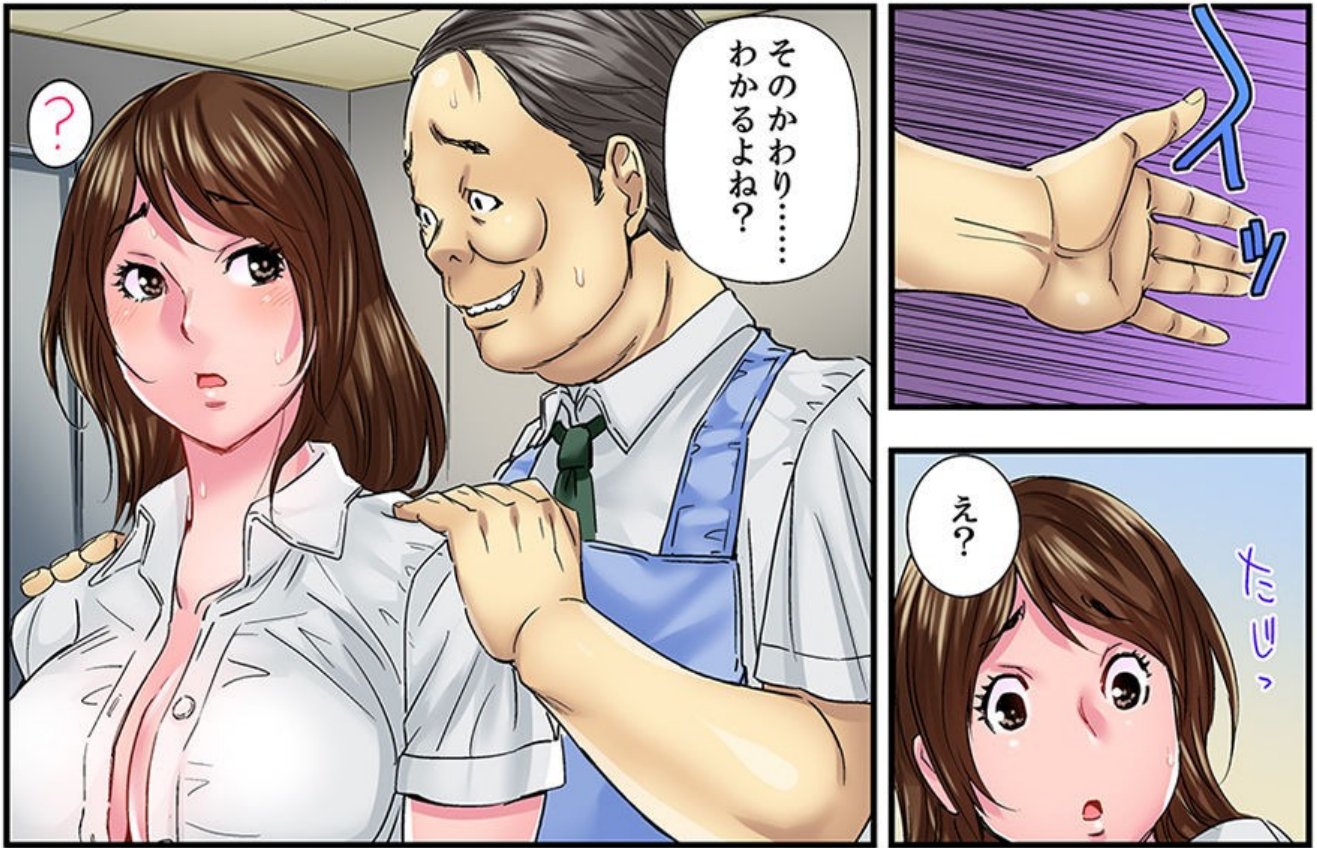
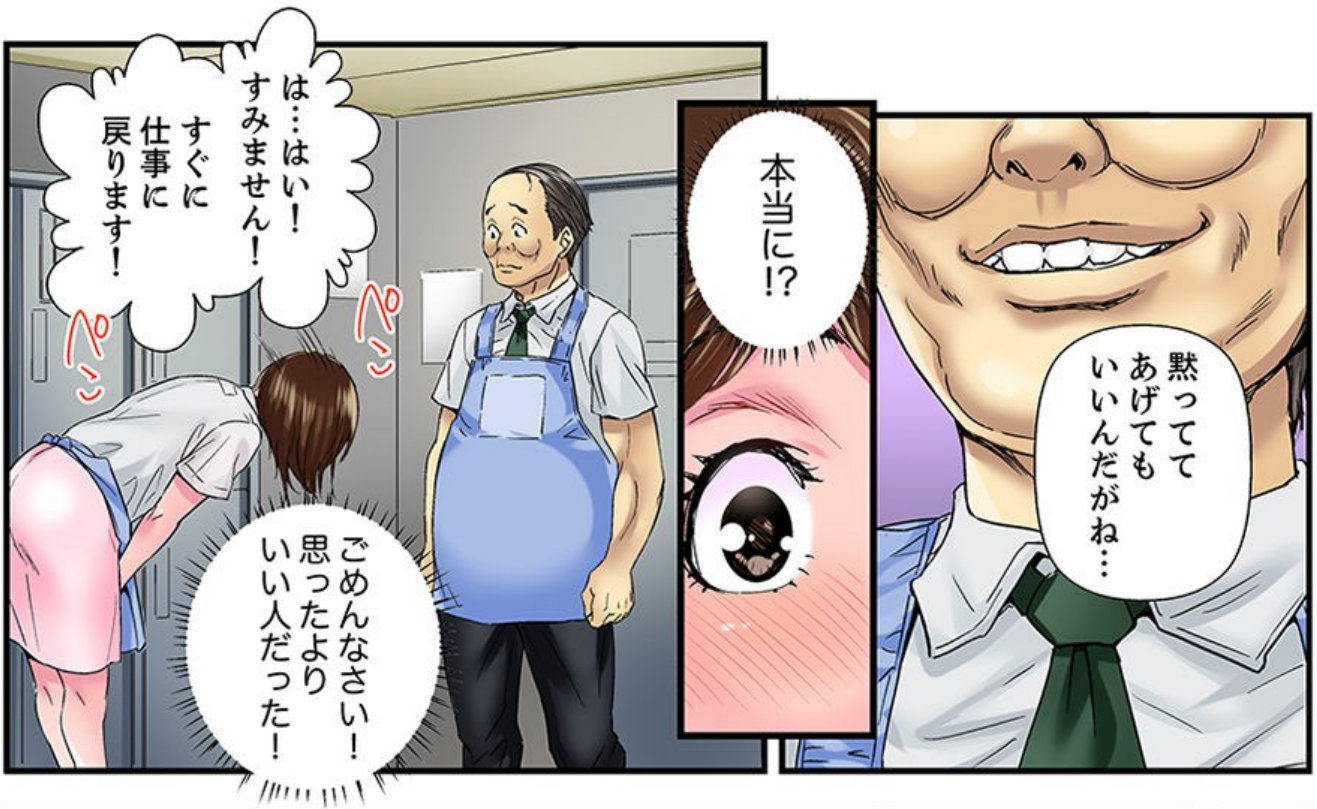
もちろん  
旦那さんは  
知らないん  
だよな？

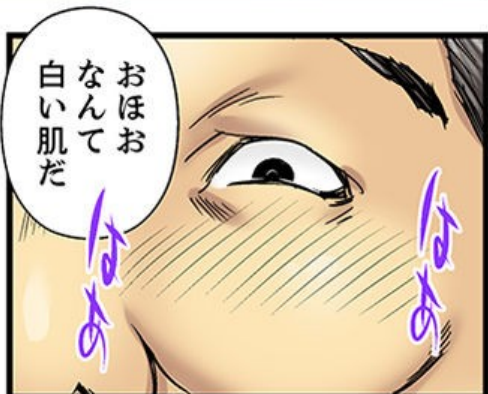


パートさんから  
あまり評判の  
良くない  
店長さん

デリカシーが  
なくて  
威張り散らす  
から…

それに  
視線が  
ちよつと  
イヤらしい







あの男とのこと

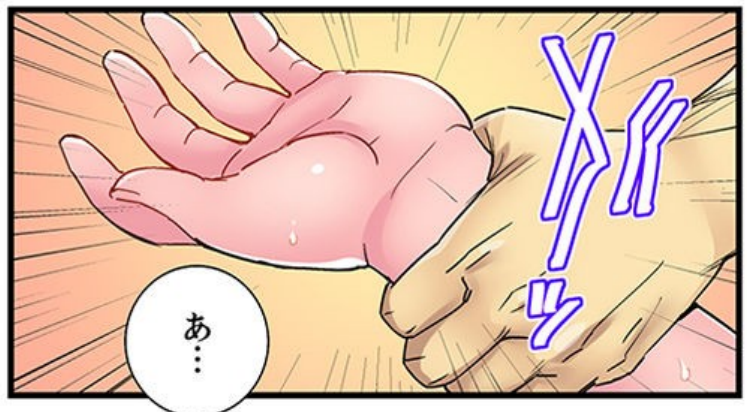
旦那さんに  
教えちゃって  
いいのかな？

そ…  
それは…

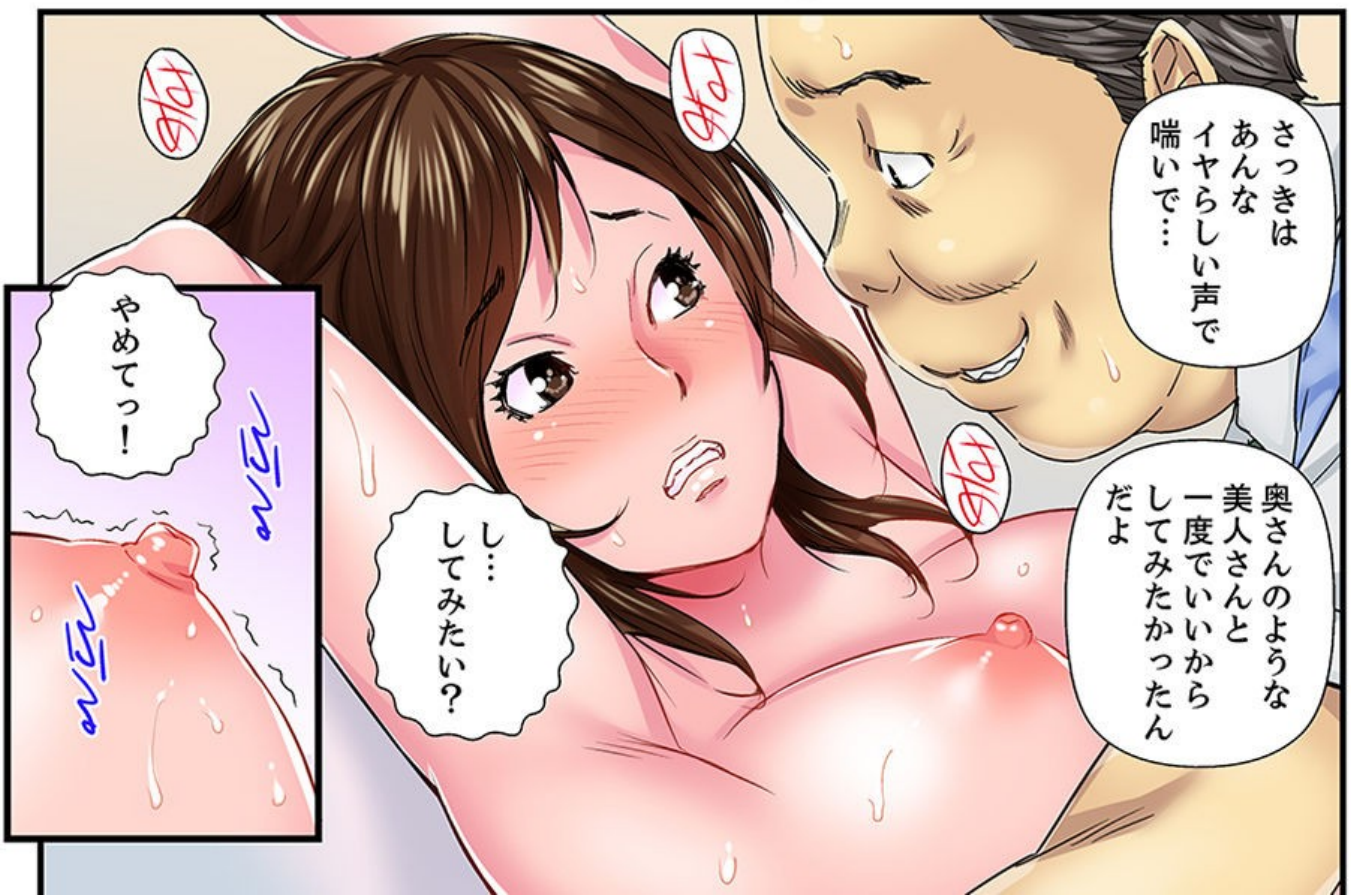
この人  
拳二さんとの  
関係を盾に…



清楚な顔して  
本当はスケベ  
なんだろう？



あ…



さっきは  
あんな  
イヤらしい声で  
喘いで…

奥さんのような  
美人さんと  
一度でいいから  
してみたかったん  
だよ

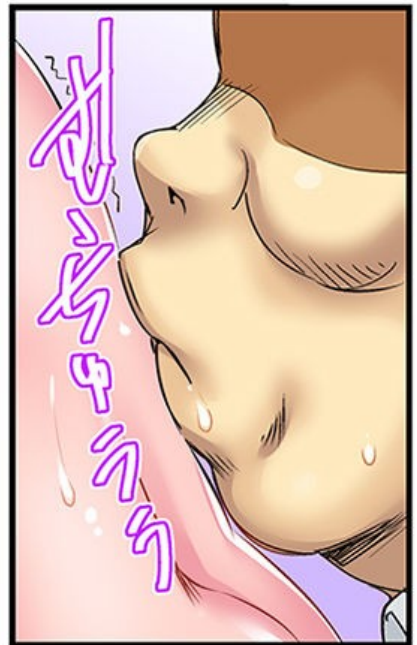
し…  
してみたい？

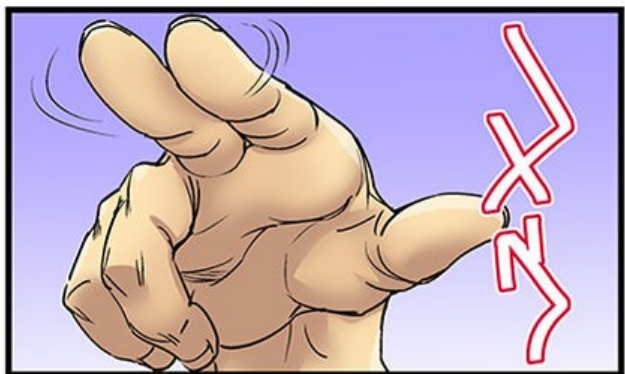
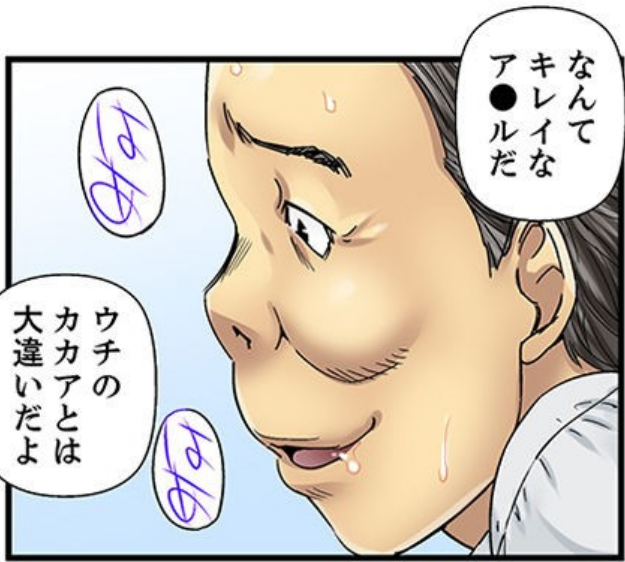


やめてっ！



堀口さんは  
腋も  
エロいねえ

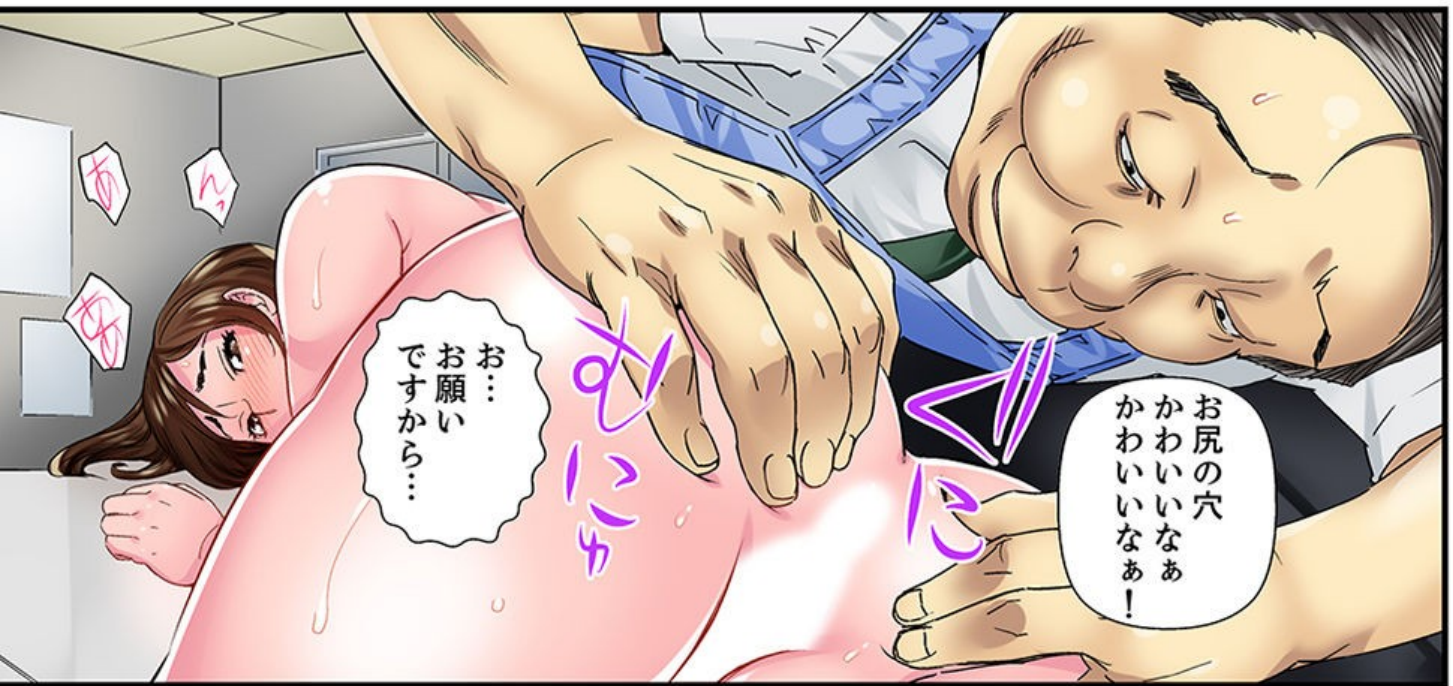






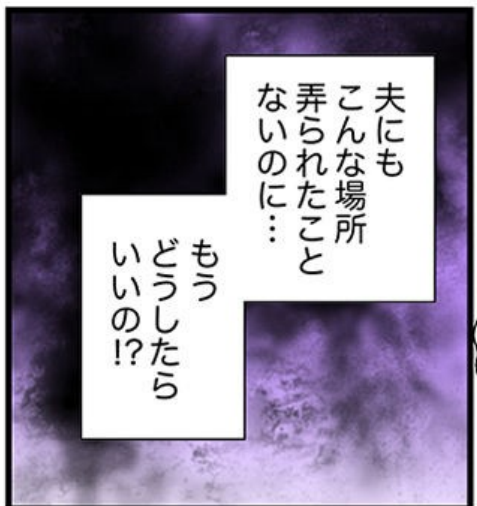
店長さん  
や…  
やめて  
ください

メスの  
いい匂いが  
するよ  
堀口さん



お尻の穴  
かわいいなあ  
かわいいなあ  
!

お…  
お願い  
ですから…

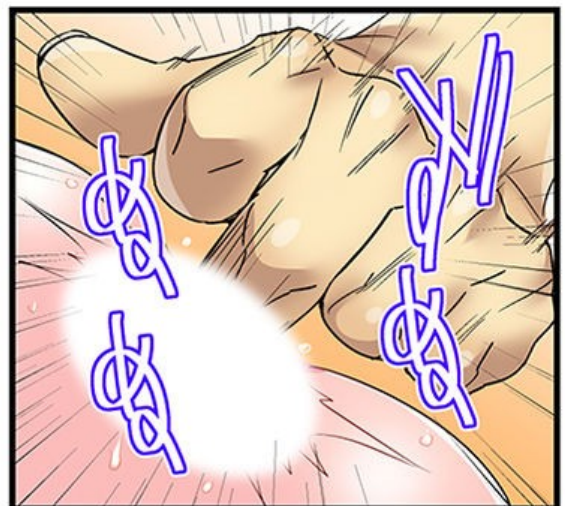


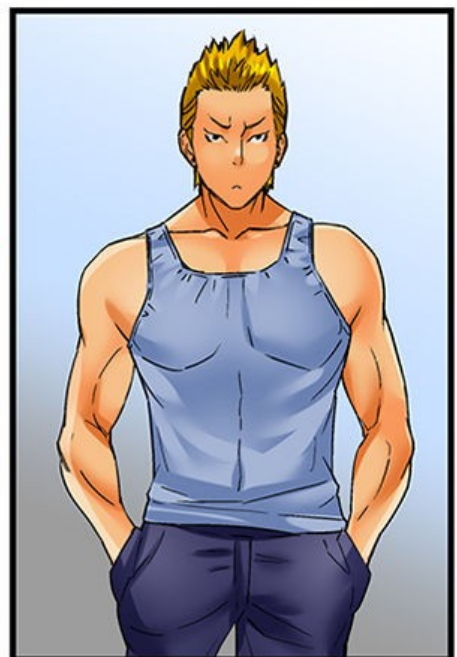
夫にも  
こんな場所  
弄られたこと  
ないのに…

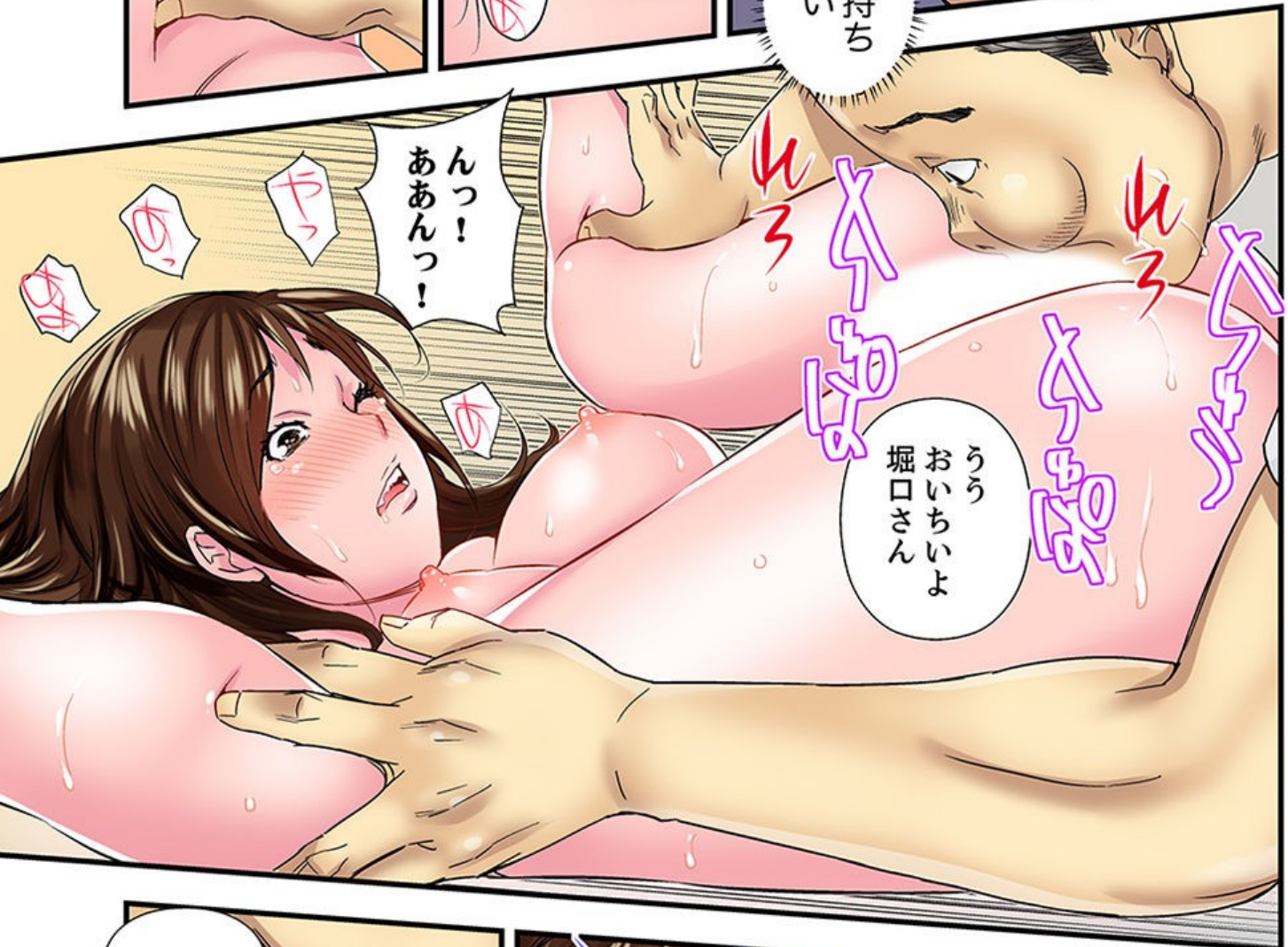
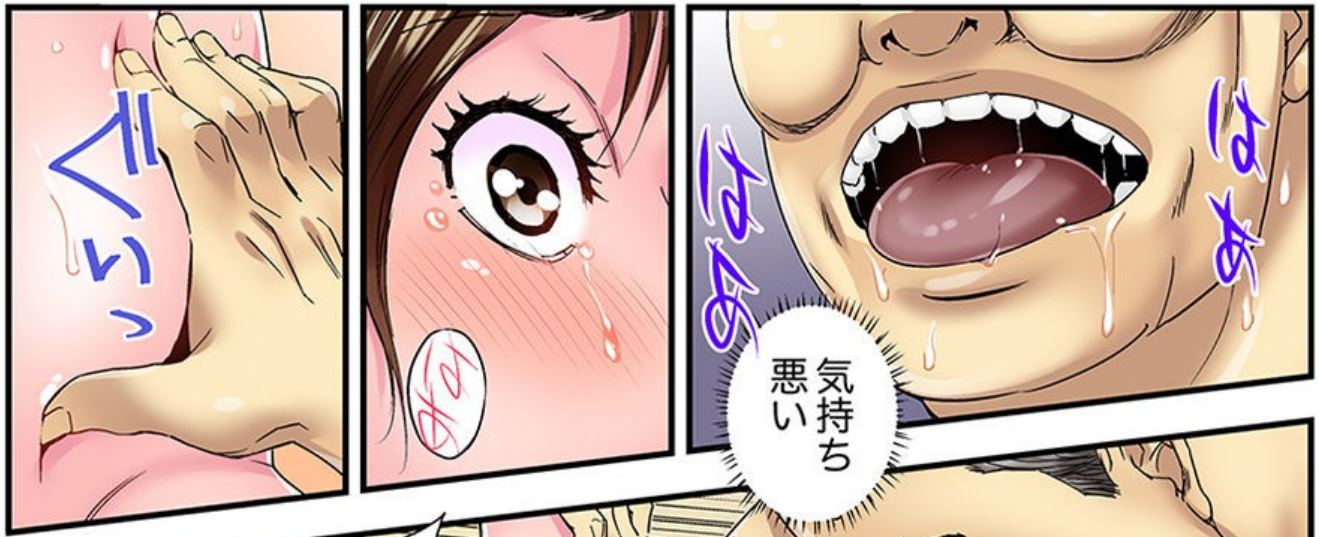
もう  
どうしたら  
いいの!?

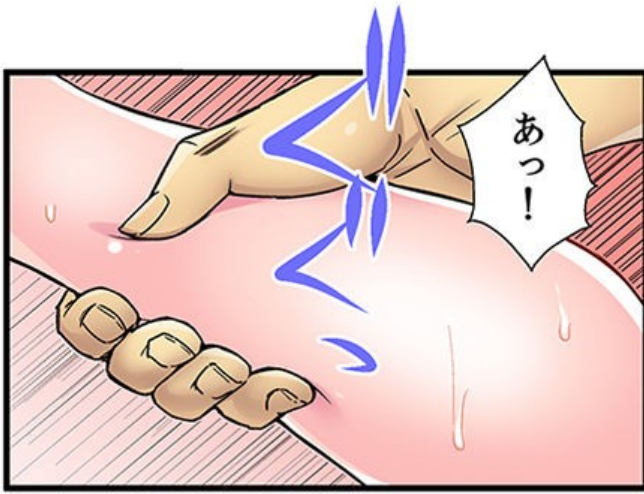


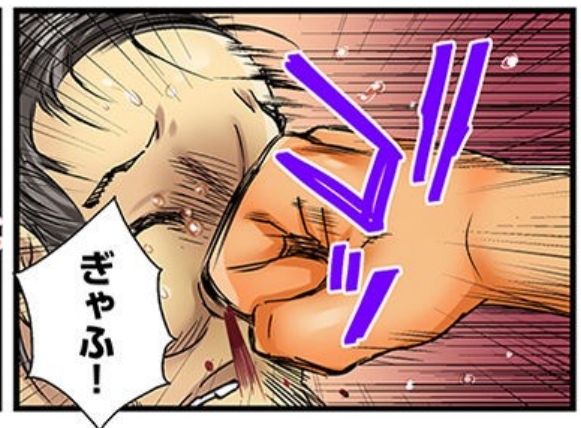
ああ!

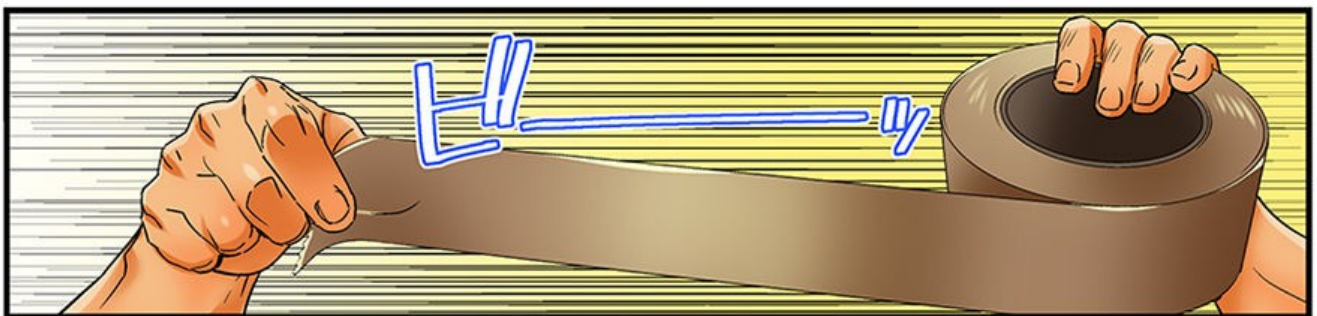
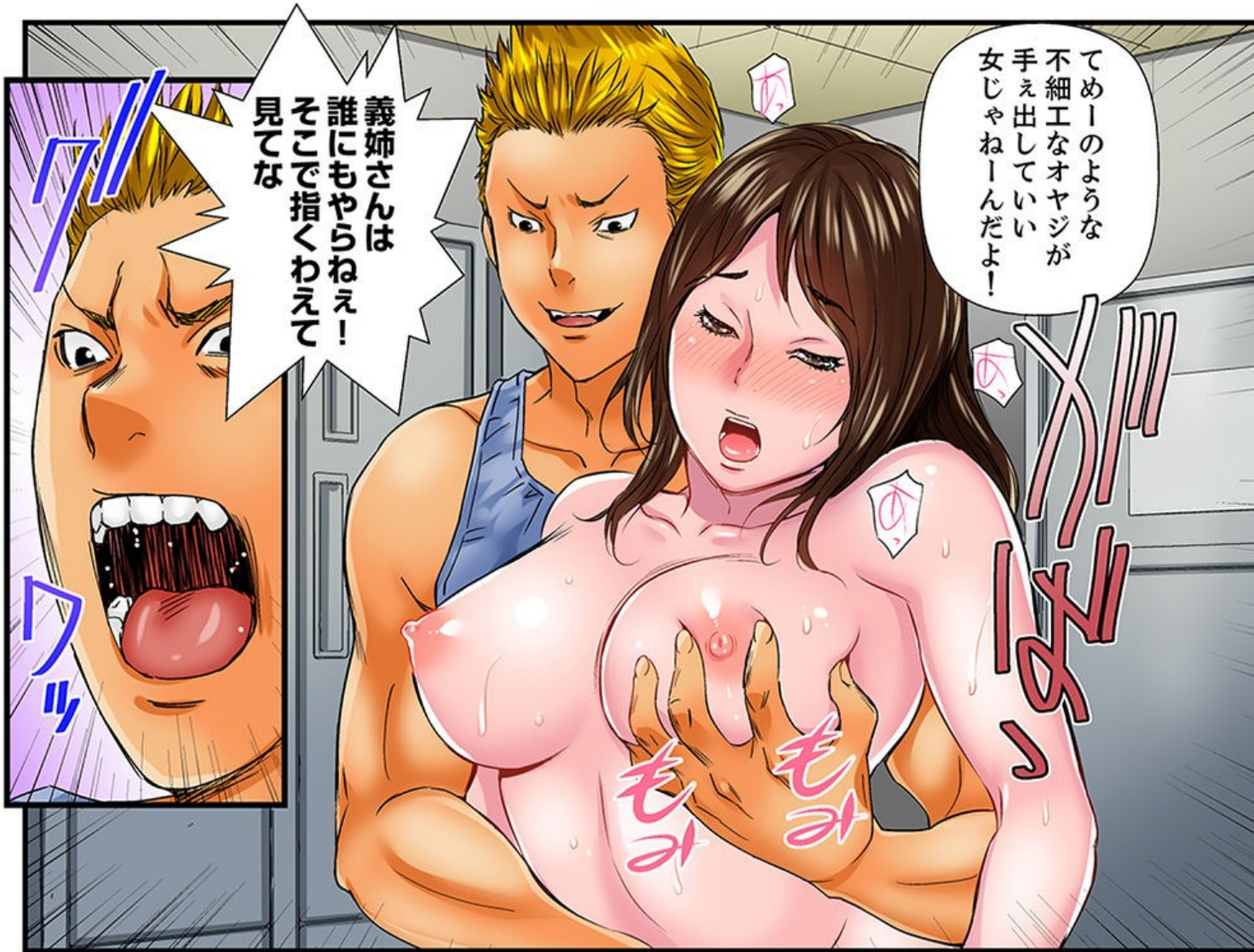


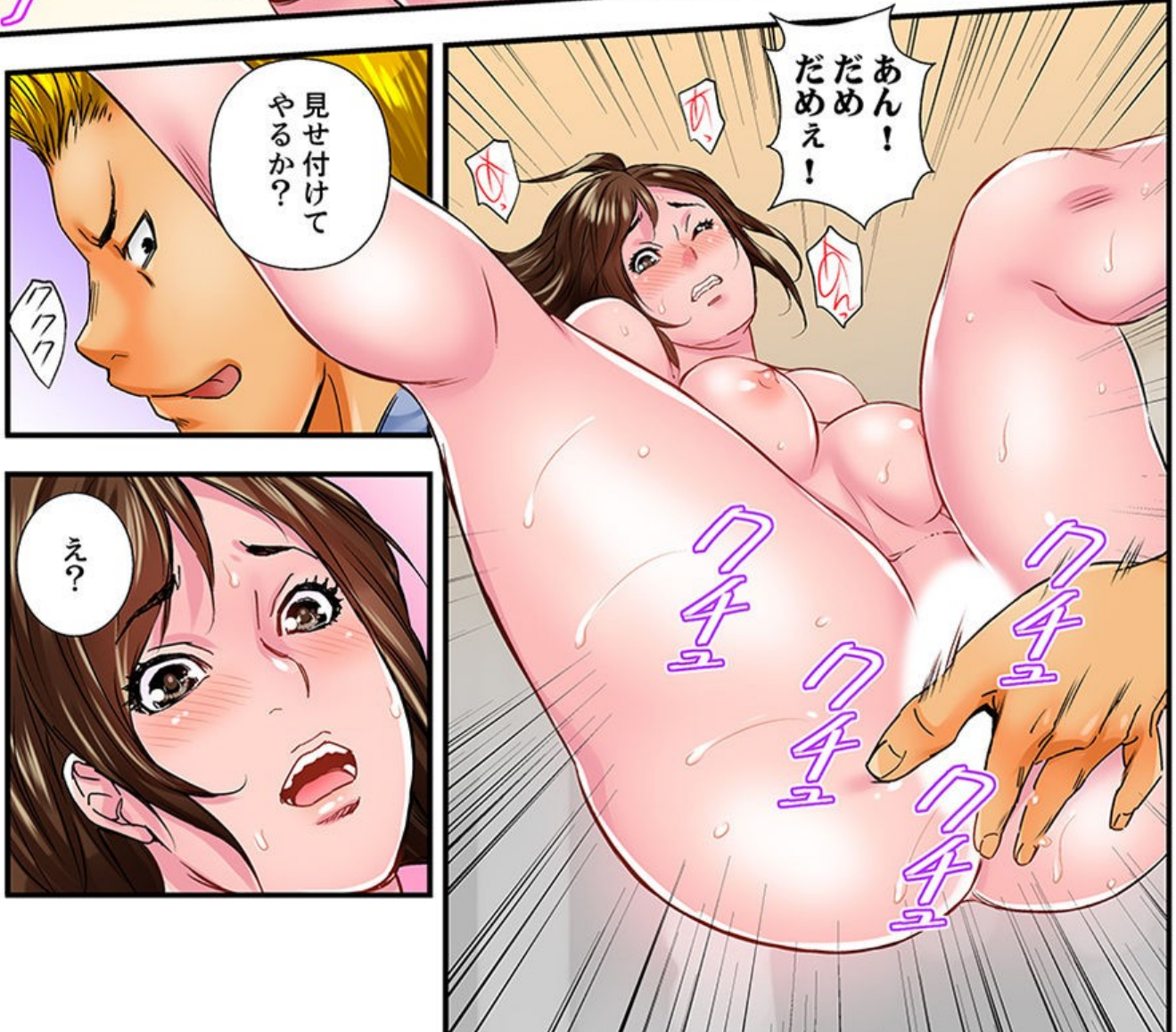












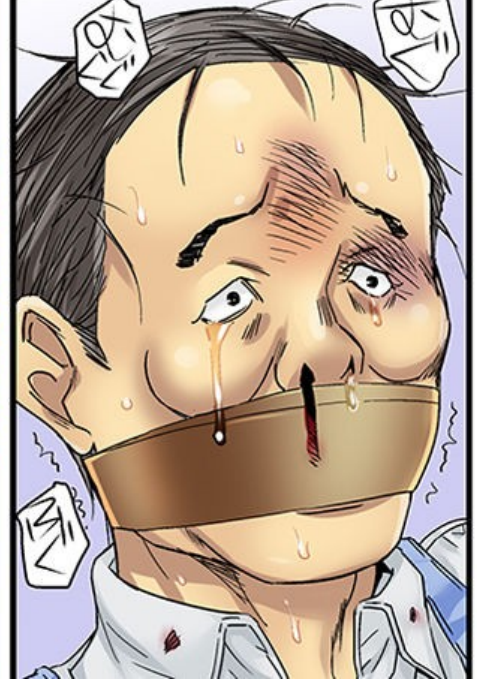
そういうのも  
燃えるんじゃ  
ねえか？

うっ！

入って  
くるう

奥まで  
やああ…

こんなの  
だめえ！







義姉さんも見られて感じてんじゃねーの？

そ…そんなことあるわけ…

うそつけこんなにくるぬるじゃねーか！

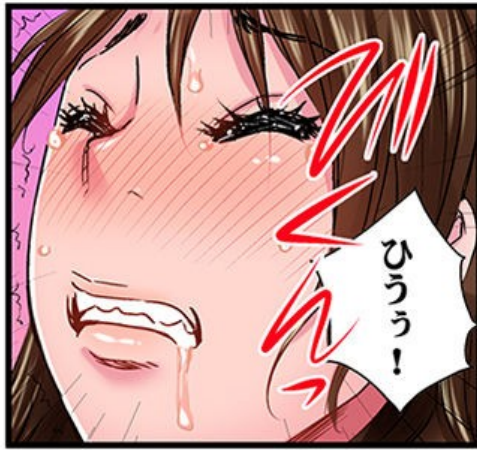
そんな…あつ！あつ！

ふぐぐ

はは！おっさんのチ●ポはち切れそうに勃起してるぜ  
どうせ仕事でも義姉さんのことスケベな目で見てたんだろああん！

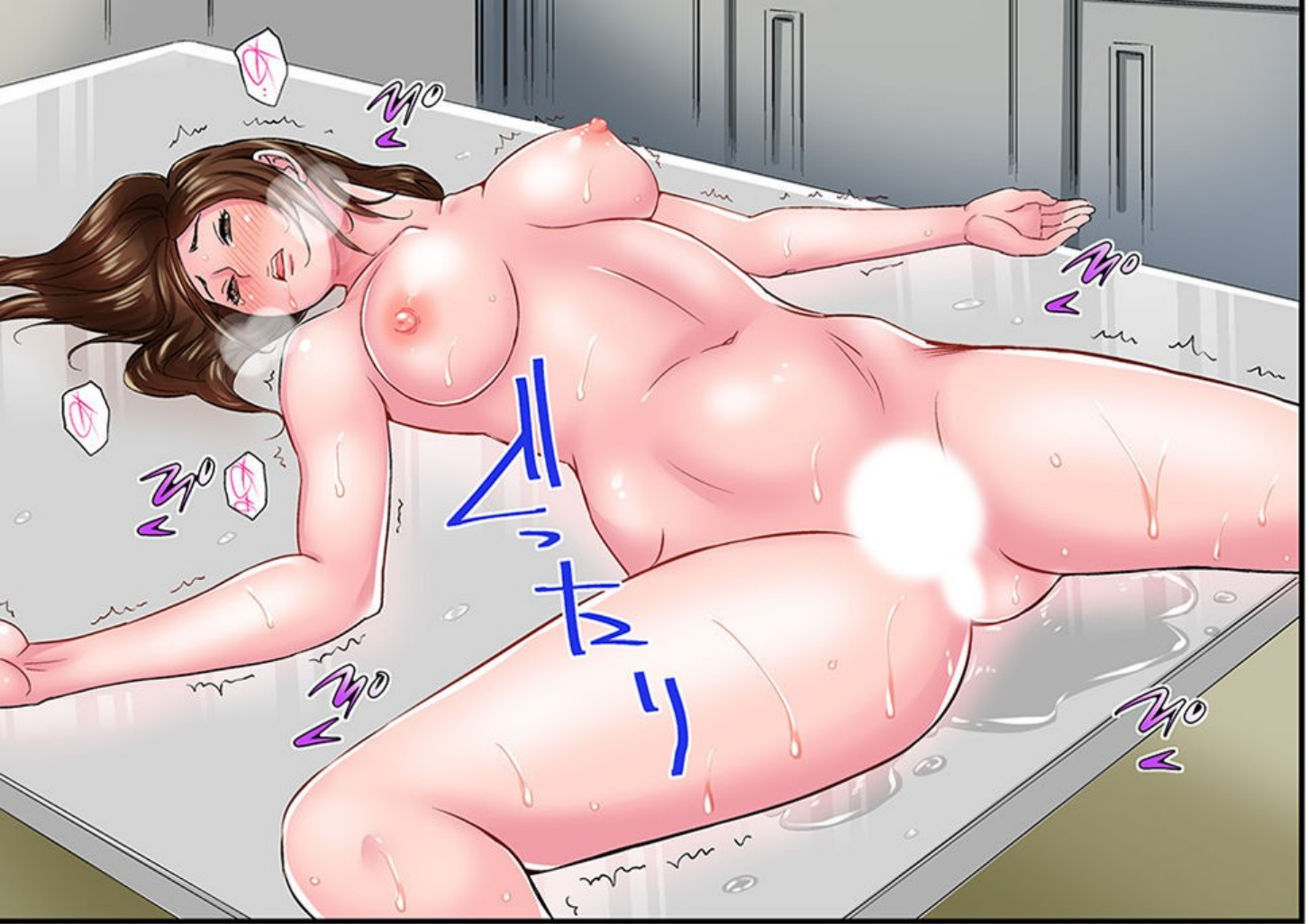
セクハラオヤジ嬉しいか！  
ありがたく拜んでおけよ！

ふははははは！



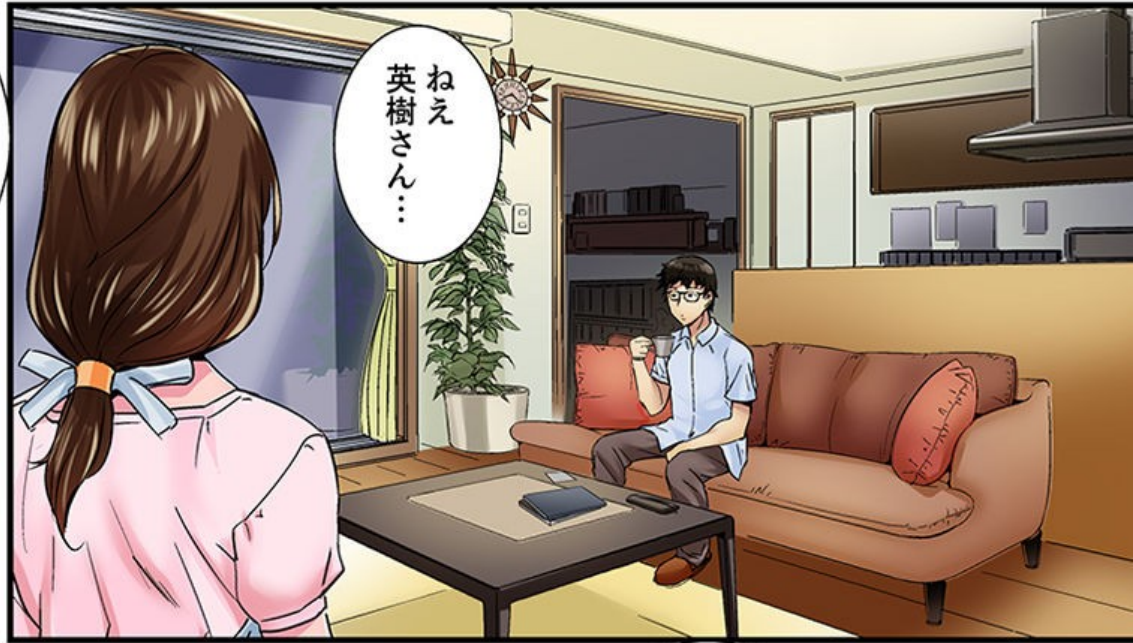








わたし暫く  
パートやめて  
みようかと  
思うの…



ねえ  
英樹さん…



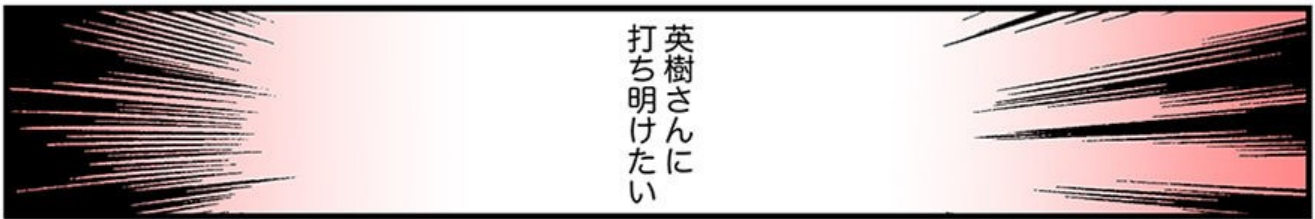
ごめんなさい  
少しでも  
ローンの足しに  
なればと思って  
始めたのに…



そっか  
悠子がそう  
したいんなら  
いいんじゃないかな  
拳二たちも  
居ることだしね



ほら最近  
家事が  
おろそかに  
なっちゃって  
るし…



英樹さんに  
打ち明けたい



キラッ  
キラッ



だけど  
言えない  
言う自信が  
ない…

今の生活が  
壊れて  
しまうのが  
怖い



逃げ場だった  
パート先にさえ  
行けなく  
なったこと

何度も関係が  
続いてしまっ  
ていること



うおお  
おお!

キキキ

ヒヒヒ

ヒヒヒ

キキキ



もっと!

もっと  
突き上げてえ!

キキキ

ヒヒヒ

ヒヒヒ



いいわ!  
いいわ!

あああ!



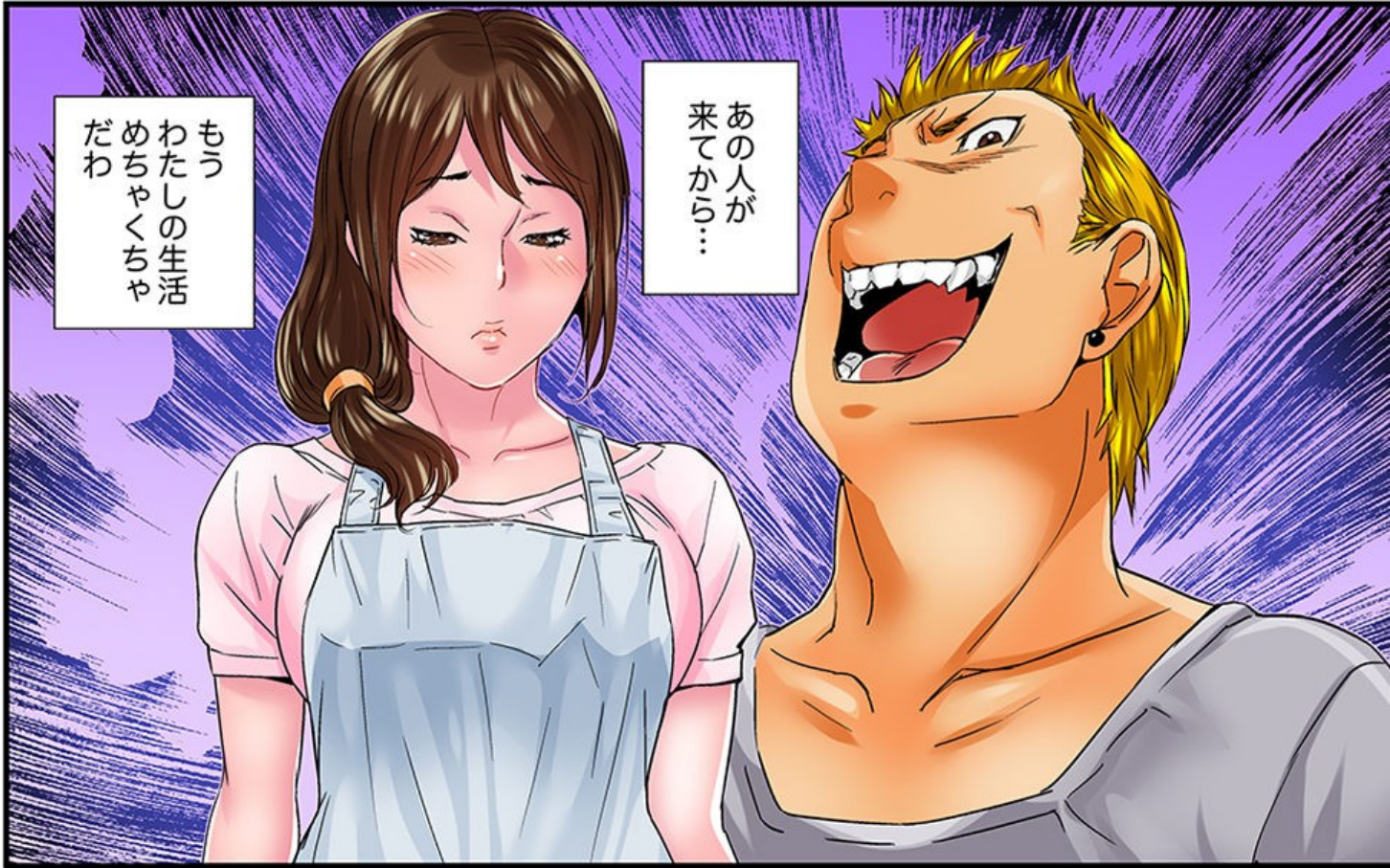
おらおらあ!



拳二さんは  
わたしのことを  
なんだと思っ  
ているのさう

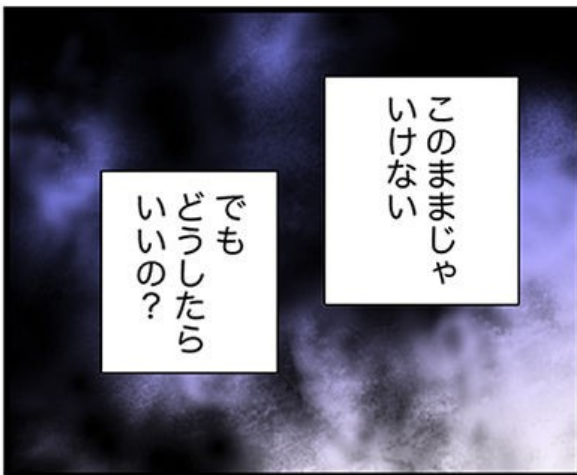


昼間わたしと  
あんなに  
したのに  
また…？



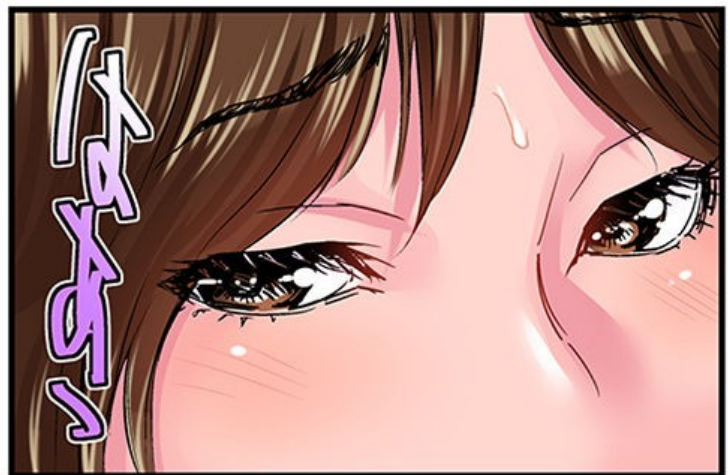
もう  
わたしの生活  
めちやくちや  
だわ

あの人が  
来てから…



このままじゃ  
いけない

でも  
どうしたら  
いいの？



はやく

♥ To be continued ♥





ドキドキの数だけ  
エッチがある



かわいい女の子に心も体も満たされて…♡



たっぷりドキドキ

めしあがれ♡

Hな大人のための電子コミック

エロマンガ島

新作・人気作が大好評配信中!

# エロマンガ島

私、義弟のアレで…感じてる！  
～兄貴よりデカくていいだろ？  
【完全版】 1

発行日 2019年 10月 1日

著者 市井時計

発行 モバイルメディアリサーチ

この物語はフィクションです。登場する人物・団体・名称等は架空であり、実在のものとは関係ありません。  
本作品の全部あるいは一部を無料で複製・転載・配信・送信したり、ホームページ上に転載することを禁止します。  
本作品の内容を無断で改変、改ざん等を行うことも禁止します。  
また、有償・無償にかかわらず本作品を第三者に譲渡することはできません。